資料３

令和元年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人　美作市社会福祉協議会

令和元年度　美作市社会福祉協議会事業報告書目次

事　　業　　名	ページ	事業種別
法人運営事業	1～10	継続
寄附金事業	11～12	継続
社協会費	13～14	継続
企画広報事業	15	継続
地区社協活動の推進	16～34	継続
地区社協の概要と組織体系	16	継続
地域社協連絡会	17	継続
地区社協事業専門委員会	18	継続
地区社協会長会	18	継続
福祉ネットワークづくり事業：福祉会議	19～27	継続
おたがいさまネット事業	28～29	継続
地区社協メニュー事業（地区社協別実施状況）	30	継続
地区社協メニュー事業：高齢者ミニデイサービス事業	31	継続
地区社協メニュー事業：広報紙作成支援事業	31	継続
地区社協メニュー事業：サロン新規立上げ推進事業	32	継続
地区社協メニュー事業：地域文化伝承事業	32	継続
地区社協メニュー事業：友愛訪問支援事業	33	継続
救急医療情報キット配布事業	34	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援	35～36	継続
サロン活動助成金	35	継続
サロン代表者会議	36	継続
高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿（年6回以上開催）	37～41	継続
我が事・丸ごとの地域力強化推進事業	42～45	継続
我が事・丸ごとの多機関協働による包括的支援体制構築事業	46～48	新規

事　　業　　名	ページ	事業種別
生活困窮者自立支援事業	49～52	新規
生活困窮者自立支援制度への対応 ①緊急食料支援おむすび事業　②就学支援リユース事業	53	継続
生活困窮者自立支援制度への対応 ③子どもの学習支援・居場所づくり事業 ④生活困窮者等緊急援護資金貸付事業	54	継続
美作市内の社会福祉法人等連絡協議会（美作お助け隊）	55～60	継続
つどいの広場事業	61	継続
各種団体助成事業	62	継続
障害者地域活動支援センターⅠ型「なごみ」	63～66	継続
地域活動支援センターⅢ型「むぎの会」	67	継続
福祉移送サービス事業	68	継続
ファミリー・サポート・センター事業	69～70	継続
「食」の自立支援事業	71	継続
生活管理指導員派遣事業・産後ヘルパー派遣事業	72	新規
共同募金配分金事業	73	継続
ボランティア活動推進事業	74～76	継続
日常生活自立支援事業	77～78	継続
法人後見事業	79～80	継続
生活福祉資金貸付事業	81	継続
施設管理事業	82	継続
障害者総合支援事業	83	継続
居宅介護支援事業	84	継続
通所介護事業	85～86	継続
訪問介護事業	87	継続

法人運営事業 ①

事　業　概　要	美作市社会福祉協議会の円滑な会務の遂行並びに効果的な事業執行を図るための基盤である理事会・評議員会の運営、さらに自主財源の確保、事業内容の整理統合を図りながら、住民参加を基本にした法人運営の管理業務を行いました。	
主な活動記録	期　　日	内　　容
	平成31年4月3日	美作市スポーツ医療看護専門学校入学式
	平成31年4月4日	夏のボランティア体験事業担当者会議（作東長寿センター）
	平成31年4月9日	作東中学校入学式
		共同募金会配分交付式・事務局長会議（岡山県共同募金会）
	平成31年4月11日	新見市社会福祉協議会視察 （生活困窮者自立支援事業の受託運営について）
	平成31年4月16日	2019年度接遇セミナー（岡山県社協）
	平成31年4月17日	日本地域福祉学会第33回大会実行委員会（川崎医療福祉大学）
	平成31年4月22日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	平成31年4月24日	ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	平成31年4月25日	勝英管内市町村社協連協事務局長会議（作東長寿センター）
		2019年度接遇セミナー（岡山県社協）
	令和元年5月9日	県内都市社会福祉協議会事務局長会議（ｱｰｸﾎﾃﾙ岡山）
		美作市議会文教厚生委員会なごみ視察受け入れ
	令和元年5月14日	岡山県地域公益活動推進ｾﾝﾀｰ運営委員会監査（作東長寿ｾﾝﾀｰ）
	令和元年5月15日	日本地域福祉学会第33回大会実行委員会（川崎医療福祉大学）
		手話奉仕員養成講座基礎課程開校式（美作市民センター）
	令和元年5月17日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
	令和元年5月21日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和元年5月22日	全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会総会（全社協）
	令和元年5月24日	美作市権利擁護ｾﾝﾀｰ支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）

	期　　日	内　　容
主な活動記録	令和元年5月25日	第17回暮らしの困りごと相談会（湯郷地域交流センター）
	令和元年5月28日	県内市町村社会福祉協議会事務局長会議（岡山県社協）
	令和元年5月29日	生活福祉資金担当者研修会（岡山県社協）
	令和元年5月31日	障害者地域活動支援センターなごみ運営協議会（なごみ）
	令和元年6月1日	ボランティア講演会（かつた市民センター）
	令和元年6月3日	美作お助け隊（美作市内の社会福祉法人等連絡協議会）総会（作東長寿センター）
	令和元年 6月8日～9日	日本地域福祉学会第33回大会（川崎医療福祉大学）
	令和元年6月11日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和元年 6月12日～14日	生活困窮者自立支援事業 家計改善支援事業従事者養成研修（全社協）
	令和元年6月14日	地域福祉実践基礎研修（岡山県社協）
	令和元年6月15日	岡山県社会福祉士会美作ブロック連絡会研修会（美作大学）
	令和元年6月17日	美作市民生委員児童委員協議会総会（湯郷地域交流センター）
	令和元年6月18日	生活困窮者自立支援事業実施社協連絡会（岡山県社協）
	令和元年6月24日	立正佼成会寄附金贈呈式（美作市本庁）
	令和元年6月25日	家計改善支援事業実務者研修（作東長寿センター）
	令和元年6月26日	美作市身体障害者福祉協会ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会（武蔵の里ＧＧ場）
	令和元年6月27日	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会（岡山県社協）
	令和元年6月28日	岡山県社会福祉協議会定時評議員会（岡山県社協）
		介護支援専門員協会勝英支部総会（ゆうゆうの里ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ）
		美作市権利擁護ｾﾝﾀｰ支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年6月29日	瀬戸内市社協災害ボランティアセンター設置訓練参加
	令和元年7月1日	障害者地域活動支援センターなごみ移転（作東長寿センター）
	令和元年7月3日	社会を明るくする運動（保護司会）

法人運営事業 ③

	期　　日	内　　容
主な活動記録	令和元年7月9日	市民後見人養成事業事前説明会（作東長寿センター）
	令和元年 7月9日～11日	生活困窮者自立相談支援員実務者研修（全社協）
	令和元年7月13日	夏のボランティア体験事業事前研修会（作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ）
	令和元年7月17日	美作市介護保険運営協議会（美作保健センター）
		日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修（全社協）
	令和元年7月19日	美作市老人クラブ連合会囲碁ボール大会（美作アリーナ）
		美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
	令和元年7月22日	市民後見人フォローアップ研修（美作保健センター）
	令和元年7月24日	美作市地域福祉懇談会（作東バレンタインプラザ）
	令和元年7月26日	市町村社協法人後見専門員研修会（岡山県社協）
		美作市権利擁護ｾﾝﾀｰ支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年8月5日	運営適正化委員会日援事業監査（作東長寿センター）
	令和元年8月20日	市町村社協職員地域福祉実践研修（岡山県社協）
	令和元年8月23日	美作市権利擁護ｾﾝﾀｰ支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年8月26日	総社市全国引きこもり支援フォーラム（岡山県立大学）
	令和元年8月27日	生活困窮者自立支援制度任意事業活動事例説明・研修会
	令和元年8月29日	岡山県地域福祉推進委員会設置検討会（岡山県社協）
	令和元年8月30日	岡山県権利擁護フォーラム（岡山県社協）
	令和元年9月6日	赤磐市地域公益活動実践報告会（赤磐市社協）
	令和元年9月8日	美作地区敬老会（美作文化センター）
	令和元年9月10日	美作市地域社会福祉協議会連絡会視察研修 （いきがい・助け合いサミットin大阪：大阪府立国際会議場）
	令和元年9月12日	第38回全国社会福祉法人経営者大会 「美作お助け隊」実践報告（鳥取市：とりぎん文化会館）

	期　　日	内　　容
主な活動記録	令和元年9月13日	市民後見人養成講座施設研修（作東寮・きずな）
	令和元年9月20日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
	令和元年9月22日	英田地区敬老会（英田公民館）
	令和元年9月24日	市民後見人フォローアップ研修（世代交流多目的ホール）
	令和元年9月24日	美作市子ども・子育て会議（美作市民センター）
		美作市防災訓練全体会議（美作市民センター）
	令和元年9月25日	大原地区敬老会（武蔵武道館）
	令和元年9月26日	勝田地区敬老会（かつた市民センター）
	令和元年9月27日	東粟倉地区敬老会（基幹集落センター）
		美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年9月29日	作東地区敬老会（B&G作東海洋センター）
	令和元年10月8日	市民後見人フォローアップ研修（和気町）
		岡山県社会福祉士会美作ブロック連絡会研修会
	令和元年10月10日	令和元年度岡山県総合社会福祉大会（岡山市民会館）
	令和元年10月17日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和元年10月19日	みまさか子どもフェスティバル（美作アリーナ）
	令和元年10月22日	美作市人権・権利擁護フォーラム（美作文化センター）
	令和元年10月24日	美作市老人ｸﾗﾌﾞ連合会ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会（勝田総合ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年10月25日	美作市権利擁護センター運営委員会（美作市民センター）
	令和元年11月1日	地域共生社会推進フォーラム（岡山県社協）
		美作市防災訓練会議（美作市民センター）
	令和元年 11月5日～6日	中四国身体障害者福祉大会（松山市民会館）

法人運営事業 ⑤

	期　　日	内　　容
主な活動記録	令和元年11月7日	美作市保健福祉部による社会保障制度勉強会（作東長寿ｾﾝﾀｰ）
	令和元年11月9日	美作市戦没者追悼式（かつた市民センター）
	令和元年11月12日	美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
	令和元年11月16日	美作市防災訓練（美作市保健センター周辺）
	令和元年11月18日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
	令和元年11月19日	家計改善相談会（美作市社協本所）
	令和元年11月22日	市民後見人養成研修個人面接（世代交流多目的ホール）
		美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年11月25日	市民後見人フォローアップ研修（世代交流多目的ホール））
	令和元年11月26日	美作お助け隊役員会（作東長寿センター）
	令和元年 11月27日～29日	生活困窮者自立相談支援員実務者研修 （TKP大阪リバーサイドホテル）
	令和元年11月26日	岡山県地域福祉推進委員会設置検討会（岡山県社協）
	令和元年11月29日	岡山県身体障害者スポーツ大会（岡山ドーム）
	令和元年11月30日	元気になろうやフェスタ（作東バレンタインプラザ）
	令和元年12月1日	被災地支援に取り組む人と組織の交流ｾﾐﾅｰ（美作市消防本部）
	令和元年12月3日	福祉のまちづくりフォーラムin美作（作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ）
	令和元年12月5日	美作市身体障害者福祉協会囲碁ボール大会（美作ｱﾘｰﾅ）
	令和元年 12月5日～6日	日常生活自立支援事業中国ブロック研修会 （岡山県社協）
	令和元年12月11日	ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和元年 12月12日～13日	県内都市社協事務局長研修会（和気町）
	令和元年12月13日	美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
	令和元年12月14日	暮らしの困りごと相談会（湯郷地域交流センター）
	令和元年12月17日	障害者基幹相談支援センター視察（総社市・津山市）

	期　　日	内　　容
主な活動記録	令和元年12月19日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）
		美作福祉部隊リカイヒロメタインジャー視察（美作大学）
	令和元年12月25日	勝英管内市町村社協事務局長会議（作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ）
	令和2年 1月14日～24日	美作お助け隊参加法人によるフードドライブ事業実施
	令和2年1月17日	市町村社協法人後見専門員研修会（岡山県社協）
		障害者地域活動支援ｾﾝﾀｰなごみ運営協議会（作東長寿ｾﾝﾀｰ）
		美作市地域ケア会議（世代交流多目的ホール）
		生活支援体制整備事業第一層協議体会議（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
	令和2年1月20日	美作市子ども・子育て会議（美作市民センター）
	令和2年1月21日	家計改善相談会（美作市社協本所）
	令和2年1月23日	市町村社協会長・事務局長会議（メルパルク岡山）
	令和2年1月24日	美作市権利擁護センター支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年1月25日	市民後見人フォローアップ研修（世代交流多目的ホール））
	令和2年1月31日	第3回地域権利擁護ネットワークフォーラム（勝央文化ﾎｰﾙ）
	令和2年1月31日	勝英自支協「福祉の事業所を知る会」（湯郷地域交流ｾﾝﾀｰ）
	令和2年2月7日	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業 実施自治体中国ブロック研修会（美作市民センター）
	令和2年2月20日	日常生活自立支援事業専門員研修会（岡山県社協）
	令和2年2月26日	子ども応援夢基金視察（埼玉県・三芳町社協）
		美作市認知症あんしん声かけ模擬訓練（作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ）
	令和2年2月27日	西粟倉村民生委員・児童委員協議会研修会 （おたがいさまネット事業について講演）
	令和2年2月28日	美作市権利擁護ｾﾝﾀｰ支援検討委員会（世代交流多目的ﾎｰﾙ）
		ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）職員研修会（作東長寿センター）
	令和2年3月11日	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会（岡山県社協）
	令和2年3月23日・26日	地域包括支援センター受託調整会議（美作保健センター）

法人運営事業 ⑦

<table>
<tr><td rowspan="6">令和元年度
理事会の
開催状況</td><td>期　　日</td><td>報　告　事　項　・　議　案</td></tr>
<tr><td>第1回　理事会
令和元年6月7日</td><td>・職員給与規程の一部改正について
・平成30年度 事業報告について
・平成30年度 一般会計収支決算報告について
・理事及び監事候補者の推薦について
・令和元年度 定時評議員会の開催について
（理事９名・監事2名出席、書面表決1名）</td></tr>
<tr><td>第2回　理事会
令和元年6月21日</td><td>・会長、副会長の選任について
（理事8名・監事1名出席、理事2名・監事1名欠席）</td></tr>
<tr><td>第3回　理事会
令和元年8月23日</td><td>・「福祉のまちづくり行動計画」の進捗状況について
・令和元年度 一般会計第1次補正予算について
・評議員選任候補者の推薦について
・令和元年度 第2回評議員会の開催について
（理事8名・監事2名出席、書面表決2名）</td></tr>
<tr><td>第4回　理事会
令和元年12月10日</td><td>・新見市災害ボランティアセンターの運営支援について
・「福祉のまちづくり行動計画」事業実施企画書
市内の小中高校生に向けた体験型福祉教育の実施
・「福祉のまちづくり行動計画」事業実施企画書
遺贈と空き家活用による地域福祉の拠点づくり
・令和元年度 第3回評議員会の開催について
（理事9名・監事1名出席、書面表決1名、監事1名欠席）</td></tr>
<tr><td>第5回　理事会
令和2年3月13日</td><td>・専決処分の報告について
・訪問介護事業所の統廃合について
・副会長の選任について
・経理規程の一部改正について
・令和元年度 一般会計第2次補正予算について
・令和２年度 事業計画について
・令和２年度 一般会計収支予算について
・令和元年度 第4回評議員会の開催について
（理事9名・監事2名出席、理事1名欠席）</td></tr>
<tr><td>理　事　・
監　事　名　簿</td><td colspan="2">美作市社会福祉協議会理事・監事名簿（令和2年3月31日現在）

会　長　　山本眞澄　（学識経験を有する者）
副会長　　正子初美　（民生委員児童委員協議会の代表者）
理　事　　坂元秀明　（勝田地域社協の代表者）
〃　　春名信義　（大原地域社協の代表者）
〃　　明石俊和　（東粟倉地域社協の代表者）
〃　　角南展弘　（美作地域社協の代表者）
〃　　長瀬鈴子　（作東地域社協の代表者）
〃　　長船洋行　（英田地域社協の代表者）
〃　　橋野耕一　（社会福祉事業の経営に関する見識を有する者）
〃　　亀山弘道　（保健医療関係者）

監　事　　船曳隆司　（財務諸表等を監査し得る者）
〃　　浅尾善郎　（社会福祉事業に学識を有する者）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">令和元年度
評議員会の
開催状況</td><td>期　　日</td><td>報　告　事　項　・　議　案</td></tr>
<tr><td>第1回　評議員会
令和元年6月21日</td><td>・職員給与規程の一部改正について
・平成30年度 事業報告について
・平成30年度 一般会計収支決算報告について
・任期満了に伴う役員の選任について
（評議員12名出席）</td></tr>
<tr><td>第2回　評議員会
令和元年8月30日</td><td>・「福祉のまちづくり行動計画」の進捗状況について
・評議員の選任について
・令和元年度 一般会計第1次補正予算について
（評議員12名出席）</td></tr>
<tr><td>第3回　評議員会
令和元年12月18日</td><td>・新見市災害ボランティアセンターの運営支援について
・「福祉のまちづくり行動計画」事業実施企画書
市内の小中高校生に向けた体験型福祉教育の実施
・「福祉のまちづくり行動計画」事業実施企画書
遺贈と空き家活用による地域福祉の拠点づくり
（評議員13名出席）</td></tr>
<tr><td>第4回　評議員会
令和2年3月24日

※書面決議により開催</td><td>・副会長の選任結果について
・経理規程の一部改正について
・専決処分の報告について
・訪問介護事業所の統廃合について
・令和元年度 一般会計第2次補正予算について
・令和２年度 事業計画について
・令和２年度 一般会計収支予算について
（評議員総数16名より評議員会書面決議同意書を）</td></tr>
<tr><td>評議員名簿</td><td colspan="2">美作市社会福祉協議会評議員名簿（令和2年3月31日現在）

評議員　下山文男　（勝田地域自治振興協議会の代表者）
〃　小松俊行　（大原地域自治振興協議会の代表者）
〃　小松美之　（東粟倉地域自治振興協議会の代表者）
〃　鳥越重一　（美作地域自治振興協議会の代表者）
〃　原　知行　（作東地域自治振興協議会の代表者）
〃　遠藤　清　（英田地域自治振興協議会の代表者）
〃　井上正子　（愛育委員会の代表者）
〃　小椋宏子　（栄養委員会の代表者）
〃　谷口　亘　（老人クラブ連合会の代表者）
〃　平田正行　（身体障害者福祉協会の代表者）
〃　福田洋江　（ボランティア活動団体の代表者）
〃　熊谷要治　（保護司会の代表者）
〃　安東眞理子（精神障害者家族会の代表者）
〃　山本敏子　（知的障害者家族会の代表者）
〃　赤堀桂子　（主任児童委員の代表者）
〃　江見　勉　（行政関係者：美作市保健福祉部長）</td></tr>
<tr><td>正副会長会
開催状況</td><td>第1回正副会長会
令和元年5月30日</td><td>第1回理事会、第1回評議員会議案審議</td></tr>
</table>

法人運営事業 ⑨

評議員選任解任委員会	令和元年8月23日	欠員補充のため4名の評議員を選任
監査開催状況	令和元年5月24日	平成30年度 決算監査
	令和元年8月5日	令和元年度 日常生活自立支援事業運営適正化委員会監査
	令和2年1月14日	令和元年度 中間監査
	令和2年1月20日	令和元年度 内部監査（6支所の監査）
	令和2年3月10日	令和元年度 日常生活自立支援事業内部監査
視察受入れ等	令和元年7月24日	福山市社協・社会福祉法人（美作お助け隊の活動について）
	令和元年11月26日	瀬戸内市社協（美作お助け隊の活動について）
講演依頼等	令和元年9月6日	赤磐市社協（美作お助け隊の活動について）
	令和元年9月11日	介護支援専門員協会勝英支部（成年後見人の取組みについて）
	令和元年9月12日	第38回全国社会福祉法人経営者大会（美作お助け隊について）
	令和元年11月13日	北海道内社会福祉協議会役職員研修会（美作お助け隊について）
	令和元年12月19日	英田公民館生活のお役立て情報講座（権利擁護事業について）
	令和2年2月27日	西粟倉村民児協研修会（おたがいさまネット事業について）
社会福祉・介護福祉現場の実習生受入	社会福祉援助技術現場実習の受け入れ　（美作大学生：1名）	

	関連委員等	担当
外部委員等の就任状況	岡山県社会福祉協議会　評議員	山本会長
	岡山県共同募金会　評議員	
	美作市介護保険運営協議会　委員	
	全国社会福祉協議会岡山県地域福祉推進委員	春名事務局長
	岡山県地域公益活動推進センター運営委員会　委員	
	日本地域福祉学会第３３回岡山・倉敷大会実行委員会　委員	
	岡山県地域福祉推進委員会設置検討会　委員	
	美作市地域福祉計画策定委員会　委員	内田事務局次長
	美作市子ども・子育て会議　委員	

新見市災害ボランティアセンターへの活動支援



令和元年９月３日（火）夕刻に、新見市で発生した局地的豪雨により、翌９月４日（水）新見市社会福祉協議会が「新見市災害ボランティアセンター」を開設した。
美作市社会福祉協議会は、岡山県内社会福祉協議会における災害時の相互支援に関する協定に基づき、「新見市災害ボランティアセンター」の運営支援を行った。

１．新見市の災害状況（令和元年10月10日）

人的被害	重傷者1名：65歳　女性　排水作業中に骨折（全治2か月）
浸水被害	全壊：7棟、半壊：12棟
住宅等被害	床上浸水：82棟、床下浸水：220棟
土砂流入被害	121件

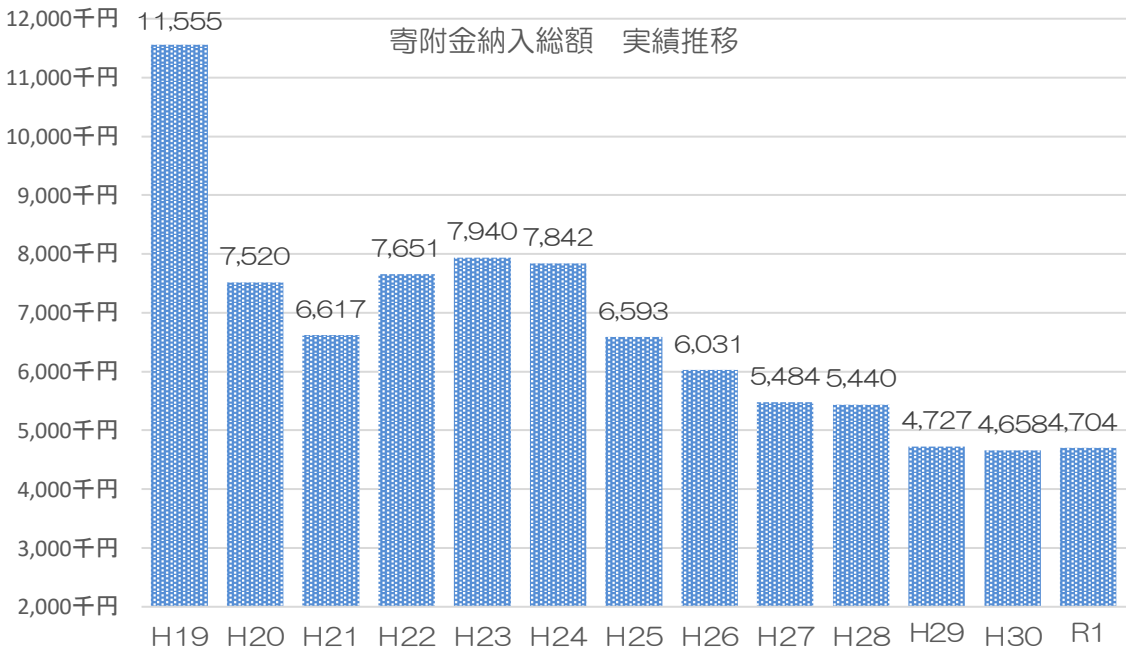
２．新見市ボランティアセンターの活動状況（令和元年10月8日現在）

開設期間	令和元年9月4日～10月31日
活動延べ人数	2,238人
依頼件数	277件
活動件数	411件

３．美作市社会福祉協議会の運営支援

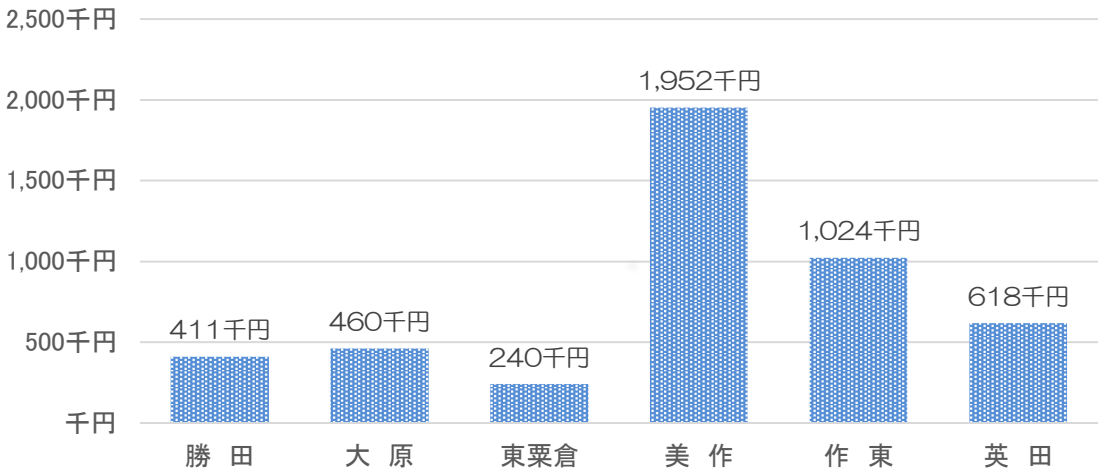
活動資材の提供	スコップ20搬入（令和元年9月7日）
職員派遣	9月7日（土）2名、9月12日（木）～13日（金）2名派遣 3日間で延べ6名の職員を派遣
ボランティアバス運行	9月17日（火）運行を計画したが、参加者の応募がなく中止

寄附金事業 ①

事業概要	市民の皆様からお寄せ頂いた香典返しや見舞い返し等の寄附金は、美作市社協が推進する地域福祉事業の浄財です。 令和元年度は、次項の寄附金事業支出内訳に記載する、地区社協・サロン等の地域福祉事業と市社協の権利擁護事業・広報事業等に活用させて頂きました。
寄付金収入状況推移	

	一般寄付金		見舞い返し		香典返し		合　計	
	件数	金　額	件数	金　額	件数	金　額	件数	金　額
平成19年度	11件	3,322,140円	64件	948,000円	305件	7,285,000円	380件	11,555,140円
平成20年度	16件	324,719円	54件	658,000円	306件	6,538,000円	376件	7,520,719円
平成21年度	6件	91,035円	33件	415,000円	326件	6,111,000円	365件	6,617,035円
平成22年度	19件	341,706円	48件	597,810円	323件	6,712,175円	390件	7,651,691円
平成23年度	19件	302,415円	47件	619,000円	338件	7,019,000円	404件	7,940,415円
平成24年度	20件	264,292円	52件	751,000円	309件	6,827,500円	381件	7,842,792円
平成25年度	19件	1,090,666円	22件	315,000円	269件	5,187,500円	310件	6,593,166円
平成26年度	20件	298,553円	25件	292,000円	310件	5,440,500円	355件	6,031,053円
平成27年度	19件	190,848円	28件	286,526円	322件	5,007,500円	369件	5,484,874円
平成28年度	18件	170,152円	21件	163,765円	286件	5,107,000円	325件	5,440,917円
平成29年度	23件	209,132円	18件	149,000円	259件	4,369,000円	300件	4,727,132円
平成30年度	22件	221,669円	19件	155,000円	248件	4,282,000円	289件	4,658,669円
令和元年度	21件	325,926円	10件	118,000円	257件	4,260,500円	288件	4,704,426円

支所別寄附金納入実績内訳



寄附金科目内訳		支所内訳						合計
		勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田	
一般寄附金	件数	1件			4件	13件	3件	21件
	金額	1,000円			141,870円	130,000円	53,056円	325,926円
見舞い返し	件数	3件	1件	1件		4件	1件	10件
	金額	40,000円	30,000円	10,000円		33,000円	5,000円	118,000円
香典返し	件数	27件	30件	14件	88件	68件	30件	257件
	金額	370,000円	430,000円	230,000円	1,810,000円	860,500円	560,000円	4,260,500円
令和元年度合計	件数	31件	31件	15件	92件	85件	34件	288件
	金額	411,000円	460,000円	240,000円	1,951,870円	1,023,500円	618,056円	4,704,426円
平成30年度合計	件数	34件	23件	14件	111件	87件	20件	289件
	金額	433,500円	290,000円	195,000円	2,274,123円	1,041,046円	425,000円	4,658,669円

寄附金事業支出内訳

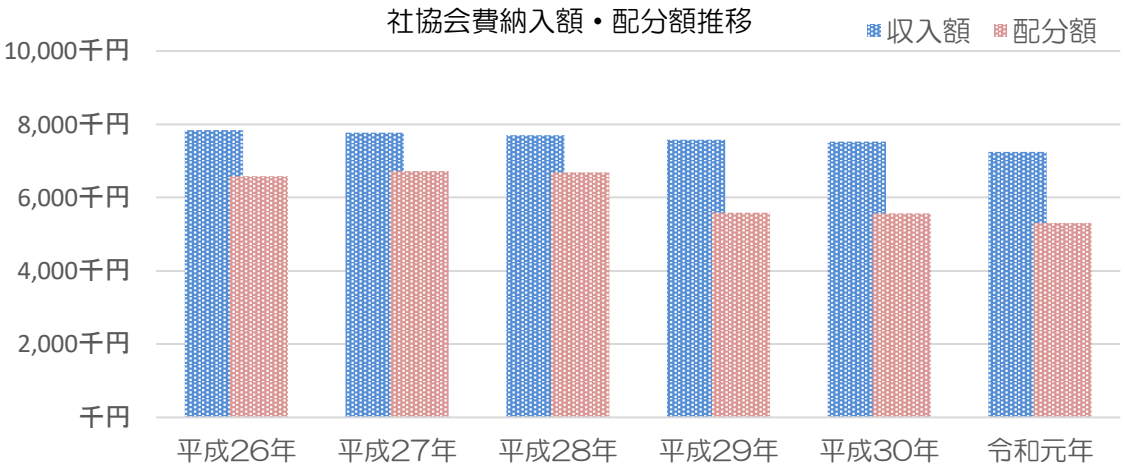
区分	事業名	事業費
地区社協	1. 地区社協広報紙作成支援事業	68,340円
	2. 地域文化伝承事業	90,000円
	3. 高齢者ふれあい・いきいきサロン新規立上げ事業	60,000円
	4. 友愛訪問支援事業	404,260円
サロン	5. 高齢者ふれあい・いきいきサロン助成金事業	2,020,000円
市社協	6. 法人後見事業	1,470,983円
	7. 「社協だより」広報事業	1,604,916円
	8.「私の生き方ノート」制作代	148,500円
合計		5,866,999円

寄附金事業の財源不足分1,162,573円は社協会費より充当

社協会費 ①

事業概要	社協の活動は、美作市や県社協からの受託金、補助金の他、市民や団体、企業の皆様からの社協会費や寄附金等を財源としています。 社協会費は、福祉のまちづくりをすすめるための貴重な自主財源で、納入いただいた会費から、地区社協実態調査の世帯数に200円を乗じた額を差し引いた額を、各地区社協の活動費として配分しています。
社協会費内訳	普通会費　1,000円　　賛助会費　3,000円　　特別会費　5,000円

社協会費納入額推移

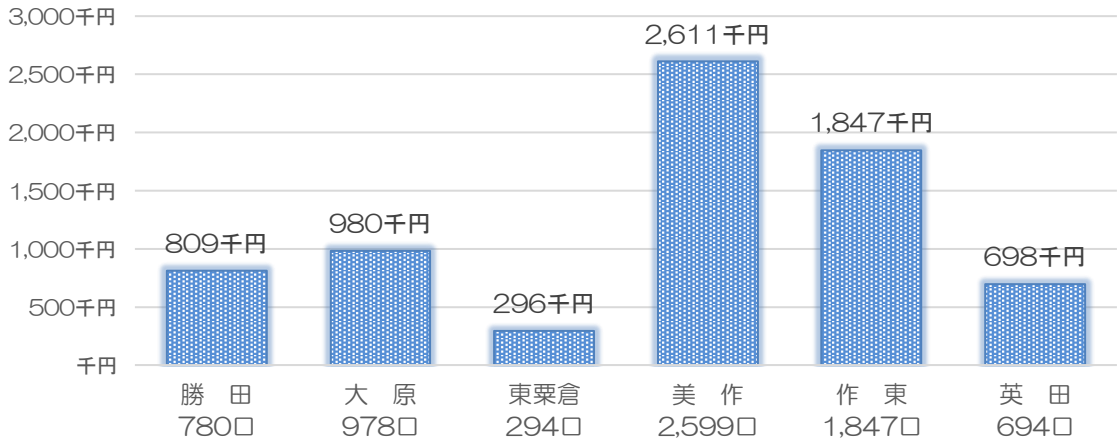


	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
収入額	7,844,000円	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	96.3%
配分額	6,584,800円	6,727,600円	6,681,300円	5,580,900円	5,565,200円	5,308,800円	95.4%

地域別会費納入額推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
勝田	883,500円	861,000円	857,000円	833,000円	837,000円	809,000円	96.6%
大原	1,079,000円	1,057,000円	1,035,000円	1,009,000円	1,000,000円	980,000円	98.0%
東粟倉	349,000円	329,000円	315,000円	308,000円	299,000円	296,000円	98.9%
美作	2,813,500円	2,797,000円	2,797,500円	2,779,500円	2,774,000円	2,611,000円	94.1%
作東	1,951,000円	1,962,000円	1,939,000円	1,902,000円	1,895,000円	1,847,000円	97.5%
英田	768,000円	762,500円	754,000円	740,000円	711,000円	698,000円	98.2%
合計	7,844,000円	7,768,500円	7,697,500円	7,571,500円	7,516,000円	7,241,000円	96.3%

令和元年度
地域別会費
納入額内訳



地域名・総口数	普通会員数	賛助会員数	特別会員数	会費決算額	世 帯 数 ※	地区社協配分総額	加入率
勝　田 780口	773口		7口	809,000円	983世帯	612,400円	79.3%
大　原 978口	977口	1口		980,000円	1,170世帯	746,000円	83.6%
東粟倉 294口	293口	1口		296,000円	362世帯	223,600円	81.2%
美　作 2,599口	2,595口	1口	3口	2,611,000円	4,017世帯	1,807,600円	64.7%
作　東 1,847口	1,847口			1,847,000円	2,173世帯	1,412,400円	85.0%
英　田 694口	692口	2口		698,000円	956世帯	506,800円	72.6%
合　計 7,192口	7,177口	5口	10口	7,241,000円	9,661世帯	5,308,800円	74.3%
前年実績 7,452口	7,433口	6口	13口	7,516,000円	9,754世帯	5,565,200円	76.3%

※世帯数は、平成31年4月1日現在の地区社協実態調査表による地域別の総世帯数

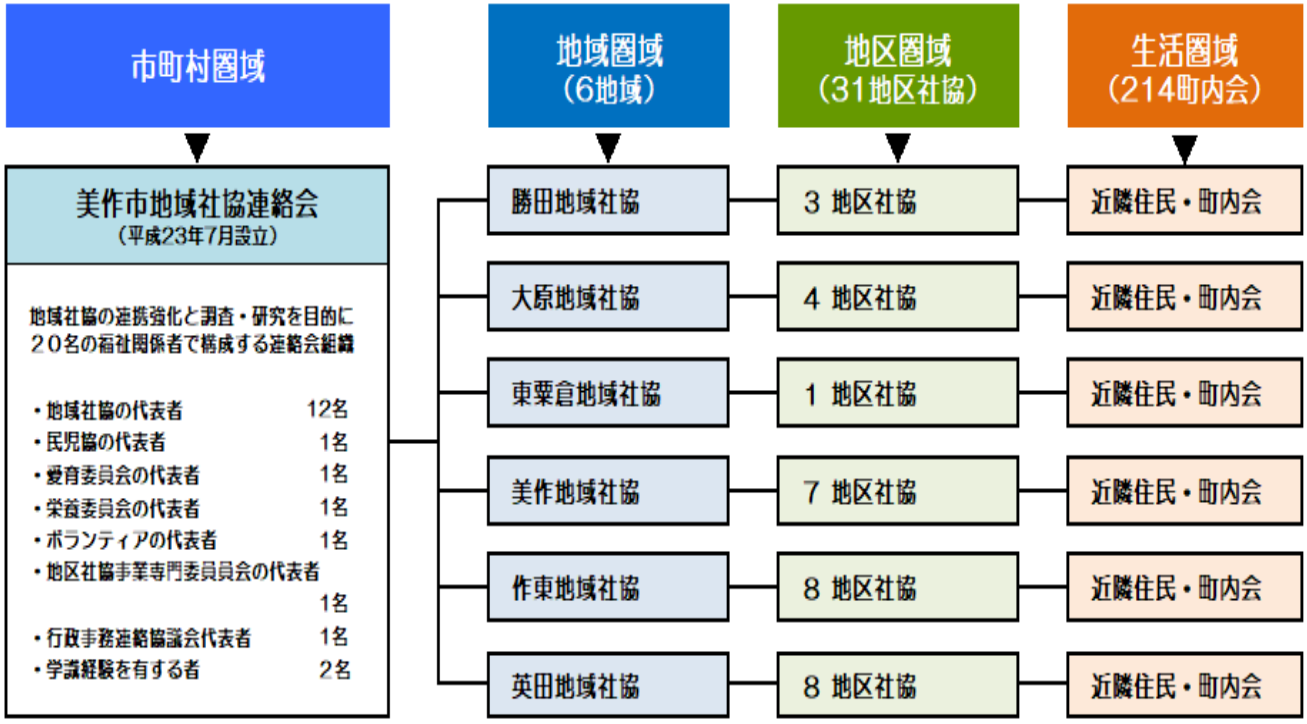
企画広報事業



事業の概要	市民の皆様からいただいた社協会費及び寄付金を財源に、社協が実施する諸事業・活動の紹介、福祉サービス・ボランティア活動に関する情報等を掲載した広報紙「はい！社協です」を発行し、地域福祉活動の啓発を図っています。広報紙は平成23年11月号から有料広告を掲載し市内全戸に配布しています。 また、インターネットを活用した「ホームページ」も平成24年4月リニューアルし、本会事業の取組みや地域福祉情報の発信を行っています。		
広報紙の仕様	A4：12ページ　表1・表4カラー　中面2色		
発行回数	隔月発行　（平成29年5月号～）	発行部数	12,800部
配布方法	美作市広報紙に挟みこみ	発行財源	社協会費・寄附金
有料広告	1枠：10,000円、2枠：20,000円	協賛事業者	16事業者

	内　容
令和元年5月号	平成31年度事業計画・予算が決定、平成30年度ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ養成講座開催、 輝くボランティア、高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、支所通信、人事異動、 フードバンク活動を始めました、第17回暮らしの困りごと相談会、新入職員紹介、 美作市大原・東粟倉・作東地域生活就労支援センター開設、平成31年度組織構図他
令和元年7月号	令和元度美作市内の社会福祉法人等連絡協議会総会、ボランティア講演会を開催、 子育て用品・車椅子の無料貸出期間延長について、輝くボランティア、支所通信、 高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、令和元年度社協会員加入の願い、なごみ移転、 令和元年度市民後見人等養成研修受講生募集、社協福祉出前ステーションについて
令和元年9月号	平成30年度事業報告・決算報告、平成30年度寄附金活用報告、社会を明るくする運動、 平成30年度社協会費実績報告、2019年夏のボランティア体験事業事前研修会、 会長就任挨拶、新役員紹介、輝くボランティア、高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、 支所通信他
令和元年11月号	2019年夏のボランティア体験事業、新見市災害ボランティアセンター運営支援について、 なごみ通信、美作市ファミリーサポートセンター、食糧支援おむすび事業について、 第18回暮らしの困りごと相談会について、赤い羽根共同募金、輝くボランティア、 高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、支所通信、家計相談会について、職員採用試験他
令和2年1月号	美作市社協理事の新春メッセージ、福祉のまちづくりフォーラムin美作を開催、 フードドライブにご協力をお願いします、輝くボランティア、支所通信、 高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、令和元年度美作市戦没者追悼式を開催、 家計相談会の開催について、年末年始のお知らせ他
令和2年3月号	令和元年度共同募金実績報告、美作お助け隊第1回フードドライブのお礼とご報告、 家計改善支援事業について、第19回暮らしの困りごと相談会について、英田支所移転、 障害理解を広めるボランティアさん養成講座について、支所通信、新入職員紹介、 高齢者ふれあい・いきいきサロン紹介、手話奉仕員入門課程養成講座について他
ホームページの更新	ホームページを開設しております。　美作市社会福祉協議会ホームページ http://www.mimasakasyakyo.jp	

地区社協組織体系図（令和2年3月末現在）



事業概要		平成23年度より、地区社協の組織確立・強化に向けた取り組みとして、市レベルの31地区社協連合会組織「地域社協連絡会」やその専門機関として「地区社協事業専門委員会」「地区社協会長会」等を設立し、地域福祉基礎組織としての位置づけと役割の徹底や連携・情報交換の強化を図りました。 また、市社協が事業提案し、これらの機関で決定した「福祉ネットワークづくり事業」や地区社協メニュー事業は殆どの地区社協で実施され、特に平成２６年度から実施している「おたがいさまネット事業」は、地区社協が運営主体となり地域住民による定期的な見守りやちょっとした困りごとの支援活動を行う事業で、30の地区社協が取り組み181集落で見守り会議が開催されました。
地区社協の組織体系	地区社協数と活動形態	市内で活動する地区社協数は31あり、小地域福祉活動を担う基礎組織として、自治振興協議会単位の設立になっています。 地区社協の活動形態は大きく分けて、自治振興協議会の福祉部会として活動しているものと、自治振興協議会から独立して活動が行われているものとに分かれます。
	地区社協の構成員内訳	・民生委員、愛育委員、栄養委員、ボランティア代表（30地区） ・区長（29地区）・福祉委員（15地区） ・老人クラブ役員（24地区）　・身障協会役員（7地区） ・その他（19地区）
地域社協の組織体系	地域社協	平成の合併前の旧町村内で設置した、各地区社協の代表者で構成する地区社協連絡会を「地域社協」としており、6つの「地域社協」があります。

地区社協活動の推進：②地域社協連絡会

<table>
<tr><td>事 業 概 要</td><td colspan="2">３１地区社協の市レベルの連合体である地域社協連絡会は、地区社協活動の推進組織として平成２３年度に設立し、地区社協事業専門委員会や地区社協会長会等の機関を持ち地区社協事業の計画の決定や地区社協間の連携強化を図っています。</td></tr>
<tr><td>役 員 構 成
（ 20 名 ）</td><td colspan="2">・地域社協代表者（2名×6地域社協）：12名
・美作市民生委員児童委員協議会の代表者：1名
・美作市愛育委員の代表者：1名
・美作市栄養委員の代表者：1名
・美作市ボランティア連絡協議会の代表者：1名
・自治振興協議会の代表者：1名
・地区社協事業専門委員会の代表者：1名
・学識経験を有する者：2名</td></tr>
<tr><td rowspan="4">活 動 内 容</td><td>期　日　等</td><td>内　　容</td></tr>
<tr><td>第１回　役員会
令和元年6月25日
（出席者：15名）</td><td>・平成30年度 事業報告について
・平成30年度 福祉ネットワークづくり事業について
・平成30年度 地区社協メニュー事業について
・平成30年度 おたがいさまネット事業について
・平成30年度 社協会費・寄附金事業について
・令和元年度 事業計画（案）について
・地区社協会長会議の開催について</td></tr>
<tr><td>役員視察研修
令和元年9月10日

出席者：22名
役員14名・社協8名</td><td>いきがい・助け合いサミットin大阪
共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践
会場：大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）

7分科会に参加
①人口が少ない自治体の助け合いの生活支援に関する課題と対応策
②社協の総合事業・体制整備事業に求められる役割は何か
③包括は総合事業・体制整備事業にどこまで関わるのが望ましいか
④町内会レベルのワークショップの手法は何か
⑤地域で行われている助け合い活動をどう発見するか
⑥地域の中高年男性をどう助け合い活動に引き込むか
⑦住民のやらされ感を払しょくするコツと手法は何か</td></tr>
<tr><td>福祉のまちづくり
フォーラムin美作

参加者120名</td><td>日　時：令和元年12月3日（火）　13：30～16：10
会　場：作東バレンタインプラザ
内　容：
1）基調講演
「地域における障害者の生活と障害に対する理解について」
講師：美作大学生活科学部社会福祉学科　教授　堀川涼子氏
2）リレートーク「地域の障害福祉サービス事業所の紹介」
参加：障害者地域活動支援センターなごみ他6事業所</td></tr>
<tr><td>第２回　役員会
令和2年1月29日
（出席者：14名）</td><td>・行政報告：美作市認知症あんしん声かけ模擬訓練について
美作市地域包括支援センター　山本睦恵主査
・令和元年度 福祉のまちづくりフォーラムin美作について
・福祉のまちづくり行動計画事業実施企画書
市内の小・中・高校生に向けた体験型福祉教育の実施
・福祉のまちづくり行動計画事業実施企画書
遺贈と空き家活用による地域福祉の拠点づくり</td></tr>
</table>

地区社協活動の推進：③地区社協事業専門委員会

事業概要	平成24年7月、地域社協連絡会に地区社協活動の問題点や課題を明らかにし、活動推進に向けた新たな方策を協議検討する専門委員会を設置しました。専門委員会で協議決定された事項は地域社協連絡会に報告され、地区社協活動の推進策に実務者の声を反映する仕組が構築されています。平成29年度は寄附金事業や社協会費の配分、地区社協メニュー事業の見直しについて協議が行われました。
委員構成	平成29年度に委員構成を見直し、6地域社協より選出された地区社協活動の実務者10名から12名に変更。
活動内容	令和元年度は委員会の開催なし

地区社協活動の推進：④地区社協会長会

事業概要	市社協並びに地域社協連絡会、関係機関等からの情報提供の場として、また各地区社協相互の情報交換・意見交換の場として地区社協会長会を開催しています。 なお、令和元年度からは、地区社協会長会を地域単位で開催しています。	
地域社協名	期日等	内容
勝田地域社協	令和元年5月24日（出席者9名）	・平成30年度 福祉ネットワークづくり事業について ・平成30年度 地区社協メニュー事業について ・平成30年度 おたがいさまネット事業について ・平成30年度 社協会費・寄附金事業について
大原地域社協	令和元年5月8日（出席者16名）	
東粟倉地域社協	令和元年5月29日（出席者14名）	
美作地域社協	令和元年5月16日（出席者16名）	
作東地域社協	令和元年6月10日（出席者12名）	
英田地域社協	令和元年5月30日（出席者16名）	

地区社協活動の推進：⑤－１福祉会議

<table>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">福祉ネットワークづくり事業は、地区社協の組織運営の強化を図るために、地区社協構成員に民生委員・愛育委員・栄養委員・ボランティア団体の代表者等の参画による組織の再編と地域の福祉課題や生活課題の把握と課題解決に向けた活動（年3回の福祉会議開催）に対し、美作市社協が平成24年度より寄付金等を財源に活動費を助成する事業として提唱しました。
本事業は、地区社協基盤強化事業（単年事業）と福祉会議事業（継続事業）の2つのメニュー事業で構成しており、令和元年度は福祉会議事業に30地区社協が事業申請し、自分達の住む地域の福祉課題を把握し、その課題について共に考え活動していく協議が行われ、福祉会議の開催数は延べ８１回、1,282人の地区社協関係者や住民が参加しました。
しかし、3月に福祉会議の開催を予定していた12地区社協については、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止となりました。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">助成金額と申請状況</td><td rowspan="2">①基盤強化事業（単年事業）</td><td>助成金額</td><td>50,000円</td></tr>
<tr><td>Ｒ１申請状況</td><td>なし（平成26年度で30地区社協が実施済）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②福祉会議事業（継続事業）</td><td>助成金額</td><td>30,000円</td></tr>
<tr><td>Ｒ１申請状況</td><td>30地区社協</td></tr>
<tr><td>財源</td><td colspan="3">基金運営事業</td></tr>
<tr><td>福祉会議の様子</td><td colspan="3">
←大吉地区社協の福祉会議の様子

土居地区社協の福祉会議の様子</td></tr>
</table>

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
梶　　並	■協議内容 ①福祉会議・見守り会議等を活用した見守りの視点や住民同士のつながりについて ②課題解決実施計画書に記載されている地区社協と福祉委員の連携について ■決定事項 ①各地区の情報共有を行い、地区住民の自助の意識の向上を図った ②福祉会議等を活用した、地区社協と福祉委員の連携・協力体制を構築していく ■開催日・参加者数 7月19日（16人）・10月18日（18人）・2月21日（14人）
勝　　田	■協議内容 ①地区社協活動周知を目的とした広報紙の作成について ②グループワーク実施後の「自分たちができそうなこと」について ③誰もが住みやすい地域・地区づくりについて ■決定事項 ①広報紙作成の目的を再度明確にし、広報紙作成の協力体制を確認 ②前年情報共有を行ったが、具体的な活動には至っていない ③認知症を正しく理解し、当事者の気持ちに配慮した見守り・声かけができるよう、勝田地区で「認知症あんしん声かけ模擬訓練」を計画・実施予定 ■開催日・参加者数 4月22日（13人）・5月29日（12人）・7月16日（16人）・11月6日（13人）・2月27日（16人）
勝　田　東	■協議内容 ①見守り体制連絡図の全戸配布について ②移動困難等その他困りごとの聞き取りについて ③男性の集いの場について ■決定事項 ①見守り体制連絡図作成が目的ではなく、協議していくなかで役員の福祉意識の向上を高めることが目標であることを確認し取り組み、全戸配布した ②見守り体制連絡図全戸配布時に、移動困難等その他困りごとの聞き取りを実施し実態把握を行った ③男性の集いの場として、男性のみの料理教室を計画・実施した ■開催日・参加者数 4月25日（18人）・7月23日（11人）・10月29日（13人）・3月19日（新型コロナウイルスにより中止）

地区社協活動の推進：⑤－3福祉会議

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
大　　原	■協議内容 ①サロンの参加率向上について　②大原地区社協ミニデイサービス事業について ■決定事項 ①個別的に参加の声かけや参集方法について議論を行う ②何らかの理由でサロンに参加できない方でも、気軽に参加できるミニデイサービス事業を継続して行う ■開催日・参加者数 5月13日（20人）・8月19日（15人）・3月13日（新型コロナウイルスにより中止）
讃　　甘	■協議内容 ①サロンを開催できない地区について　②世代間交流について ■決定事項 ①サロン開催が難しい字は、合同で開催したり地区社協主催のミニデイに参加してもらう ②老人クラブに協力を得て、しめ縄作りなど世代間交流行事を行う ■開催日・参加者数 5月14日（12人）・8月27日（15人）・3月12日（14人）
大　　野	■協議内容 ①気軽に集える場の整備や世代間交流について　②コミュニティの有効活用について ■決定事項 ①大野カフェの定期的な開催を継続していく ②サマースクールや巻き寿司作りなど子供や保護者と世代間交流を行う ■開催日・参加者数 5月21日（17人）・3月4日（13人）・3月19日（13人）
大　　吉	■協議内容 ①地区社協内の横の連携（情報共有）について ■決定事項 ①福祉会議・見守り会議等でそれぞれの立場での情報共有や活動などの情報交換を行い、それぞれの組織の活動や日常の見守り活動等に活かす ■開催日・参加者数 5月17日（17人）・7月30日（13人）・3月16日（新型コロナウイルスにより中止）

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
東　粟　倉	■協議内容 ①引きこもりがちの独居高齢者や地区住民が集える場について ②生活の困りごとと支援について ■決定事項 ①コミュニティカフェやミニデイサービスを開催し、参加を呼び掛ける ②つどいの場を通じて、生活の困りごとについて情報収集を行う ③ゴミ出しカレンダーや生活便利帳を作成し、独居高齢者や高齢者夫婦世帯の生活を支援する ■開催日・参加者数 5月29日（14人）・7月18日（16人）・11月28日（16人）
豊　　国	■協議内容 ①福祉委員研修会を通じた、地区社協事業の理解啓発、地域防災の意識向上について ②おたがいさまネット事業における心身に障害のある方や引きこもり世帯等を含めた見守り体制の強化について ■決定事項 ①福祉委員研修会を通じて、福祉委員や区長の地区社協事業への理解が深まった また、研修会と併せて防災に関する出前講座を実施し、住民の防災意識の向上にも繋がった。次年度も引き続き防災についての取り組みを行う ②令和元年度は、見守り会議は中止になったが、各サロンで日頃からの見守り活動を行っている 高齢者に限定しない、幅広い視点での取り組みについては、次年度の課題とする ■開催日・参加者数 7月9日（13人）・11月12日（12人）・3月9日（新型コロナウイルスにより中止）
湯　　郷	■協議内容 ①集落と地区社協の連携強化 ②おたがいさまネット事業における障害者や引きこもり世帯を含めた見守り体制の強化について ③サロンへの支援について ■決定事項 ①湯郷町内会長会議や湯郷町内会以外にも全ての字で地区社協事業について説明を行ったことで、住民理解が深まったので、次年度も協力依頼を行う ②おたがいさまネット事業の見守り対象者は依然として高齢者に偏っており、引きこもりや生活困窮等の制度の狭間で支援を必要とする世帯への見守りについて、地域でどのように関わっていくのかを次年度の課題とする ③引き続き、出前講座やサロン代表者会議を通じ、サロン活動の支援強化を図る ■開催日・参加者数 7月18日（11人）・10月17日（12人）・2月26日（12人）

地区社協活動の推進：⑤ー5福祉会議

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
豊　　田	■協議内容 ①サロンに参加していない男性等が気軽に集える場所について ■決定事項 ①現在、美作市シルバー人材センターが一部使用している、旧豊田小学校に住民が集える場所（カフェ）を立ち上げる ■開催日・参加者数 5月１８日（25人）・8月24日（21人）・11月16日（21人） 2月２９日（新型コロナウイルスにより中止）
楢　　原	■協議内容 ①楢原地区に住んでいる住民が、日頃から繋がりを持てる機会、きっかけづくりの場を提供する ■決定事項 ①「福祉の集い」を開催し、楢原地区内にある障害者のグループホーム入所者にも参加してもらえるよう声掛けを行う ■開催日・参加者数 5月２４日（１４人）・9月２０日（１１人）・１２月6日（13人） 3月１３日（新型コロナウイルスにより中止）
巨　　勢	■協議内容 ①民生委員、愛育委員、地区社協が行っている友愛訪問や見守り会議の情報の集約と共有方法について ②役員間での横のつながり、情報共有について　③救急キットの更新方法について ■決定事項 ①見守り対象者の集約方法として全世帯を対象に世帯情報を記載した「世帯カード」を作成した字もあり一定の成果が得られたため、地区社協全体ではなく、各字で取り組む ②友愛訪問のみを中心とした協議となり、役員間の情報交換、課題の協議については、十分に行えていないため、次年度の課題とする ③地区社協友愛訪問時に救急キット更新の呼びかけを行う ■開催日・参加者数 ５月26日（１５人）・12月8日（10人）・3月21日（新型コロナウイルスにより中止）
田　　殿	■協議内容 ①認知症に対する理解を深める方法について ■決定事項 ①認知症に対する住民理解を深めるため、サロンを活用して認知症サポーター養成講座を開催する ■開催日・参加者数 4月４日（１５人）・10月１７日（１３人）・12月１５日（１４人）

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
江 見 中 部	■協議内容 ①地域で生活する障害者の方への関わり方について　②友愛訪問について ■決定事項 ①障害者の方にも目を向け、見守り会議でも対象としていく ②定期的な見守りを行うため、地域の他の団体の訪問と重ならないよう日程調整する ■開催日・参加者数 8月7日（20人）・12月4日（20人）・2月19日（14人）
江 見 西 部	■協議内容 ①買物難民・移動困難についてどのようにすれば解決できるか ②気になったこと、困ったこと等の相談について ■決定事項 ①タクシー利用補助制度等、既存の制度サービスについて情報共有する ②生活面の不安や、困ったことは民生委員や社協に相談する ■開催日・参加者数 ８月18日（24人）・10月5日（11人）・3月1日（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽにより中止）
江 見 東 部	■協議内容 ①認知症の方に対する地域での関わりについて ■決定事項 ①認知症介護をした方の体験談を聞き、地域住民の意識向上や自分たちで出来る事 をチラシにまとめて、全戸配布する ■開催日・参加者数 9月13日（15人）・11月19日（13人）・2月13日（13人）
福　　山	■協議内容 ①認知症の理解、当事者やその家族の関わり方について ②健康寿命を延ばすためには何ができるか ■決定事項 ①福山地区で誰もが支え合うことができるよう、今後も認知症の理解を深める ②サロン活動の充実や、サロン活動の交流を行う ■開催日・参加者数 7月26日（26人）・11月16日（20人）・2月26日（25人）

地区社協活動の推進：⑤－7福祉会議

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
豊　　野	■協議内容 ①地域の見守りについて ■決定事項 ①友愛訪問時に会話を増やし、変化や気づきがあれば、地域で具体例も交え共有する ②見守りの幅が広がるよう、サロンに多くの方が参加できる工夫を行う ■開催日・参加者数 7月18日（20人）・11月11日（14人）・2月14日（20人）
粟　　井	■協議内容 ①ふれあいの集いの実施状況等について ②地区住民の困り事について（アンケート調査を実施） ■決定事項 ①「ふれあいの集い」の振り返りを行った結果、その後、参加者が地域の集まりに参加しているか調査・検討する ②アンケート結果について来年度の福祉会議で検討する ■開催日・参加者数 5月10日（１２人）・11月27日（16人）・２月27日（17人）
吉　　野	■協議内容 ①見守り会議の開催について　　②障害者についての理解を深める ■決定事項 ①見守り会議（年１回）とは別に、福祉会議の度に情報共有を行う ②障害者理解を深めるため、障害者地域活動支援センターなごみの事業説明を聞き、活動や地域との関わりを学ぶ ■開催日・参加者数 ７月27日（25人）・11月23日（25人）・３月21日（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽにより中止）
土　　居	■協議内容 ①「福祉のつどい」の在り方、参加呼びかけについて ■決定事項 ①「福祉のつどい」を年齢に関係なく呼びかけ、地域で福祉を考える場にする ②チラシ回覧だけでなく、見守りも兼ね直接手渡しするなど案内の方法を検討する ③役員以外の住民にも福祉の大切さを伝えていく ■開催日・参加者数 5月14日（21人）・7月30日（18人）・10月18日（16人）・2月17日（17人）

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
奥	■協議内容 ①各種行事への参加者の減少について ②福祉活動及び友愛訪問時の高齢者の状況把握について ■決定事項 ①敬老会や地域行事等の参加率の減少しているものに対して働きかけを強化していく ②参加率の減少について、要因を継続して検討していく ③友愛訪問時に高齢者の状況を把握する ■開催日・参加者数 5月10日（25人）・10月18日（20人）・3月13日（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽにより中止）
福　　本	■協議内容 ①見守り会議の実施と災害時の対応 ②地域行事・健康維持活動（ゲートボール、囲碁ボール、元気会）の取組みについて ■決定事項 ①要配慮者の災害時支援について今後具体化していく ・要配慮者の支援者の名簿作成　・災害時連絡体制名簿の作成 ②地区社協広報誌で、地域行事や健康維持活動の周知を継続して進めていく ■開催日・参加者数 5月22日（26人）・9月25日（23人）・1月22日（25人）
真　三　井	■協議内容 ①社協の体制強化・情報の共有を図るため各種団体の情報が集約できる組織づくり ②地区社協活動の住民への周知と、「お互い様」の協力体制の構築 ■決定事項 ①見守り会議、友愛訪問での状況把握と情報共有を行う 個人情報保護法の問題も含めて情報集約できる体制づくりを継続して検討していく ②地区社協広報誌による住民への地区社協活動の周知を継続していく ■開催日・参加者数 5月17日（11人）・9月8日（11人）・11月8日（16人）・1月28日（16人）
上　　山	■協議内容 ①災害時の助け合い　　②後継者の育成 ■決定事項 ①福祉会議・見守り会議で見守りが必要な高齢者の把握をし、災害に備えた情報共有や意識付けを行う ②地域の行事等へ定年前より参加してもらい、地域の役をしてもらうよう働きかける ■開催日・参加者数 6月18日（11人）・12月18日（11人）・3月14日（新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽにより中止）

地区社協活動の推進：⑤－９福祉会議

地区社協名	福　祉　会　議　の　内　容　等
河　　会	■協議内容 ①高齢者の困りごとの把握について　②福祉情報の共有について ③組織強化について ■決定事項 ①食事サービスや友愛訪問等で定期的な訪問をし、情報収集や情報提供を行う ②福祉会議等の場で、福祉情報の収集を行う ③ボランティアの高齢化が進み、人材確保について今後も継続して検討する ■開催日・参加者数 ５月14日（18人）・9月19日（16人）・2月14日（17人）
公　　文	■協議内容 ①救急医療情報キットの更新や必要性の啓発について ■決定事項 ①地区役員への救急医療情報キットの理解を広げ、キットの更新を行う ②75歳以上の高齢者には地区社協負担で提供する ■開催日・参加者数 ５月11日（18人）・９月６日（16人）・3月６日（新型コロナウイルスにより中止）
公　文　奥	■協議内容 ①見守りが必要な人の把握について ■決定事項 ①福祉会議、見守り会議を継続し、見守りが必要な方の把握を行う ②サロン活動との連携を深めて高齢者の状況把握を行う ■開催日・参加者数 ７月30日（13人）・11月27日（13人）・3月（新型コロナウイルスにより中止）
尾谷・椿谷	■協議内容 ①組織の体制の強化と事業推進について ②高齢者の見守りと交流の場づくりについて ■決定事項 ①福祉会議、見守り会議を通じて各組織からの情報の共有化を図る ②サロン活動・グラウンドゴルフ活動の推進と広報誌による地域の行事の周知 ■開催日・参加者数 ６月20日（16人）・10月９日（14人）・3月２日（新型コロナウイルスにより中止）

事業概要	おたがいさまネット事業は、地区社協が運営主体となって、一人暮らし・高齢者・障害者世帯など、日常的に見守りが必要な世帯の拾い出しを行う「見守り会議」を開催し、見守りが必要な人のお宅に、地区住民が定期的に訪問し、安否確認やちょっとした困りごとをお手伝いする住民の自主活動による見守りネットワークを構築する事業です。 令和元年度は、美作市内31地区社協のうち30地区社協がこの事業に取組み、市社協職員が見守り会議への参加や訪問調整等のコーディネートをし、地区社協の活動支援を行っています。ふれあい訪問は月１回の無料訪問利用者は32名、その内月２回以上の有料訪問は２名が利用され、延べ訪問回数は369回でした。	
支援対象者	一人暮らし高齢者、認知症高齢者、高齢者世帯、身体・精神・知的障害者等 地域から孤立する恐れがあり定期的な生活援助が必要な者	
支援内容	安否確認	無事に暮らしているか、その他状態の変化がないか
	消費者被害防止	振り込め詐欺や訪問販売等の被害はないか
	生活情報の支援	サロンや公的情報、地域行事等の情報提供
	話し相手	定期訪問による見守りなど
	買い物宅配支援	業者発注の手続きや店舗への電話取り次ぎ等
	オプション	手紙文書の整理、ゴミの分別・ゴミだし、電球交換、買い物代行 ※ｵﾌﾟｼｮﾝは、月2回以上の訪問に適用
見守り会議	見守り会議は、地区社協単位で開催し、自治会代表者・民生委員・老人会役員などが大字ごとに一つのテーブルを囲んで、見守りが必要な世帯や訪問員の選定を行うもので、抜け漏れのない地域の実態把握と住民同士の情報共有が行われています。 見守り会議は、事業開始３年間は年2回以上実施、４年経過後は年１回以上実施。 令和元年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、２月末から３月に予定していた４地区社協が見守り会議の開催を中止しました。	

実施状況	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施地区社協数	30地区社協	30地区社協	30地区社協
実施集落（大字）数	179集落	181集落	181集落
利用世帯数	62世帯	45世帯	32世帯
延訪問回数	613回	512回	369回
見守り会議開催数	56回	50回	47回
見守り会議参加人数	987人	793人	777人
市社協職員参加人数	115人	84人	71人

利用者実態	利用世帯数：32世帯（新規利用：４世帯・中止世帯17世帯）
	世帯状況：独居高齢者２９、高齢者世帯１、高齢者・障害者世帯1、障害者世帯１
訪問員実態	訪問員登録人数：７６人（平均年齢71歳）
	実働人数：38人
訪問状況	月1回訪問：30世帯、有料訪問：2世帯（月2回以上の訪問）
利用者の支援ニーズ	安否確認：３２件　話し相手：３１件　消費者被害防止：６件 買物宅配支援：1件　生活情報の支援：４件　※支援ﾌﾟﾗﾝより抽出（重複含む）

地区社協活動の推進：⑥ー2おたがいさまネット事業

地区社協名	大字の実施状況			世帯の実施状況			利用状況			
	大字総数	実施大字	実施率	世帯総数	実施世帯	実施率	要訪問世帯数	新規利用世帯数	実利用世帯数	延訪問回数
梶並	6	6	100%	276	276	100%	0	0	0	0
勝田	10	4	40%	531	285	54%	0	0	0	0
勝田東	4	4	100%	176	176	100%	1	0	1	12
大原	5	5	100%	462	462	100%	2	0	2	24
讃甘	5	5	100%	236	236	100%	0	0	0	0
大野	6	6	100%	238	238	100%	0	0	0	0
大吉	7	7	100%	234	234	100%	3	0	3	27
東粟倉	7	4	57.1%	362	283	78%	0	0	0	0
豊国	11	8	72.7%	1123	1002	89%	0	0	0	0
湯郷	27	27	100%	869	869	100%	4	0	4	91
林野	19	—	—	646	—	—	—	—	—	—
豊田	9	9	100%	309	309	100%	0	0	0	0
楢原	5	5	100%	622	622	100%	1	0	1	12
巨勢	10	10	100%	299	299	100%	2	0	2	14
田殿	3	3	100%	116	116	100%	0	0	0	0
江見中部	12	11	91.6%	246	246	100%	3	0	3	36
江見西部	8	8	100%	337	337	100%	1	1	1	12
江見東部	8	7	87.5%	154	139	90%	0	0	0	0
豊野	6	6	100%	146	146	100%	2	0	2	18
土居	5	5	100%	528	528	100%	1	0	1	12
福山	5	5	100%	161	161	100%	6	3	6	47
粟井	5	5	100%	332	332	100%	1	0	1	9
吉野	8	8	100%	269	269	100%	1	0	1	12
奥	1	1	100%	120	120	100%	2	0	2	12
福本	1	1	100%	200	200	100%	0	0	0	0
真三井	5	5	100%	143	143	100%	0	0	0	0
上山	3	3	100%	128	128	100%	2	0	2	31
河会	3	3	100%	67	67	100%	0	0	0	0
公文奥	4	4	100%	80	80	100%	0	0	0	0
公文	4	4	100%	121	121	100%	0	0	0	0
尾谷・椿谷	2	2	100%	97	97	100%	0	0	0	0
合計	214	181	84.6%	9,628	8,521	88.5%	32	4	32	369

事　業　概　要	地区社協メニュー事業は、市社協が地区社協活動を支援する事業をメニュー化したもので、地区の実情に沿った様々な取り組みが行われています。メニュー事業は、市社協が地区社協事業専門委員会及び地域社協連絡会で提案し、協議決定され事業化しています。

令和元年度地区社協メニュー事業の実施状況

地区社協名		高齢者ミニデイ	地域文化伝承事業	サロン新規立上	友愛訪問支援事業		広報紙作成支援	
					1回訪問	2回訪問	1回発行	2回発行
勝田	梶並	○			69	63	○	○
	勝田	○			60	60	○	○
	勝田東	○			12	12		
大原	大原	○			54	53		
	讃甘	○			37	39		
	大野				20	18	○	○
	大吉				25	27	○	
	東粟倉	○	○		39	41	○	○
美作	豊国	○			70	64	○	○
	湯郷	○	○	○	86	89	○	○
	林野	○			79	79		
	豊田	○			27	26		
	楢原	○			36	34		
	巨勢	○			42	38		
	田殿				11	11		
作東	江見中部				26	26	○	○
	江見西部			○	29	30	○	○
	江見東部				13	18	○	
	豊野				28	26	○	○
	土居	○			69	70	○	○
	福山	○	○		24	20	○	○
	粟井	○			30	28		
	吉野				31	30	○	
英田	奥				13	12	○	○
	福本				25	24	○	○
	真三井				17	15	○	
	上山				21	21		
	河会				9	8		
	公文				8	8		
	公文奥				8			
	尾谷椿谷				11	10	○	○
合　計		15ヵ所	3ヵ所	2ヵ所	1,029	1,000	18ヵ所	14ヵ所

地区社協メニュー事業：⑦−2

❶ 高齢者ミニデイサービス事業

事業概要	地区社協が自主運営する65歳以上の高齢者や一人暮らし高齢者等を対象にしたミニデイサービスについて、市社協所有のマイクロバスの配車や体操指導員の派遣を行い（年間8回までを上限）、地域住民の生きがいづくりや交流活動を支援する。
財源	美作市地域住民グループ支援事業（市受託事業）
実施地区社協	15地区社協

実施状況

地区社協名	実施回数	参加人数	会場名
梶並地区社協	5回	127人	高齢者生活福祉センターやまゆり苑
勝田地区社協	3回	114人	かつた市民センター
勝田東地区社協	5回	121人	高齢者生活福祉センターやまゆり苑 勝田保健センター
大原地区社協	1回	66人	大原コミュニティ
讃甘地区	1回	56人	讃甘交流館
東粟倉地区社協	8回	204人	東粟倉ふれあいセンター・愛の村パーク
豊国地区社協	7回	409人	世代交流多目的ホール
湯郷地区社協	6回	116人	湯郷交流ｾﾝﾀｰ・世代交流多目的ﾎｰﾙ
林野地区社協	8回	86人	世代交流多目的ホール・林野公民館
豊田地区社協	6回	35人	世代交流多目的ホール
楢原地区社協	6回	47人	世代交流多目的ホール
巨勢地区社協	1回	76人	旧巨勢小学校
土居地区社協	1回	100人	土居小学校
福山地区社協	1回	42人	福山多目的集会所
粟井地区社協	1回	110人	旧粟井小学校
合計	60回	1,709人	

❷ 広報紙作成支援事業

事業概要	地域住民に身近な福祉に関する情報を提供し、地区社協活動への理解と協力を得るために、地区社協が発行する広報紙の作成費の一部を助成し、各地区社協で広報紙が作成できるよう支援する。		
助成金	地区社協が発行する広報紙１回につき 基本額10,000円＋（地区社協実態調査表の世帯数×10円）を年2回を上限に助成。 助成金の交付は３年間とし、４年目以降は年度内２回を上限に印刷代を無料とした。		
財源	令和元年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）		
助成金総額	68,340円	実施地区社協	18地区社協

❸ サロン新規立上げ推進事業

事業概要	地区内の大字又は小字単位に、5人以上で登録する「高齢者ふれあい・いきいきサロン」を新たに立ち上げた地区社協に対し、助成金を交付しサロン活動の普及推進を支援する。			
助成金	新規サロンを立ち上げ活動支援をする地区社協に対し1サロンにつき30,000円を助成			
財源	令和元年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）			
助成金総額	60,000円			
申請数	２地区社協			
新規サロンの概要等	地区社協名	サロンの名称	集落名	登録人数
	湯郷地区社協	たんぽぽ	湯の２・３・５	12人
	江見西部地区社協	川北さくら会	川北	20人

❹ 地域文化伝承事業

事業概要	地区社協が小中学校との協働や地区内の子供を交えて、地域の文化伝承を目的とする事業（稲刈り・田植え・しめ縄作り・昔遊び等）を実施する地区社協に助成金を交付する。	
助成金	小中学校との世代交流事業 助成金：30,000円	地区社協が地区内の小中学校等と協働し、地域の文化伝承（田植え、稲刈り、しめ縄縄づくり、昔遊び等）を通じて世代交流を図る活動を年3回以上実施する地区社協に助成
財源	令和元年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）	
助成金総額	90,000円	
実施地区社協	3地区社協	

地区社協メニュー事業：⑦－４

❺ 友愛訪問支援事業

事業概要	地区社協が実施する友愛訪問活動に対して、市社協より訪問時に配布する野菜ジュース等を提供し、一人暮らし高齢者の安否確認と声掛けを行い、住み慣れた地域で自立した生活を支援する。
対象者	美作市内に在住する75歳以上の一人暮らし高齢者
配布品	野菜ジュース、スポーツドリンク、抹茶葛湯
実施地区社協	31地区社協
延実施回数	61回
配布世帯総数	2,029世帯
配布総数	3,420
財源	令和元年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）

実施状況内訳

地区社協名	実施回数	配布世帯数	配布数	地区社協名	実施回数	配布世帯数	配布数
梶並地区社協	2回	132世帯	264	江見西部地区社協	2回	59世帯	88
勝田地区社協	2回	120世帯	180	江見東部地区社協	2回	31世帯	44
勝田東地区社協	2回	24世帯	36	豊野地区社協	2回	54世帯	82
大原地区社協	2回	107世帯	214	土居地区社協	2回	139世帯	208
讃甘地区社協	2回	76世帯	113	福山地区社協	2回	44世帯	68
大野地区社協	2回	38世帯	58	粟井地区社協	2回	58世帯	116
大吉地区社協	2回	52世帯	77	吉野地区社協	2回	61世帯	92
東粟倉地区社協	2回	80世帯	119	奥地区社協	2回	25世帯	38
豊国地区社協	2回	134世帯	268	福本地区社協	2回	49世帯	98
湯郷地区社協	2回	175世帯	350	真三井地区社協	2回	32世帯	64
林野地区社協	2回	158世帯	237	上山地区社協	2回	42世帯	63
豊田地区社協	2回	53世帯	80	河会地区社協	2回	17世帯	34
楢原地区社協	2回	70世帯	106	公文地区社協	2回	16世帯	32
巨勢地区社協	2回	80世帯	122	公文奥地区社協	1回	8世帯	16
田殿地区社協	2回	22世帯	33	尾谷椿谷地区社協	2回	21世帯	42
江見中部地区社協	2回	52世帯	78	合　計	61回	2,029世帯	3,420

事業概要	救急医療情報キットは、自分の氏名・年齢・緊急連絡先・かかりつけ医・持病や服薬内容等の情報を、専用の筒状の容器に入れ冷蔵庫の中に保管して置くことで、緊急時の救急隊等の迅速な救命活動を可能にするもので、各市町村等で導入が進んでいます。 美作市社協は、平成22年度より、市内に在住する概ね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、救急医療情報キットを有償で配布しており、地区社協で配布の取りまとめと緊急連絡カードの更新が行われています。高齢者の定義を見直したことにより、平成30年度から対象を75才以上の高齢者としました。
配布対象者	市内に居住する概ね75歳以上の一人暮らし高齢者世帯
購入負担金	100円　※配布対象者以外で申請があれば300円で提供
配布方法	地区社協が取りまとめ購入し配布
R1購入数	なし　／　R1配布数　／　95本配布（対象外含む）
財源	令和元年度寄附金（香典返し・見舞い返し等）

配布状況

	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田	合計
R1配布数	0	15	1	15	13	51	95
配布総数	539	441	95	2,141	1,231	464	4,911

美作市消防本部からの活用事例報告

年月	地域	性別	年齢	事故種別
令和元年8月	美作	女性	50代	急病
令和元年8月	美作	男性	80代	急病
令和元年10月	美作	男性	80代	急病
令和元年11月	英田	女性	90代	急病
令和元年11月	英田	男性	90代	急病
令和元年12月	美作	女性	90代	急病
令和2年1月	勝田	女性	80代	急病
令和2年1月	英田	女性	90代	急病
令和2年2月	勝田	女性	90代	急病



令和元年度の救急医療情報キットの活用事例
①活用件数9件（平成30年度18件）　②地域内訳：勝田2件、美作4件、英田3件
③性別内訳：男性3件、女性6件　④年齢内訳：50代1人、80代3人、90代5人

各地区社協の特徴的な取組事例

- 緊急情報カードの色を毎年変えて、更新が出来ているかを確認。
- 救急医療情報キットを全戸配布し、見守りの必要性を喚起する活動を行っている。
- 緊急連絡カードの色を夫婦で変えて、男女の区別がわかるような工夫をしている。
- 服薬の説明書を救急医療情報キットの中に入れている。
- 友愛訪問時に、緊急連絡カードを更新している。
- マグネットシールが貼れない冷蔵庫に、紙のシールを作成し活用している。

高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援 ①

事業概要	地域住民と地区社協や、民生委員、栄養委員、ボランティア等が主体となって、公民館や集会場などを活用して、定期的に会食やおしゃべり、レクリエーションなどを行い、地域の集いの場として、高齢者ふれあい・いきいきサロンの開設や運営を支援します。
食材費助成	サロンで行う調理実習に対し、参加者一人当たり300円を乗じた金額を上限に食材費を助成します。また、食材費が上限に満たない場合は実費を助成します。平成25年度より助成対象を65歳以上のサロン登録者としました。
人的派遣	地域における介護予防事業として、サロン活動に看護師や体操指導員等の人的派遣を実施しました。また市社協に登録している、特技ボランティアの派遣も実施しています。
戸外活動	高齢者の外出支援や社会参加を目的に、勝英管内で施設見学や買い物、研修等の戸外活動を企画したサロンに対し、市社協のマイクロバスの貸出しと運転員の派遣を年1回実施します。戸外活動を利用できるサロンは、年6回以上開催が条件としています。 また、平成28年度より、前年度の参加人数の実績により、平均30人以上の参加があるサロンにおいては、マイクロバスを2台まで貸出できることとしました。
レク用品の無料貸出し	市社協所有のレクリエーション用品等の無料貸出しを随時実施。

派遣人員内訳

	看護師	体操指導員	PT/OT	訪問介護員	運転員	社協職員	合計
平成27年度	1人	7人			107人	76人	191人
平成28年度		2人	1人		118人	61人	182人
平成29年度		28人	4人		124人	46人	202人
平成30年度		15人	2人		82人	34人	133人
令和元年度		15人			70人	49人	134人

サロン活動助成金

年6回以上開催するサロンに対し、65歳以上の高齢者の登録人数に応じて、1サロンにつき年額5,000円から20,000円の活動費を助成。助成金の財源は寄附金を充当。
・令和元年度申請サロン数：155（平成30年度申請サロン数：158）

サロン登録人数	10人以下	30人以下	60人以下	61人以上
助成金額（年額）	5,000円	10,000円	15,000円	20,000円

	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田	合計
申請数	14ヵ所	21ヵ所	7ヵ所	42ヵ所	50ヵ所	21ヵ所	155ヵ所
助成金額	180,000円	330,000円	95,000円	585,000円	570,000円	260,000円	2,020,000円

高齢者ふれあい・いきいきサロン活動の支援 ②

<table>
<tr><td rowspan="9">サロン代表者
会 議 の 開 催</td><td>支　　所</td><td>開催日時</td><td>場　　所</td><td>参加サロン数</td></tr>
<tr><td rowspan="3">勝田支所</td><td>令和元年５月３０日</td><td>やまゆり苑</td><td>１２サロン</td></tr>
<tr><td>令和元年１１月８日</td><td>やまゆり苑</td><td>１０サロン</td></tr>
<tr><td colspan="3">新型コロナウイルス感染防止の為中止</td></tr>
<tr><td>大原支所</td><td>令和２年2月27日</td><td>大原保健センター</td><td>１６サロン</td></tr>
<tr><td>東粟倉支所</td><td>令和２年2月27日</td><td>東粟倉ふれあいセンター</td><td>７サロン</td></tr>
<tr><td>美作支所</td><td colspan="3">新型コロナウイルス感染防止の為中止</td></tr>
<tr><td>作東支所</td><td colspan="3">新型コロナウイルス感染防止の為中止</td></tr>
<tr><td>英田支所</td><td colspan="3">新型コロナウイルス感染防止の為中止</td></tr>
<tr><td colspan="4"> </td></tr>
</table>

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ①

地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
勝　田（14）	1	こぶしの会	木地山公会堂	37人	8回
	2	サロン立木	立木公会堂	14人	6回
	3	みやまクラブ	塩木集会所	15人	9回
	4	中右手ふれあい会	中右手集会所	15人	6回
	5	真殿地区サロン	真殿公会堂	32人	12回
	6	大杣会	大杣デイサービスセンター	23人	6回
	7	梶並サロン	梶並公会堂	12人	9回
	8	久賀すこやか教室	久賀カントリーハウス	32人	9回
	9	余野さわやか会	余野コミュニティー	11人	9回
	10	真加部なかよし会	真加部老人いこいの家	20人	9回
	11	南町いきいきサロン	南町集会所	61人	9回
	12	ニコニコ会	西町集会所	40人	50回
	13	矢田ふれあいサロン	矢田公会堂	63人	7回
	14	長谷内さくら会	長谷内コミュニティー	27人	9回
地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
大　原（21）	1	古町上サロン	八幡集会所	111人	6回
	2	古町中サロン	古町集会所	70人	6回
	3	古町下サロン	大原コミュニティ	105人	5回
	4	江ノ原サロン	江ノ原公会堂	69人	7回
	5	中町西サロン	中町西公会堂	50人	6回
	6	下町サロン	下町公会堂	61人	9回
	7	大塔サロン	大塔公会堂	17人	12回
	8	わきあいあい	日面公会堂	35人	6回
	9	宮本下いきいきサロン	宮本下土居公会堂	31人	10回
	10	中西町いきいきサロン	中西町公会堂	34人	6回
	11	今岡いきいきふれあいサロン	今岡公会堂	72人	9回
	12	川上上サロン	大野コミュニティ	54人	12回
	13	川上中いきいきサロン	川上中公民館	47人	5回
	14	美土呂ふれあいサロン	大野コミュニティ	43人	5回
	15	滝ふれあい・いきいきサロン	滝第２集会所	61人	10回
	16	笹岡ふれあいサロン	笹岡公会堂	13人	9回
	17	赤田いきいきサロン	赤田公会堂	40人	7回
	18	田井サロン	田井コミュニティハウス	36人	6回

地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
大　原（21）	19	川戸サロン	川戸公民館	28人	6回
	20	沢田サロン	沢田公民館	22人	12回
	21	壬生サロン	壬生公民館	56人	5回
地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
東粟倉（7）	1	入谷ふれあいの会	入谷コミュニティー	52人	8回
	2	後山元気会	後山公民館	33人	9回
	3	中谷いきいき会	中谷集会所	65人	12回
	4	東青野あかがね会	東青野コミュニティー	22人	9回
	5	野原天一会	野原コニュニティー	10人	5回
	6	東吉田大空会	東吉田集落センター	60人	11回
	7	川東ゴジロ会	川東コミュニティー	39人	10回
地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
美　作（42）	1	北山コスモス会	豊国公会堂	100人	6回
	2	下香山健康教室	下香山公民館	36人	7回
	3	上相健康教室	上相公会堂	63人	7回
	4	中尾ひまわり会	中尾コミュニティー	125人	7回
	5	豊国原健康広場	豊国原コミュニティー	40人	12回
	6	明見サロン	明見コミュニティハウス	71人	8回
	7	林尾楽友会	湯郷上コミュニティー	20人	18回
	8	位田サロンなごみの会	位田研修センター	34人	9回
	9	５日サロン（下位田）	位田下集会所	18人	9回
	10	金原・稲穂・則平健康広場	稲穂コミュニティー	62人	6回
	11	中筋いきいきサロン	中筋集会所	54人	8回
	12	長内やすらぎサロン	長内コミュニティーハウス	42人	10回
	13	福田サロン	中山コミュニティーハウス	52人	11回
	14	畑沖友遊サロン	畑沖集会所	60人	10回
	15	岩見田サロン	岩見田公会堂	39人	5回
	16	湯郷みずほサロン	町内山下宅	24人	5回
	17	ひだまり（湯郷）	湯郷地域交流センター	13人	8回
	18	はなみずき(湯郷)	湯郷上コミュニティハウス	34人	8回
	19	たんぽぽ	ゆのごう館	5人	6回
	20	湯の４サロン	湯郷交流センター	12人	7回

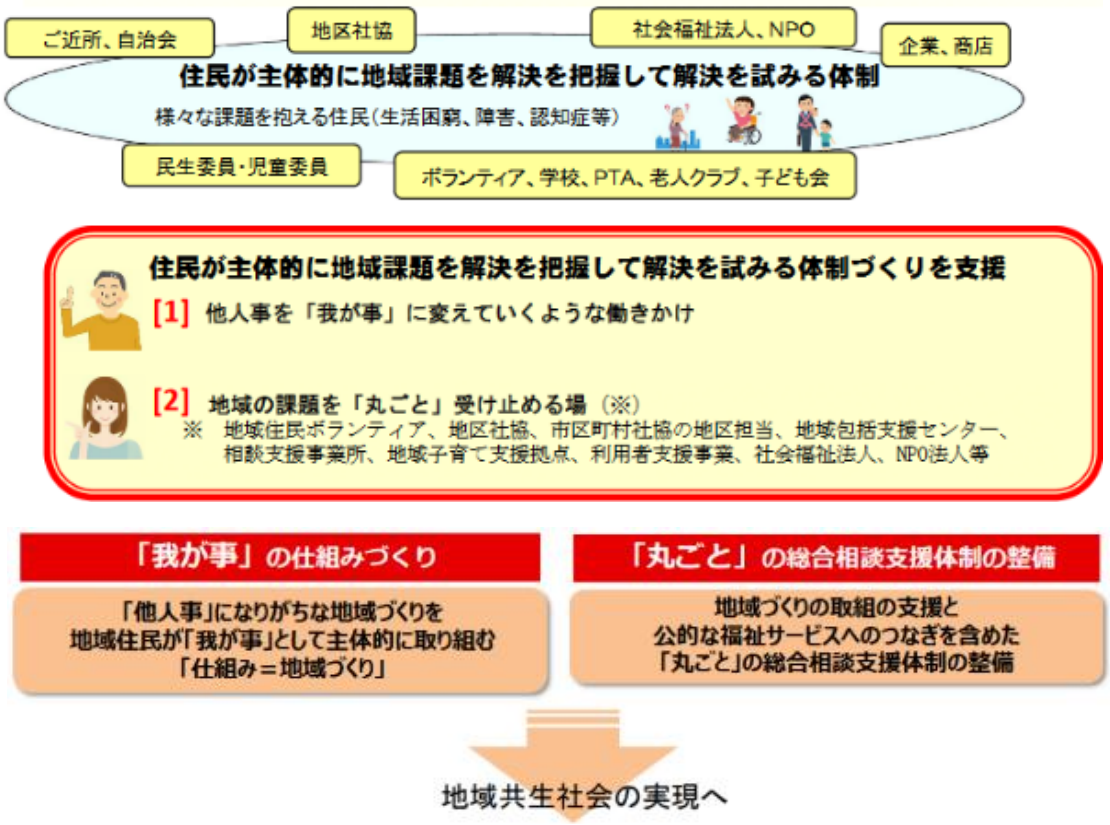
高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ③

地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
美　作 （42）	21	えびす会	林野公民館	13人	10回
	22	三分区２０日会（栄町）	栄町公民館	14人	11回
	23	青空会（栄町）	アルコ	7人	10回
	24	にこにこ会	三倉田下コミュニティ	24人	8回
	25	ひまわりサロン	長大寺集会所	16人	10回
	26	朽木サロン	朽木コミュニティー	91人	8回
	27	友野健康広場	友野コミュニティー	18人	7回
	28	山口サロン	山口公民館	18人	22回
	29	山外野遊友サロン	山外野コミュニティー	28人	12回
	30	大原サロン	大原公民館	40人	9回
	31	猪臥どっこいクラブ	猪臥公会堂	46人	9回
	32	なかよしサロン平田	平田コミュニティー	16人	12回
	33	北原	北原コミュニティ	30人	21回
	34	楢原中	楢原中多目的集会所	84人	23回
	35	楢原下	楢原下多目的集会所	90人	6回
	36	平福いきいきサロン	平福公民館	118人	12回
	37	樫村㐂きずな	巨勢改善センター	33人	4回
	38	中村健康サロン	中村公会堂	15人	9回
	39	榎サロン	榎公会堂	35人	9回
	40	サロン安蘇	安蘇公会堂	62人	28回
	41	大山ふれあいサロン（新規）	大山公民館	18人	9回
	42	田殿サロン	田殿公民館	136人	6回
地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
作　東 （50）	1	能登香小房サロン	小房コミュニティー	34人	6回
	2	小野ひだまりサロン	小野集会所	69人	54回
	3	横田ふれあいサロン	横田集会所	23人	6回
	4	粟井中サロン	粟井中教育集会所	22人	6回
	5	鷺巣サロン「ほほえみ」	本谷・土師コミュニティ	31人	6回
	6	南海お元気サロン	南海公会堂	13人	11回
	7	西河内ふれあいサロン	西河内集会所	23人	17回
	8	藤生サロン	藤生公会堂	27人	7回
	9	今在家・駅前ふれあいサロン	今在家・駅前集会所	66人	8回
	10	川北さくら会	川北コミュニティハウス	20人	18回

地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
作　東 （50）	11	原久保木サロン	原久保木集会所	16人	12回
	12	あすなろ会	川崎集会所	34人	25回
	13	原元気クラブ	原公民館	16人	6回
	14	江見吉田体操クラブ	吉田公民館	16人	6回
	15	さつきの会	作東公民館	16人	12回
	16	作東お元気会	介護予防通所センター	13人	11回
	17	寿サロン（横林）	横林集会所	20人	6回
	18	別所”若葉会”	別所集会所	20人	11回
	19	角南ふれあいサロン	角南コミュニティーハウス	43人	27回
	20	札の内サロン	札の内集会所	14人	8回
	21	土居地区サロンほほえみ	土居老人共同作業所	12人	11回
	22	新町おしゃべり会	新町会館	13人	10回
	23	渡田サロン	渡田公民館	14人	11回
	24	蓮花寺健康サロン	蓮花寺公民館	29人	6回
	25	竹田ふれあいサロン	竹田公民館	19人	15回
	26	片伏日向いきいきサロン	片伏日向集会所	20人	30回
	27	土居いきいきクラブ	土居老人共同作業場	14人	18回
	28	黒藪笑年・笑女サロン	黒藪コミュニティーハウス	20人	12回
	29	毘沙門クラブ	日指公民館	23人	23回
	30	田原サロン	田原公民館	28人	21回
	31	山城ふれあいサロン	山城公会堂	21人	9回
	32	上福原地区サロン	上福原公会堂	12人	9回
	33	岩辺いきいきサロン	岩辺公民館	34人	17回
	34	豊野サロン	豊野公民館	32人	11回
	35	鯰はつらつサロン	鯰公会堂	34人	11回
	36	松脇サロン	松脇隣保館	20人	9回
	37	瀬戸ふれあいサロン	瀬戸コミュニティハウス	25人	6回
	38	国貞サロン	国貞集会所	21人	97回
	39	万善親和会サロン	万善集会所	31人	12回
	40	柿ヶ原サロン	柿ヶ原コミュニティー	32人	9回
	41	福山田渕ひまわり会	福山福祉ホーム	19人	19回
	42	鈴家サロン	鈴家集会所	17人	21回
	43	小ノ谷ふれあいサロン	小ノ谷集会所	22人	12回

高齢者ふれあい・いきいきサロン登録名簿 ⑤

地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
作　東 （50）	44	西五名サロン	吉野地区センター	21人	6回
	45	中西サロン	中西コミュニティー	14人	6回
	46	鈩・宮土居サロン	鈩コミュニティーハウス	22人	6回
	47	小滝ふれあいサロン	小滝公会堂	16人	6回
	48	大聖寺サロン	大聖寺公会堂	16人	7回
	49	豆田サロン	豆田老人作業所	24人	6回
	50	東五名ふれあいサロン	殿河内コミュニティ	42人	5回
地　域		サロン名	開催場所	登録者数	実施回数
英　田 （21）	1	奥地区ふれあいいきいきサロン	奥コミュニティー	66人	7回
	2	小原高齢者ふれあいクラブ	小原公会堂	34人	12回
	3	山崎ふれあい会	山崎コミュニティー	29人	9回
	4	アカシア会	赤坂コミュニティー	21人	7回
	5	北香合ふれあい会	北香合コミュニティー	25人	10回
	6	南香合むつみの里ひまわりサロン	南香合集会所	28人	9回
	7	井口ふれあいサロン	井口コミュニティハウス	26人	7回
	8	神田あすなろ会	神田コミュニティー	38人	41回
	9	中磯サロン	中磯公会堂	21人	7回
	10	芦谷サロン会	芦谷コミュニティー	19人	6回
	11	わたぜガンバル会	渡瀬コミュニティー	16人	6回
	12	小長ふれあいサロン	小長コミュニティー	31人	12回
	13	上山あじさいの会	上山公会堂	63人	10回
	14	大西ふれあい会	大西ディサービスホーム	17人	6回
	15	英田青野元気会	英田青野コミュニティー	24人	12回
	16	鳥渕ふれあい会	鳥渕コミュニティハウス	16人	8回
	17	城田ひまわり会	城田公会堂	19人	5回
	18	名杭ふれあい会	名杭コミュニティー	42人	7回
	19	中河内わいわいわくわくサロン	中河内公会堂	29人	12回
	20	尾谷ふれあいサロン	尾谷生活改善センター	90人	6回
	21	椿谷地区ふれあいサロン	椿谷コミュニティハウス	22人	5回
平成30年度登録サロン数（年6回以上開催）：158サロン 令和元年度登録サロン数（年6回以上開催）：155サロン（前年比　3減）				5,473人	1,711回

事業概要	本事業は、厚生労働省のモデル事業である「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を「我が事・丸ごとの地域力強化推進事業」の名称で、平成３０年度から美作市より事業受託し実施しました。令和元年度現在で、美作市を含め全国で208自治体が本事業に取組んでいます。 この事業は、住民の身近な圏域で、地域で起きている様々な福祉問題や生活課題を他人事ではなく「我が事」として捉え、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりと個人や世帯が抱える複合化・複雑化した課題を包括的に「丸ごと」受け止める相談支援体制を構築し、誰もがそのニーズに応じた支援を受けられる「地域づくり」を進めることを目的としています。 具体的には、「地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」の２つの事業の一体的な推進を図ることとされています。美作市においては、平成30年度より「地域力強化推進事業」を、令和元年度より「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を実施しました。
事業内容	地域力強化推進事業のイメージ図  本事業は、住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することを支援するため、次の二つの事業を実施します。 ①「我が事」の仕組みづくり：住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくり 他人事を「我が事」に変えていくような働きかけ（意識醸成や地域づくりに必要な働きかけや支援）、活動拠点づくり（誰もが気軽に立ち寄り交流を図ることができる場、住民の自主活動、住民と専門職が話し合うことができる場等）、住民等に対する学習、地域福祉活動へのきっかけづくりや参加促進等に関する取組の実施 ②「丸ごと」の総合相談支援体制の整備：地域生活課題を包括的に受止める体制の構築 地域住民の相談を「丸ごと」受け止める場、機能の構築、地域生活課題の把握等、地域生活課題に対する解決策の検討等

「我が事」の仕組みづくり

1．「我が事」の仕組みづくり

地区社協単位に住民に身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進するために、以下の取組みを実施しました。

①地区社協「福祉会議」の開催

福祉会議は、地区社協が、地域の生活・福祉課題を把握し、解決に向けた取組みを協議する場として、平成25年度より市内30か所で行われています。美作市社協のCSWは、すべての福祉会議に出席し、その中で出てくる地域の生活・福祉課題について、地域が主体となって課題解決に取組めるよう助言やサポートを行っています。また、引きこもりや生活困窮、障害者の地域生活、複合的な課題を抱える世帯等を他人事ではなく自分たちの地域の事（我が事）として捉えるよう、福祉会議にグループワークや福祉教育を取り入れ、住民の新たな気づきや具体的な活動につながるような働きかけを行いました。本年度の福祉会議は、30地区社協で延べ81回開催し、1,282人の住民が参加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの地区社協で会議を中止することになり、前年度に比べ開催回数、参加人数が減少しました。
（福祉会議の内容は、本資料20～27ページに掲載）

	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田	合計
福祉会議開催回数	11回	10回	3回	16回	22回	19回	81回
参加者数	160人	149人	47人	230人	406人	290人	1,282人

平成30年度実績：30地区社協で延べ100回開催、延べ1,625人参加

②地域住民等に対する研修の実施

生活困窮や障害者の地域生活等様々な地域課題への住民の新たな気づきや活動を促すために、市内共通のテーマを設けて地区社協の福祉会議で研修会を開催しました。

1）住民の障害者理解に向けた研修会

昨年に引き続き、障害や支援を必要とする人達を正しく理解し、支え合っていくために、障害者地域活動支援センターなごみと協働で地区社協に向けた研修会を開催しました（2会場、延べ34人参加）。研修会の開催により、障害者地域活動支援センターの役割や機能、障害者に対して地域でできる支援について住民の意識を高める働きかけができました。

2）制度の狭間の福祉課題と美作お助け隊の活動に関する研修会

市内の社会福祉法人等が連携・協働し、制度の狭間の福祉課題に対して、地域の社会資源として役割を果たすために設立した「美作お助け隊」の活動に関する研修会を開催しました（17会場、延べ260人参加）。研修会を通じ、それまで高齢者に目を向けがちであった住民に対して、福祉課題が複雑多様化している現状とその課題に対して住民や地域で出来ることや「美作お助け隊」と共同して出来ることを示すことにより、住民の新たな気づきや活動の機運を促すことが出来ました。

③「福祉のまちづくりフォーラムin美作」の開催

障害を抱える人の地域生活を理解し、住み慣れた地域の一員として誰もが役割をもって生活が出来るよう、地域住民と関係団体、組織による協働の地域づくりを推進するために、「福祉のまちづくりフォーラムin美作」を開催しました。

このフォーラムを通じて、地域で生活する障害者の支援の必要性や今まであまり知られていなかった障害者福祉サービス事業所の役割について住民理解を深めることができました。（本資料66ページに掲載）

「丸ごと」の総合相談支援体制の整備

2. 「丸ごと」の総合相談支援体制の整備

住民が把握した課題について、包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行うとともに、必要に応じて支援機関につなぐことのできる総合相談支援体制を構築するために、以下の取組みを実施しました。

①地域住民の相談を「丸ごと」受け止める「福祉出前ステーション」を開設

サービスや制度を知りたい、どこに相談して良いかわからない等、住民が抱える様々な福祉に関する困りごとの相談に対応する窓口として、平成30年11月から美作市社協6支所に「福祉出前ステーション」を開設しました。

「福祉出前ステーション」には、相談支援の専門職であるCSWを配置しており、市民が抱える様々な相談に対応しました。特に、「制度の狭間」にある対象者については、生活困窮が共通した課題となっており、生活困窮者自立支援事業や日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付などの公的な支援（フォーマルサービス）とフードバンクやおむすび事業、美作お助け隊などのインフォーマルサービスを有機的につなぎ、市社協独自の包括的な支援活動を展開しました。

また、地区社協や住民による見守り活動と情報提供を活かし、CSWによるアウトリーチを積極的に進め、個人に寄り沿った支援を行いながら、課題解決に取り組みました。

	勝　田	大　原	東粟倉	美　作	作　東	英　田	合　　計
支所別相談件数	89件（75）	16件（5）	3件（15）	45件（41）	65件（62）	68件（21）	286件（219）
相談経路	本人：198件（162）、住民：12件（8） その他関係機関：76件（49）						
相談内容内訳	生活困窮に関すること						152件（94）
	障害に関すること						76件（78）
	介護に関すること						35件（27）
	子育てに関すること						7件（1）
	その他						36件（34）
結　　果	解決：23件　　関係機関につなぐ：16件　　継続支援：247件						

※（　）内の数字は前年度実績数





地域住民の抱える様々な困り事を丸ごと受け止め、課題解決に向けた支援を行う総合相談窓口として、平成３０年度から美作市社協の各支所に「福祉出前ステーション」を開設しました。

福祉出前ステーションには、１０人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、

❶ “相談を断らない”
❷ “制度の狭間を作らない”
❸ “支援体制を住民と作る”

この３つの柱を基本方針に据え、総合相談に対応しています。

「丸ごと」の総合相談支援体制の整備



②福祉出前ステーションの広報活動

住民の身近な相談窓口である「福祉出前ステーション」を周知するために、市社協の広報誌や地区社協の広報誌にも記事を掲載してもらい、広報活動に取り組みました。また、地区社協の福祉会議やサロン等で、「福祉出前ステーション」の広報チラシを配布し、広報活動を実施したことにより、相談件数が増加しました。

1）各支所で行った広報活動内訳

	勝　田	大　原	東粟倉	美　作	作　東	英　田	合　　計
広報活動の回数	16回	18回	7回	11回	18回	8回	78回
参加者数	265人	354人	90人	194人	334人	122人	1,359人

2）広報活動を行った主な団体

地区社協・老人クラブ・身障協会・一人暮らしの会・高齢者サロン・
民生児童委員協議会・地域ケア会議・ボランティアグループ・コミュニティカフェ

③職員の資質向上に向けた研修会の実施と専門職の資格取得状況



「福祉出前ステーション」の相談支援に従事する職員には、生活上の課題を持つ個人や家族のニーズに対する個別支援を行いながら、その地域における住民のネットワークづくりや新たな社会資源の開発等の地域支援を展開するコミュニティソーシャルワークの実践が求められています。
美作市社協は、コミュニティソーシャルワークの実践と職員の資質向上を目的に、美作大学の堀川涼子教授を講師に招き、毎月第4金曜日に全職員を対象にしたCSW研修会を開催しています。
また、相談支援に求められる専門的知識と相談技術の向上を図るために、社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員等の資格取得補助制度を創設し、職員の専門職化を図っています。

1）美作大学堀川教授によるCSW研修会の開催状況：9回開催、延べ147人参加

2）令和元年3月末時点の専門職資格取得状況

社会福祉士：13名　　精神保健福祉士：2名　　介護支援専門員：11名

④権利擁護センター支援検討委員会によるバックアップ体制

「福祉出前ステーション」には様々な相談が住民から寄せられますが、相談窓口のCSWだけでは解決が難しく、専門的・包括的な支援が必要な場合には、美作市権利擁護センター支援検討委員会で事例検討を行い、専門職からの適切なアドバイスを受け、課題解決を図る体制を構築しています。
美作市権利擁護センター支援検討委員会は、弁護士、司法書士、大学教授、民生委員、児童相談所、保健所、行政関係者、本会職員等が参加し、困難事例や複合的な課題を抱える世帯への支援方針について、毎月協議が行われています。
令和元年度は、「福祉出前ステーション」のCSWが延べ13人出席し、専門職から支援方針に関する助言を仰ぎました。

我が事・丸ごとの多機関の協働による包括的支援体制構築事業①

事業概要

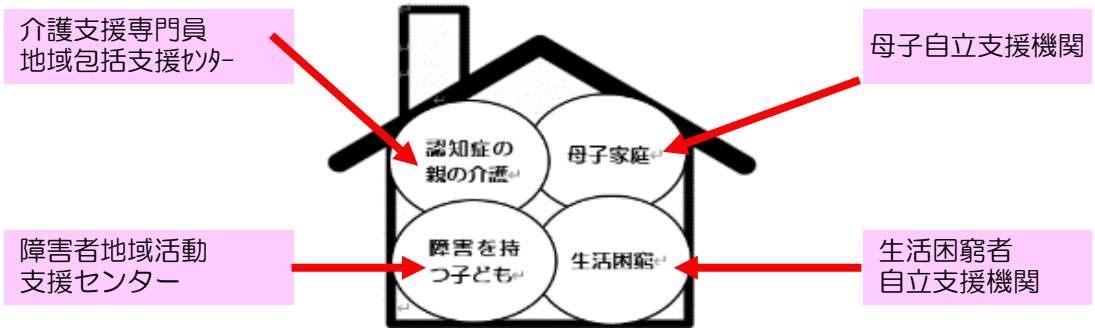
本事業は、厚生労働省のモデル事業である「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」を「我が事・丸ごとの多機関の協働による包括的支援体制構築事業」の名称で、令和元年度から美作市より受託し実施しました。「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」は、前年度より実施している「地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」で構成しており、二つの事業を一体的に実施することにより地域づくりの強化を図ることとしています。

「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」は、個人や世帯が抱える課題を丸ごと受け止める相談窓口として開設した「福祉出前ステーション」を拠点に、一つの世帯で介護や生活困窮、引きこもり、ゴミ屋敷等の複合化・複雑化した課題を抱える相談ケースに的確に対応するために、それぞれの課題に関わる相談支援機関を総合的にコーディネートする相談支援包括化推進員を配置し、チームアプローチによる包括的な支援体制を構築する事業です。

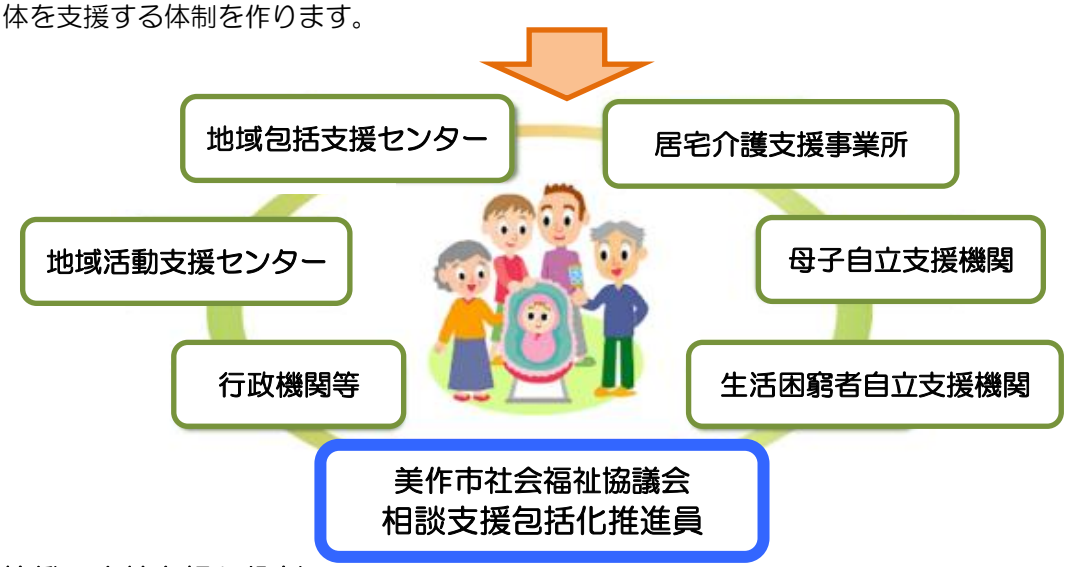
相談支援包括化推進員は、福祉出前ステーションに寄せられた困難事例等について、CSWと連携しながら世帯全体の課題を的確に把握し、多機関・多分野の専門職（支援者）が支援調整について協議する相談支援包括化推進会議の開催や支援に不足している新たな社会資源の創出を図るコーディネーターの役割を担っています。

事業内容

多機関の協働による包括的支援体制構築事業のイメージ図



介護や生活困窮、引きこもり等の複合的な課題を抱えている世帯には、分野別に様々な専門機関が支援者として関わっていますが、世帯全体の支援には繋がっていないことが多いため、スムーズに各専門機関が連携できるよう、相談支援包括化推進員を配置し世帯全体を支援する体制を作ります。



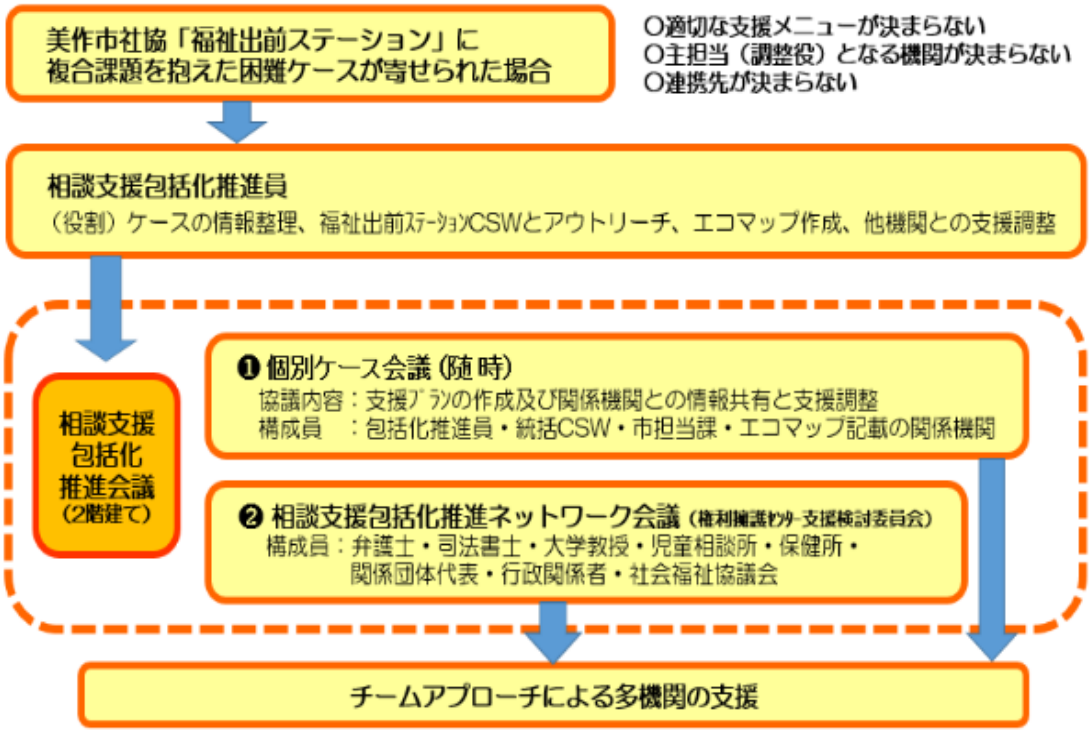
協働の中核を担う役割

- ○ 包括的なアセスメントの実施
- ○ 相談内容の共有
- ○ 関係機関のネットワーク化
- ○ それぞれの役割分担の整理
- ○ 新たな社会資源の創出の働きかけ
- ○ 支援内容のモニタリング

我が事・丸ごとの多機関の協働による包括的支援体制構築事業②

事業内容

①相談支援包括化推進員の配置



社会情勢の変化に伴い、福祉ニーズが多様化し、一つの世帯に複合的な課題や問題を抱えるケースが増えています。本事業では、このようなケースに的確に対応するために各制度や分野の相談支援機関を総合的に調整する「相談支援包括化推進員」を1名配置し、包括的な支援体制づくりに取り組みました。

「相談支援包括化推進員」は、課題別に適切な支援機関を招集し、チームアプローチによる解決を図るための連携や調整の役割を果たす専門職になります。

例えば、「認知症の高齢者と中高年の引きこもりの息子」や「介護と育児を同時に抱える母子家庭の母親」といった複雑な課題を抱えた世帯の問題や「制度の狭間」といわれるような問題は、一人の専門職や1つの支援機関、そして1つの分野では対応することができません。そのため、分野を横断した包括的な相談支援体制を構築する必要がありますが、現行の福祉制度は障害、高齢者、児童と分野ごとに縦割りになっており、このような課題に応えることは難しいのが現状です。

相談支援包括化推進員は、このような現行の縦割りの支援を見直し、それぞれに関わる支援機関が一堂に会する場（相談支援包括化推進会議）を作り、支援機関が一人ひとりではなく、世帯に対してどのような目標に従って、どのように支援するのか合意していく体制を整える役割を担っています。

複合的な課題を抱える困難ケースにおける相談支援包括化推進員の役割と支援の流れは、次に掲げる方法により実施しました。（上記フロー図参照）

①福祉出前ステーションのCSWと相談者本人との面接や相談支援機関等からの聞き取りにより、複合課題を評価、分析（アセスメント）
②複合課題に関する分析に基づき、その世帯に関わる支援機関のエコマップを作成
③支援機関との支援調整を個別に行い、支援の基本的な方向性に関するプランを作成
④作成したプランに基づき、支援機関を集めて相談支援包括化推進会議を開催し、支援に関する優先順位や役割分担等の調整を行う
⑤各支援機関による支援の実施状況の把握と評価、プランの見直しを適宜行う
⑥支援の結果、課題解決に繋がらない場合は、権利擁護センター支援検討委員会において、専門職からの助言・指導を仰ぎ、再度支援調整を行う

②相談支援包括化推進会議の開催



事業実施１年目は、相談支援包括化推進会議を6世帯を対象に延べ20回行い、支援機関20団体が参加しました。相談支援包括化推進会議では、支援機関が抱える課題の整理や優先順位、役割分担を明確にすることができスムーズな支援が可能になりました。
また、会議で取扱う案件には、制度の狭間をカバーする支援が必要なケースが多く、美作お助け隊の地域公益活動や地域の社会資源を活用することにより、本事業を通じて様々な関係機関との連携を図りました。

●相談支援包括化推進会議に参加した支援機関（20団体）
美作市保健福祉部、作東中学校、江見小学校、江見保育園、民生児童委員、美作市教育委員会、美作塾、津山児童相談所、相談支援事業所みらい、障害者地域活動支援センターなごみ、作東居宅介護支援事業所、障害者相談支援センターほのか、岡山自立支援センターももっ子くめなん、希望ヶ丘ホスピタル、地域生活支援センターみまさか、多機能型介護ホームえーる、障がい福祉サービス事業所きずな、田尻病院、美作市地域包括支援センター、美作市社協

③新たな社会資源の創出

「制度の狭間」の問題を支援していくためには、個別支援だけではなく、足りないサービス（社会資源）の開発や新たな支援の枠組みの構築も必要になります。
美作市社協は、現行の公的な制度ではカバーできない支援に対応するために、市内の社会福祉法人等で組織化した「美作お助け隊」の協力を得て、相談支援包括化推進会議で必要とされる社会資源の検討を行い、地域住民等の協働により社会資源開発にも取り組みました。

①フードバンク事業
マルナカ美作店と提携し、店内の不要になった食料品を引き取り、生活困窮世帯への食糧支援を実施

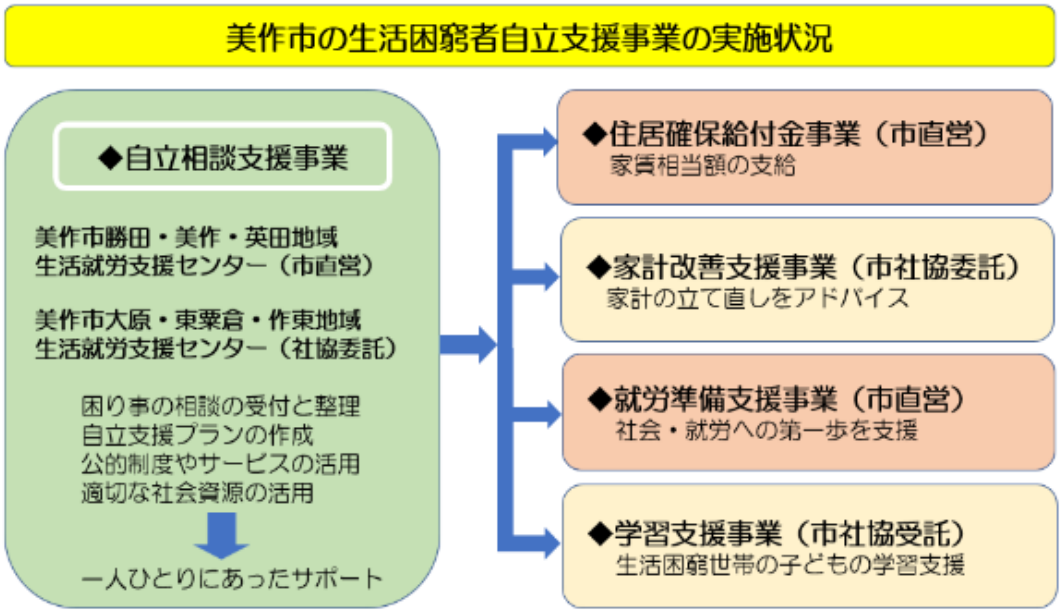
②フードドライブ事業
市民から余剰食料品等を、美作お助け隊参加法人（12法人14事業所）が寄附の受入れ場所となり、フードドライブ事業を実施し、生活困窮世帯への食糧支援を実施
実施時期：令和2年1月14日～24日　　実施結果：761品目、総重量313.4kg

④自主財源確保のための取組み



福祉出前ステーションに寄せられる相談を通じて、生活困窮が高齢者や障害者、母子世帯等それぞれの分野で共通した課題として浮かび上がってきました。生活困窮世帯の子どもの多くは、就学費が払えない、修学旅行に行くことが出来ない等の原因で不登校や引きこもり、一般就労できないといった状況がみられ、生活困窮が子どもたちの教育格差や経済格差を生んでいる実態がわかってきました。
美作市社協は、令和2年度より市民や市内の企業から寄附を募り資金調達（ファンドレイジング）する「子ども応援夢基金」を立ち上げ、貧困が世代を超えて連鎖することがないよう、生活困窮世帯の子どもの就学資金や普通自動車運転免許取得等に関わる費用を基金により貸付し、美作市全体で子どもの貧困問題を捉え、支援できる仕組みを構築します。

生活困窮者自立支援事業①

<table>
<tr><td rowspan="2">事業概要</td><td colspan="2">平成27年4月1日から施行された生活困窮者自立支援事業は、全国の福祉事務所を置く自治体が実施主体となり、失業や就職活動の行き詰まり等の事情で経済的な困窮状態に陥っている方（生活困窮者）を対象に、自立に関する相談支援や就労に関する支援を実施し、生活困窮者の「自立の促進」を図っていく制度です。支援内容は、現金給付ではなく、自立に向けた人的な支援を有期に提供することを基本としています。
美作市においても北山の福祉事務所を拠点に、生活困窮者自立支援法に基づく各事業が行われています。美作市社協は令和元年度より、自立相談支援事業の一部と家計改善支援事業、学習支援事業を美作市より受託するとともに、本所に「美作市大原・東粟倉・作東地域就労支援センター」を設置し、住まい・健康・仕事・家族など多様な課題を抱える生活困窮者に、様々な社会資源等を活用しながら、一人ひとりにあった支援を行いました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td rowspan="6">事業内容</td><td>名称</td><td>美作市大原・東粟倉・作東地域就労生活支援センター</td></tr>
<tr><td>設置場所</td><td>美作市社会福祉協議会本所（美作市江見280）</td></tr>
<tr><td>開所日</td><td>毎週月～金曜日（土曜日及び日曜日、祝祭日、年末年始を除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業内容</td><td>①生活困窮者自立相談支援事業（大原・東粟倉・作東地域を対象）
生活の状況等を本人から聞き取り課題を整理し、自立相談支援員と本人の協働により目的に沿った自立支援プランを作成します。自立支援プランに沿って、関係機関等と連携を取りながら、自立に向けた支援を行います。</td></tr>
<tr><td>②家計改善支援事業（市内全域を対象）
家計収支のバランスが取れていないなど家計に課題を抱えている方に、家計表やキャッシュフロー表等を用いて、自らの力で家計管理ができるようになるよう相談支援を行います。</td></tr>
<tr><td>③学習支援事業（市内全域を対象）
生活困窮世帯の子どもを対象に、勉強の基礎づくりと居場所・仲間づくりを目的に、学習支援を行います。</td></tr>
<tr><td>職員の配置</td><td>・自立相談支援員（社会福祉士・社会福祉主事）：２名
・家計改善支援員（社会福祉士）：１名
・学習相談支援員（社会福祉主事）：１名</td></tr>
</table>

自立相談支援の事業概要

自立相談支援は、生活困窮者及び生活困窮者の家族や関係者からの相談に応じ、相談者からの聞き取り（アセスメント）を実施して、個人の状態にあった支援プランを作成し、必要なサービスにつなげます。美作市の自立相談支援は、勝田・美作・英田地域を美作市直営で、大原・東粟倉・作東地域を美作市社協が受託運営しており、それぞれ自立相談支援員が配置されています。美作市社協の本所には、「美作市大原・東粟倉・作東就労支援センター」を設置し、関係機関への同行訪問や美作市の就労支援員と就労支援や認定就労訓練事業の利用の斡旋も行いました。令和元年度は、支援プラン作成件数10件、延べ相談件数は235件となりました。

自立相談支援の実績

1）相談実績

	新規相談受付者数	延べ相談受付件数	利用申込者数	プラン作成件数（初回・再含む）
4月	1人	3件		
5月	2人	5件	2人	1件
6月	1人	9件	1人	1件
7月		9件		
8月	1人	26件	1人	1件
9月		9件		
10月	2人	39件	2人	2件
11月		33件		
12月	2人	19件	2人	2件
1月	1人	24件	1人	1件
2月	1人	23件	1人	1件
3月	1人	36件	1人	1件
合　計	12人	235件	11人	10件

2）プラン作成者で他の事業等を利用した人数

法に基づく事業等	家計改善支援事業	7件
	就労準備支援事業	3件
その他の事業	美作市社協緊急援護資金	3件

3）相談終結者数

終結	1件
継続	9件
合　計	10件

4）相談者が抱える主な困り事（重複あり）

収入・生活費のこと	9件	債務について	2件
税金や公共料金の支払いのこと	5件	家族との関係について	1件
仕事探しや就職について	5件	仕事上の不安やトラブル	1件
病気や健康のこと	4件	DV・虐待について	1件
家賃やローンの支払いのこと	4件	食べるものがない	1件
引きこもりや不登校について	2件	合　計	35件

生活困窮者自立支援事業③

自立相談支援の実績

5）新規相談者の実態

男　性	6名
女　性	6名
合　計	12名

6）新規相談者の年齢構成

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
1人	1人	2人	2人	1人	2人	3人	12人

7）相談支援の内訳（全235回の支援内訳）　（単位：件）

	相談者実人数	面談	電話相談連絡	訪問・同行支援	多機関との会議	所内会議	おむすび事業・ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸ	合　計
4月	1人	1	1				1	3
5月	2人	2	1				2	5
6月	1人	2	3	1	1		2	9
7月		3	2	2			2	9
8月	1人	9	7	2		1	7	26
9月		1	2	2			4	9
10月	2人	15	8	2	7		7	39
11月		9	5	2	7		10	33
12月	2人	6	4	1	3		5	19
1月	1人	3	9		3		9	24
2月	1人	6	4	2	4		7	23
3月	1人	11	9	3	6		7	36
合　計	12人	68	55	17	31	1	63	235

広報啓発活動

本年度からの生活困窮者自立支援事業受託と事業推進に向け、美作市社協各支所において、様々な団体に向けた事業説明会を行いました（延べ68団体、1,282名）。
また、本会広報誌に3回の記事掲載をしました。

●団体等に向けた広報活動			●社協広報誌による広報
地区社協福祉会議等	32回	574人	5月号：生活困窮者自立支援事業について
高齢者ｻﾛﾝ・一人暮らし等	16回	428人	2月号：家計相談会の開催について
地域ケア会議	4回	50人	3月号：家計相談会の開催について
支部民児協	5回	80人	
福祉団体（老人・身障・ﾎﾞﾗ）	9回	129人	
サロン代表者会議	2回	21人	

家計改善支援の事業概要

家計改善支援事業は、自立相談支援事業と一体的に市内全域を実施区域として取り組みました。家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計に関するアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生の計画・家計に関する個別のプランを作成し、利用者の家計管理意欲を引き出す支援を行いました。

その他、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援を行い、令和元年度は、利用実人数11人、延べ相談回数221回、日常生活自立支援事業に繋ぎ終結した件数は1件で自立相談支援事業と一体的に実施することで効果的な事業推進を行うことができました。

家計改善支援の実績

1）支援実績

	利用実人数	面談	電話相談連絡	訪問・同行支援	多機関との会議	所内会議	その他	合　計
4月								0
5月	1人	1						1
6月	1人	2	3	1	1			7
7月		3	2	2				7
8月	1人	9	7	2		1		19
9月		1	2	2				5
10月	3人	19	11	3	9			42
11月	1人	15	7	2	13			37
12月		10	4	1	6			21
1月	1人	11	9		7			27
2月	2人	9	4	3	3			19
3月	1人	17	10	3	6			36
合　計	11人	97	59	19	45	1	0	221

2）個別支援内容

家計票の作成	ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ作成	納付相談	債務整理	就労支援	就学支援	資金貸付	日援事業	合　計
11件	11件	3件	1件	2件	1件	7件	1件	37件

学習支援事業の概要と実績

経済的な問題など、さまざまな家庭の事情により、十分な学習環境が不足していたり、学校や家庭以外での居場所を必要としている子どもを対象にした、学習教室と居場所を提供する事業です。

令和元年度は、美作市社協作東支所で7名の小中高校生を受け入れ、延べ127回の利用がありました。子どもたちには、学習の場を提供するとともに、同一敷地内の作東老人保健施設でのボランティア活動にも取り組み、自己肯定感を高める機会を提供しました。
（本資料60ページ参照）

支援調整会議

生活困窮者自立支援事業は、生活困窮者の相談に対応し、本人の状態にあった支援プランの作成、評価を行い、関係事業との連携を含めた包括的な支援を行うものとされています。 美作市社協は、そのプランおよび評価について、支援内容の調整・確認を行う支援調整会議を毎月1回全職員が出席し行っています。（年12回、延べ150人出席）

生活困窮者自立支援制度への対応
①緊急食料支援おむすび事業　　②就学支援リユース事業

事業概要	平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が創設されました。この制度は、今まで十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。美作市社協は平成27年度より、行政等と連携し既存の制度では対応できない狭間の福祉ニーズに対応すべく、生活困窮者支援を目的とした独自事業である「緊急食料支援おむすび事業」「就学支援リユース事業」「子どもの学習支援・居場所づくり事業」「生活困窮者等緊急援護資金貸付事業」の4事業を事業化しました。

❶ 緊急食料支援おむすび事業

事業概要	美作市内に在住し、生活困窮にある方に対して、生活の立て直しのための一時的な支援をするため、市民から米の寄附を募り、食事に困っている家庭に寄附物品を給付し食料支援を行います。また、寄附物品を給付した対象者は、行政等の自立支援機関につなぎ、生活の長期的な立て直しを図るとともに、市民に広く寄附を呼びかけることで、生活困窮者支援の実態について周知、理解を求めます。（平成27年10月1日より施行）
支援対象者	現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することが困難な次の世帯 ①美作市社協で、相談を受付けた世帯 ②美作市保健福祉部総合相談係で、相談を受付けた世帯
給付物品	玄米、その他長期保存が可能な食料品
給付内容	①米の給付は、一人一日2合で原則2週間分とし、家族構成により上限10㎏まで ②美作市の支援機関等からの要請があった場合は、状況により対応
寄附受付状況	・玄米：1,606㎏（平成30年度：1,531㎏） ・寄附者実人数：35人（平成30年度：35人）　　（平成27年度から延べ6,507㎏）
給付状況	・玄米：1,360ｋｇ（平成30年度：834㎏）　　（平成27年度から延べ4,246㎏） ・給付実世帯数：31世帯（平成30年度：27世帯） （内訳）美作市社協取扱い　31世帯（平成30年度：20世帯） 美作市取扱い　　1世帯（平成30年度：7世帯） ・その他給付：子どもの学習支援・居場所づくり事業への提供（美作市社協）

❷ 就学支援リユース事業

事業概要	不要になった制服などを市民から寄附を募り、必要とする家庭に渡し、生活困窮世帯等の子供への就学支援として、美作市保健福祉部と協働し実施する。寄附の募集は、美作市の総合相談窓口に寄せられた内容を社協広報紙により随時掲載。
支援対象者	美作市保健福祉部社会福祉課　総合相談窓口に相談が寄せられた方
支援実績	なし　　勝間田高校の制服を募集しましたが、寄附はありませんでした。

❸ 子どもの学習支援・居場所づくり事業

事業概要	平成29年度より、生活困窮世帯やひとり親世帯等の小中学生の子どもに対して、学習支援や居場所の提供等を行うことで、学習意欲の向上や日常生活習慣・社会性・自己肯定感を育むことを目的に、市社協作東支所で「子どもの学習支援・居場所づくり事業」を実施しています。 本事業は、主に作東地域の小中高校の児童・生徒を対象に、介護保険事業所にボランティア活動として参加し、役割を持つことや他人から感謝される経験を通じて自己肯定感を高めるとともに、基本的な生活習慣を身につけ、いじめの対象や不登校に陥らないよう、主任児童委員や地区社協関係者、美作大学生の協力を得て、放課後、夏・冬・春休み、中間・期末テスト期間に実施しました。 事業実施においては、子どもや保護者、世帯全体の貧困の連鎖を防止するために、中学校・教育委員会・美作市保健福祉部と定期的な協議を行いながら、事業を進めています。
支援対象者	美作市内の中学生で、中学校や美作市保健福祉部が支援対象としている生徒とその兄弟姉妹
支援内容	① 学習支援：授業の予習・復習、日々の勉強の習慣づけ（学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱが協力） ② 居場所の提供：ボランティア活動をしながら過ごせる居場所の提供 ③ 日常生活習慣：衣類の洗濯、炊飯・おにぎり作り、シャワー浴 ④ 自宅までの送迎 ⑤ 昼食の提供（無料） ⑥ ボランティア活動保険の加入（市社協負担） ⑦ 子どもや保護者の相談援助
受入れ場所	美作市社会福祉協議会本所（作東長寿センター内）
実施日	放課後・夏休み・冬休み・春休み・中間・期末テスト期間中の延べ65日間
受入れ人数	実人数：7人（男子1人・女子6人）　　受入れ延人数：127人
学校内訳	作東中学校、江見小学校、美作高校、誕生寺支援学校
協力団体等	主任児童委員・作東地域社協・大学生ボランティア・美作大学実習生等

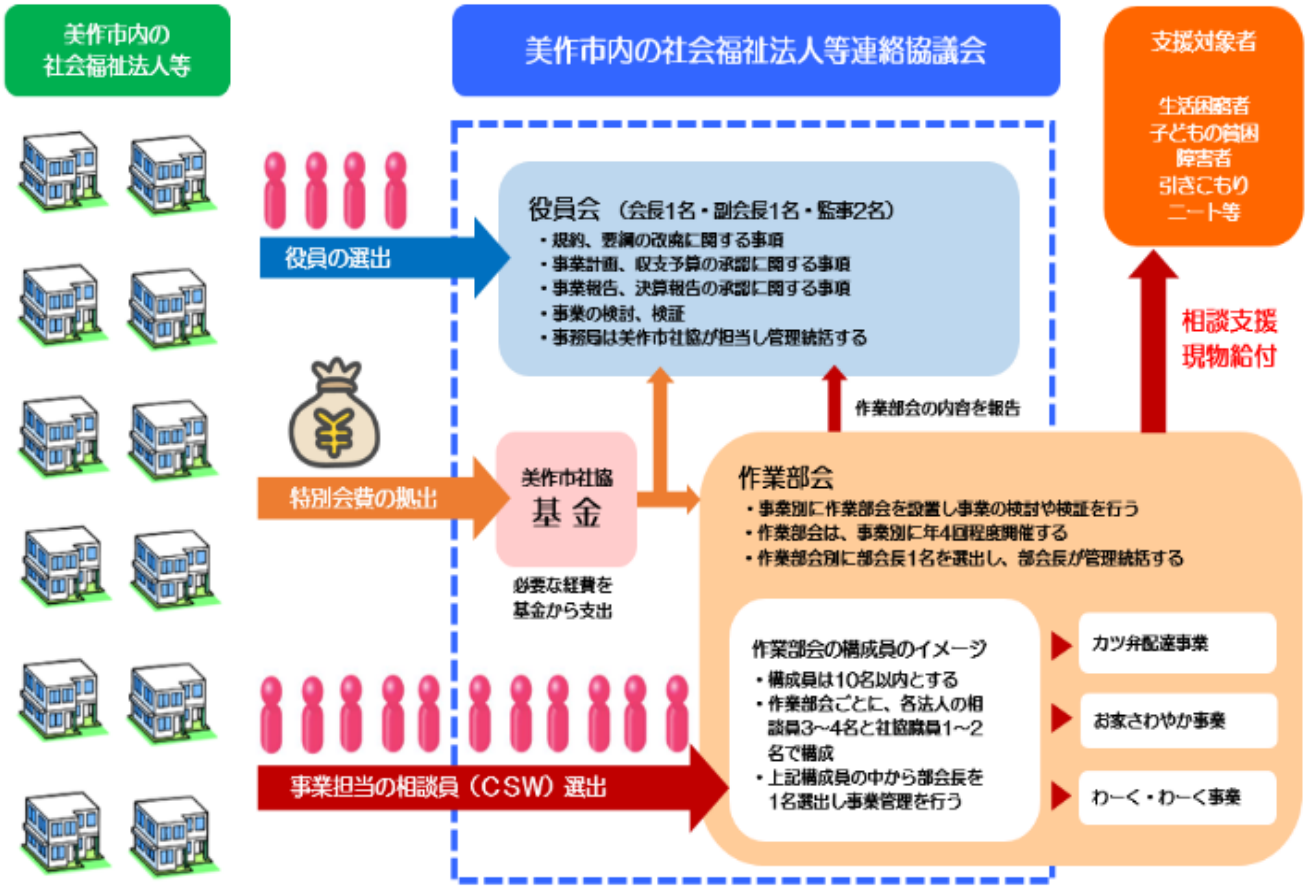
❹ 生活困窮者等緊急援護資金貸付事業

事業概要	緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者等に対し、小口の資金を貸し付けることで自立更生をはかります。
貸付対象者	生活困窮者自立支援法に基づき美作市より自立支援計画を策定されている世帯 生活保護を申請し、生活保護費の支給開始までの世帯 日常生活自立支援事業利用者で会長が必要と認めた世帯
貸付件数	12件（平成30年度：5件）
貸付金額	560,000円 ※ 5件は令和元年度中に償還済み、7件は令和２年度中に償還予定。（320,000円償還）

美作市内の社会福祉法人等連絡協議会 ①

<table>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">平成28年4月1日、社会福祉法が改正され、全ての社会福祉法人に「地域における公益的な取組を実施する責務」として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料もしくは低料金で新たな福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならないことが規定されました。
美作市社協は、今回の法改正を受け、一つの社会福祉法人ではできない制度の狭間にある新たな福祉ニーズを市内の社会福祉法人等が連携・協働し、地域の公益的な取組を進めるための協議会設立を市内の社会福祉法人等に働きかけ、平成29年6月1日に12法人14事業所で組織する「美作市内の社会福祉法人等連絡協議会」を設立しました。令和元年度には、新たに特別養護老人ホーム作東寮が加入し、参加事業所は15事業所になりました。</td></tr>
<tr><td rowspan="16">参加法人等</td><td colspan="2">法　人　名</td><td>事　業　所　名</td></tr>
<tr><td>1</td><td>社会福祉法人 日本原荘</td><td>ケアサービスセンターかつた</td></tr>
<tr><td>2</td><td>社会福祉法人 経山会</td><td>特別養護老人ホームやすらぎ荘</td></tr>
<tr><td>3</td><td>社会福祉法人 幸輝会</td><td>特別養護老人ホームみまさか園</td></tr>
<tr><td>4</td><td>社会福祉法人 幸輝会</td><td>特別養護老人ホーム作東寮</td></tr>
<tr><td>5</td><td>社会福祉法人 光風福祉会</td><td>特別養護老人ホーム螢流荘</td></tr>
<tr><td>6</td><td>社会福祉法人 千寿福祉会</td><td>特別養護老人ホームロマンシティあいだ</td></tr>
<tr><td>7</td><td>社会福祉法人 千寿福祉会</td><td>ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ湯郷・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ湯郷</td></tr>
<tr><td>8</td><td>社会福祉法人 勝明福祉会</td><td>障害者相談支援センターほのか</td></tr>
<tr><td>9</td><td>社会福祉法人 勝明福祉会</td><td>就労継続支援Ａ型福祉の店きずな</td></tr>
<tr><td>10</td><td>社会福祉法人 津山みのり学園</td><td>児童発達支援事業所めばえ</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="2">特定非営利法人 ワークサポート</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="2">特定非営利法人 地域生活支援センターみまさか</td></tr>
<tr><td>13</td><td colspan="2">株式会社 ライフサポート　ライフサポートきづな</td></tr>
<tr><td>14</td><td colspan="2">ＮＰＯ法人 美作自立支援センター</td></tr>
<tr><td>15</td><td colspan="2">社会福祉法人 美作市社会福祉協議会</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業概要</td><td>基本方針</td><td colspan="2">参加社会福祉法人等は、相互の連携を図り、制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、地域が必要とする新たな福祉サービスの開発及び支援を行い、地域の社会資源として役割を果たす。</td></tr>
<tr><td>目　的</td><td colspan="2">①社会福祉法人等が主体的になって、地域のｾｰﾌﾃｨﾈｯﾄの役割を果たす
②制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、制度の枠組みを超えて、その人に必要な支援を行う
③各社会福祉法人等の専門性を有効活用し、複数の社会福祉法人等や地域の関係団体と連携することにより支援する
④地域が求める福祉ニーズに応じるため、市内の社会福祉法人等がネットワークを構築し、新たな福祉サービスを開発・提供する
⑤社会福祉法人等が、地域の福祉資源として機能するよう役割を果たす</td></tr>
<tr><td>支　援
対象者</td><td colspan="2">社会福祉法人等の利用者及びその世帯、又は地域で生活する上で困難を抱えている方</td></tr>
</table>

美作市内の社会福祉法人等連絡協議会のフロー図



実施事業	生活困窮者等に対し、次の事業を一体的に提供するため作業部会を設置し、寄添い支援を継続しながら一般就労に繋ぐ。また福祉ニーズに柔軟に対応し、新たな福祉サービスの開発に取組む。 ①カツ弁配達事業（生活困窮者等への配食サービス事業） ②お家さわやか事業（ゴミ屋敷清掃事業） ③わーく・わーく事業（生活困窮者等の就労訓練事業） ④子どもの学習支援・居場所づくり事業（生活困窮世帯の中学生の学習支援と居場所） ⑤フードドライブ事業（家庭で余っている食料品等を受入れ必要な世帯等へ配給）
会議	①総　会：6月 ②役員会：8月・11月・2月・3月（役員会の事務局は美作市社協が担当） ・各法人から役員1名を選出し、会長・副会長・監事を設置 ③作業部会：随時開催 ・各法人から相談員1名がいずれかの作業部会に参加し、実施する事業の調査、検討を行う
参加法人会費	参加法人から法人会費を拠出し、協議会の事業費に充当する。 法人均等割負担金10,000円 ＋（ 1,000円 × 職員数 ） ※職員数は、前年度の週４０時間勤務の職員数 ※令和元年度は助成金の交付があり、法人会費総額は120,000円



美作市内の社会福祉法人等連絡協議会 ③

<table>
<tr><td rowspan="4">役員会等
開催状況</td><td>期日・会場</td><td>内　　容</td></tr>
<tr><td>令和元年6月3日
作東長寿センター</td><td>美作お助け隊　総会
・平成30年度事業報告について
・平成30年度決算報告について
・役員改選並びに作業部会の構成員の変更について</td></tr>
<tr><td>令和元年11月26日
作東長寿センター</td><td>第1回　役員会、瀬戸内市の社会福祉法人関係者との情報交換会
・作業部会からの報告　・補正予算について
・フードドライブについて
・研修会の開催について
（講師：津山障害者就業・生活支援センター井口所長）
</td></tr>
<tr><td>令和2年3月28日
作東長寿センター</td><td>第2回　役員会（ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染予防のため書面決議による開催）
・作業部会からの報告
・フードドライブ事業の結果について
・令和2年度事業計画について
・令和2年度収支予算について</td></tr>
<tr><td>作業部会の
概　　要</td><td colspan="2">作業部会は、美作お助け隊参加法人の職員で組織する事業部隊で、各法人の利用者やその世帯等から支援対象者を拾い出し、アセスメントシートを元に5つの事業に結び付けながら、衣食住の生活の自立に向けた受理調整会議や事例検討、事業の検証を行っています。
美作市社協からは、各作業部会に１名の職員を配置し、部会の事務局的役割を担っています。また、支援者ニーズに対応するための新たな福祉サービスの企画・立案についても、随時協議が行われました。（延べ11回開催）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">作業部会の
開催状況</td><td colspan="2">カツ弁配達事業作業部会（構成メンバー：4法人　5名）
第1回　令和元年7月2日：フードドライブ事業の検討
第2回　令和元年11月1日：フードドライブ事業の検討、1件の事業実施について
第3回　令和2年2月26日：フードドライブ事業の結果報告、1件の事業実施について</td></tr>
<tr><td colspan="2">わーく・わーく事業作業部会（構成メンバー：6法人　7名）
第1回　令和元年10月29日：支援後・支援中の状況報告、研修会について
第2回　令和2年2月27日：新規ケースの検討（1件）、支援後・支援中の状況報告</td></tr>
<tr><td colspan="2">お家さわやか事業作業部会（構成メンバー：6法人　7名）
第1回　平成31年4月24日：新規ケース検討（1件）、支援報告（2件）、経過報告
第2回　令和元年6月10日：新規ケース検討（2件）、支援方法について、経過報告
第3回　令和元年10月16日：新規ケース検討（1件）、支援方法について、経過報告
第4回　令和2年2月14日：支援報告（3件）、活動後の経過報告、今後の課題について</td></tr>
</table>

視察受入れ	○広島県福山市内社会福祉法人関係者視察受け入れ 期日：令和元年7月24日　場所：美作市社協本所　参加者：11名 ○瀬戸内市内社会福祉法人関係者視察受け入れ 期日：令和元年10月3日　場所：美作市社協本所　参加者：19名
実践発表	○赤磐市社会福祉法人連絡会で実践発表（報告者：蛍流荘 木村施設長、美作市社協 松本） 期日：令和元年9月6日　場所：赤磐市山陽総合福祉センター　参加者：14名 ○第38回全国社会福祉法人経営者大会（報告者：美作市社協 春名事務局長） 期日：令和元年9月12日　場所：鳥取市とりぎん文化会館　参加者：150名 ○北海道内市町村社協 法人役員研修会（報告者：美作市社協 内田次長） 期日：令和元年11月13日　場所：札幌市かでる2.7ホール　参加者：200名
広報活動等	1．全国社会福祉協議会発行の書籍掲載 ①「社会福祉協議会の強みを活かした生活困窮者支援実践事例集」 ②「月間福祉2月号」　特集：社会福祉法人の連携・協働 地域の困りごとを地域づくりにつなげる「美作お助け隊」の取組み 2．美作市社協広報誌「はい！社協です」で、広報記事掲載 ①令和元年7月号（美作お助け隊の概要と事業紹介） ②令和2年1月号（フードドライブ事業について） ③令和2年3月号（フードドライブ事業の結果について） 3．地区社協での広報活動 ニーズの掘り起こし、住民と協働した活動が行えるよう、地区社協の福祉会議で美作お助け隊の活動について広報活動を実施（17地区社協、延べ260名参加） 4．山陽新聞にフードドライブの記事掲載（令和2年2月19日） 「余った食料品提供呼びかけ　美作お助け隊、貧困家庭へ届ける」 
事業実施状況	1．カツ弁配達事業（生活困窮者等への配食サービス事業） 1）事業概要 各法人が行う事業の中で生活困窮者等を発見し、活力をつけてもらうための弁当を無料で配布することにより（月～金曜日）、生活の自立に向けた支援を行う。 弁当は自立に向け段階的に有料とする。 2）利用料（最長６ヵ月実施） 2ヵ月までは無料。以後1ヵ月経過毎に段階的に有料とし、4ヵ月以降は400円。 ・1日～2ヵ月：無料　・2ヵ月～3ヵ月：200円/食 ・3ヵ月～4ヵ月：300円/食　・4ヵ月以降：400円/食 3）支援対象者 各法人が必要と認めた者、市生活困窮担当者等が必要と認めた者（生活保護申請後受給開始までの者） 4）事業実績 ・実利用者数：2名（2世帯）　内訳：単身（生保申請中）、独居高齢者各1世帯 ・実施法人：2法人（幸輝会・美作市社会福祉協議会） ・延べ配食数：37食（無料）

事業実施状況	2．わーく・わーく事業（生活困窮者等への就労訓練事業） 1）事業概要 各法人の利用者や世帯等の中で就労訓練が必要な者を、美作市の生活困窮者相談窓口に繋ぎ、各法人が就労支援事業者として中間就労の受入れをし、一般就労に向けた支援を行う。 2）支援対象者 美作市自立相談支援事業で、就労訓練事業（中間的就労）の利用が適当であると行政が認めた者 3）就労支援事業所登録法人：６法人8事業所 ①社会福祉法人日本原荘　ケアサービスセンターかつた ②社会福祉法人経山会　特別養護老人ホームやすらぎ荘 ③社会福祉法人幸輝会　特別養護老人ホームみまさか園 ④社会福祉法人光風福祉会　特別養護老人ホーム螢流荘 ⑤社会福祉法人千寿福祉会　デイサービスセンター湯郷 ⑥社会福祉法人千寿福祉会　特別養護老人ホームロマンシティあいだ ⑦社会福祉法人美作市社会福祉協議会　デイサービスセンター大原事業所 ⑧社会福祉法人美作市社会福祉協議会 4）受入れ期間及び時間：原則３か月、週２日の１日2時間 5）業務内容等：各法人で提供できる清掃作業、洗濯物たたみ、配膳、洗車等軽作業 6）費用弁償等：受入事業所で、費用弁償として2,000円を日払い 7）事業実績 ・中間就労受入実人数：4名　（内訳）障害者１名・引きこもり2名・その他1名 ・受入れ後の状況：3名が就労中 ・受入れ法人：３法人 ①ケアサービスセンターかつた（令和元年8月2日～10月30日）：24日 →事業終了後、同法人で週2日勤務の雇用 ②美作市社会福祉協議会（令和元年12月6日～令和2年1月17日：12日 →受け入れ期間中に警備会社に雇用（現在フルタイム勤務） ③美作市社会福祉協議会（令和元年12月20日～令和2年3月19日）：26日 →事業終了後、弁当屋でアルバイトとして雇用 ④美作市社会福祉協議会（令和2年2月4日～継続中）
	3．お家さわやか事業（ゴミ屋敷清掃事業） 1）事業概要 各法人が行う事業の中でゴミ屋敷状態にある世帯を発見し、法人職員のマンパワーを活かして清掃作業を行う。また本人の抱える生活上の課題解決に向け支援する。 2）支援対象者 各法人が必要と認めた者（生活困窮者・障害者・認知症の者）。 但し、清掃作業を通して自立を促せる可能性がある者、又は行政関係者や関係機関等の関わりが既にあり、その支援の一部として必要な者。 3）事業実績 ・実施件数：3件 ・実施状況 ①美作市上福原在住の4人世帯（家族構成：障害者の母・中学生・小学生・保育園） 令和元年6月25日　法人から7名、関係機関2名が参加 令和元年8月6日　法人から6名、関係機関4名、地元住民2名が参加 ②美作市尾谷在住の独居世帯 令和元年11月11日　法人から6名、関係機関1名、地元住民4名が参加

事業実施状況

4．子どもの学習支援・居場所づくり事業

1）事業概要
健全な育成環境を維持することが困難な世帯等の子どもが、ボランティア活動に参加することで、役割を持つことや、他人から感謝される経験を通じて自己肯定感を高めるとともに、基本的な生活習慣を身につけ、いじめの対象や不登校にならないよう支援を行う。

2）支援対象者
美作市内の中学校の生徒で、学校や美作市保健福祉部が支援対象としている生徒とその兄弟姉妹

3）事業実績
・実施場所：美作市社会福祉協議会本所（作東長寿センター内）
・開所日数：65日　　・利用実人数：7名　　・利用延人数：127名

4）関係機関等との情報共有、役割共有
生徒のスムーズな受入れ、学生生活の維持、世帯全体の支援をするため下記の関係機関とケース会議、訪問、来所、電話等で情報共有、役割共有等を図った。

江見保育園、江見小学校、作東中学校、誕生寺支援学校、美作市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、美作市保健福祉部、地域活動支援センターなごみ、指定特定計画相談事業所みらい、特別養護老人ホーム蛍流荘、主任児童委員、ボランティア受入れ機関（作東老人保健施設、カフェ笑）

5．フード・ドライブ事業

1）事業概要
住民等から余剰食材等の寄附を受け、食事に困っている生活困窮世帯等に食料品を提供する。全参加法人が、食料品の受入れ場所になることで、社会福祉法人が住民にとって身近な福祉施設として認識され、地域との関わりを積極的に持つ機会に繋がるとともに、住民と社会福祉法人の協働による生活困窮者等への支援の仕組みを作る。

2）実施時期：年2回（歳暮後の1月と中元後の8月に実施）

3）実施状況
実施期日：令和2年1月14日～24日
参加法人：12法人15事業所
実　　績：食料品等761品目、総重量313.4kg

美作市内の社会福祉法人などでつくる連絡組織「美作お助け隊」が１月に呼び掛けていた余った食料品の提供は７６１点が寄せられた。事務局の市社会福祉協議会を通じて生活の苦しい家庭に届けられる。貧困世帯の支援と廃棄される食品ロスを防ぐ初の試み。１月１４～２４日の１１日間、市内の福祉施設１４カ所と市社協本所・各支所で賞味期限が１カ月以上残り、常温で保存可能な食料品を受け付けた。市民らから届けられたのはインスタントのラーメンやコーヒー、レトルトカレー、缶詰、そうめんなどの乾麺、瓶入りのつくだ煮などさまざま。重量は約３１３キロに上る。
市社協の職員が賞味期限やパッケージの破損の確認など整理作業を終えた。次回は今夏の盆明け以降に募る予定。
（令和2年2月19日山陽新聞掲載記事抜粋）



つどいの広場事業

事業概要	美作市からの受託事業で、小学校就学前の乳幼児をもつ保護者に、子どもを安心して遊ばせながら育児相談や子育て中の親が気軽に集い、語り合えるような場（子育てサロン）を提供することにより、保護者の育児に対する不安・負担の緩和を図るために、市内７ヶ所で「子育てサロン」の活動支援を行っています。市社協は、各サロンへ助成金交付や子育てに関する講習やボランティア等の派遣を行っています。	

事業内容	業務の目的	1．子育て親子の交流と集いの場を提供する。
		2．子育てアドバイザーが、子育ての悩み等に相談に応じる。
		3．地域の子育て関連情報を、集まってきた親子に提供する。
		4．子育て及び子育て支援に関する講習を実施する。
	開所時間	1日（回）あたり3時間以上開催
	利用料	無料

子育てサロン活動状況内訳

サロン名称	開催場所	開催日	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			開所日	利用人数	開所日	利用人数	開所日	利用人数
ちびゆりクラブ	高齢者福祉センター「やまゆり苑」	毎月2回（不定期）	24日	300人	24日	523人	22日	272人
まめっこ	大原保健センター	毎週水曜日	48日	780人	49日	664人	46日	337人
こすもす	東粟倉ふれあいセンター	毎週木曜日	51日	137人	—	—	—	—
こっこ	いきいきゆうゆうの里世代交流多目的ホール	毎週月・木曜日	92日	2,404人	88日	2,211人	81日	2,012人
えんぜる	いきいきゆうゆうの里世代交流多目的ホール	毎月第2火曜日	11日	166人	11日	115人	10日	113人
さくらハウス	旧巨勢小学校	毎月第1・第3水曜日	48日	641人	26日	240人	25日	205人
ぱれっと	作東長寿センター	毎月第2・第4金曜日	20日	311人	22日	284人	22日	209人
つくしんぼ	生涯学習センター 英田保健センター	毎月第1・第3金曜日	20日	618人	20日	407人	18日	256人
合計			314日	5,357人	240日	4,444人	224日	3,404人

事業概要	美作市から補助金を受け、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、保護司会の事務局を担当し、自主運営に向けた福祉団体の支援を行っています。						
活動状況と助成金	団体名	会員数				役員会の開催状況	助成金額
		H28	H29	H30	R1		
	老人クラブ連合会	8,055人	7,859人	7,771人	7,608人	3回	7,084,000円
	身体障害者福祉協会	364人	323人	298人	271人	4回	810,000円
	遺族会	792人	788人	690人	659人	3回	1,290,000円
	保護司会	26人	24人	25人	25人	4回	450,000円
	合計						9,634,000円
支部助成金内訳	団体名	勝田	大原	東粟倉	美作	作東	英田
	老人クラブ連合会	792,600円	1,107,480円	178,320円	1,584,000円	1,683,360円	751,200円
	身体障害者福祉協会	137,500円	178,000円	—	140,500円	148,000円	152,500円
	遺族会	57,700円	105,320円	28,760円	218,380円	150,820円	63,640円
	保護司会	—	—	—	—	—	—
事務局の取組み内容	団体名	事務局の取り組み内容					
	老人クラブ連合会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	身体障害者福祉協会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	遺族会	各支部・連合会の事務局として事業企画や事務運営の指導援助を行う。					
	保護司会	事業企画や事務運営の指導援助を行う。					

障害者地域活動支援センターⅠ型「なごみ」①

事業概要

美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」は、平成30年度より美作市から事業受託し、地域で生活する身体障がい者、知的障がい者、精神障害者及び障害児が、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、精神保健福祉士等の専門職による日常生活の困り事等の相談支援や訪問活動、福祉サービスの利用援助、地域ボランティアの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等を行っています。
また、通所（通いの場）による創作的活動等の機会の提供や社会との交流の促進等、当事者活動の支援も行っており、地域社会との交流を促進する役割を担っています。本年度は令和元年7月1日より、活動拠点を作東長寿センターに移転しました。

事業内容

施設名称	美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」		
事業所形態	地域活動支援センターⅠ型		
場所	作東長寿センター内（美作市江見280番地）		
開所日	毎週月～金曜日（日曜日及び土曜日、祝祭日、年末年始は休館）		
開館時間	8：30～17：15	利用料	無料
事業内容	① 障害児・者の日常生活に関する相談及び情報の提供 ② 地域における障害児・者の自主的な活動に関する支援 ③ 地域における障害児・者との交流の機会の提供		
職員の配置	施設長（社会福祉士）1名 相談支援専門員2名（精神保健福祉士1名、社会福祉士1名） 指導員3名（臨時職員）		

相談支援の実施状況

地域で生活する障害のある方やそのご家族が、安心して生活ができるように、困ったことやわからないことを気軽に相談できる窓口として、相談支援専門員、精神保健福祉士などの専門職員が相談に対応し情報提供や訪問活動等の生活支援を行いました。

1．相談支援を利用している障害者等の人数　（単位：人）

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	実人数合計	R1合計
障害者	20	4	35	59	5	2	7	132	134
障害児	0	1	6	0	0	0	0	7	4
合計	20	5	41	59	5	2	7	139	138

2．支援方法　（単位：件）

訪問	来所相談	本人に同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計	R1合計
610	320	82	802	4	201	1,531	17	3,567	2,810

3．支援内容（全7,774件対応の内訳）　（単位：件）

福祉ｻｰﾋﾞｽ利用（年金・社会資源）	723	生活技術に関する支援（生活支援）	506
障害や病気の理解に関する支援	531	就労に関する支援（仕事・作業関係）	438
健康・医療（病気・服薬・受診）	849	社会参加・余暇活動に関する支援	377
不安解消・情緒安定（生活上の悩み）	1,067	権利擁護に関する支援	23
保育・教育に関する支援	45	その他	2,216
家族・対人関係に関する支援	694	合計	7,774
家計（金銭管理）に関する支援	305	※ふれあいホール利用者の相談含む	

ふれあいホール利用状況

美作市障害者地域活動支援センター「なごみ」には、美作市在住で18歳以上の障害のある方を対象に、日中活動の場の提供や創作活動、地域交流などの機会を提供する「ふれあいホール（通いの場）」を開設しており、当事者主体の活動拠点として事業を行っています。作東長寿センター移転後（令和元年7月1日）は、施設の特徴を活かし、入浴利用者の受入れや調理実習の充実を図り、ふれあいホールの活動の幅が広がりました。

1．ふれあいホール利用状況

	登録人数	開所日数	利用延人数	送迎延日数	入浴利用人数	平均利用人数
令和元年度	61人	239日	1,350人	142日	72人	5.6人
平成30年度	50人	242日	1,178人	141日		4.8人

2．行事・レクリエーション活動

（単位：人）

	回数	利用者	職員	その他	合　計	R1合計
ミーティング（毎月第1金曜日）	12	120	35	19	174	129
七宝焼き作り	12	128	36	18	182	104
レデイ―スデイ（料理教室・創作活動）	10	82	29	17	128	146
メンズデイ（料理教室）	5	32	15	9	56	
調理の日	5	65	16	8	89	
囲碁ボール（地区住民との交流）	12	102	31	49	182	171
茶話会	10	96	27	12	135	97
課外活動・見学他	11	105	41	21	167	106

地域住民との交流の場の提供

美作保健センターや美作市社協各支所など、不特定多数の地域住民が出入りする場所において、ふれあいホール利用者の七宝焼き等の作品を展示しました。

また、美作市社協が主催する福祉フォーラム等で作品の展示・販売活動を行い、それらの活動を通して、利用者の自信を高め、地域の一員としての自覚を促す活動を行いました。さらに、地域住民との交流の場（囲碁ボール等）を提供し、障害者に対する理解を深める機会を提供しました。

1．地域住民との交流

期　日	内　容	場　所	なごみ利用者	愛育委員
9月9日	作東地域の愛育委員との交流囲碁ボール	ふれあいホール	12人	5人
10月28日			10人	7人
11月25日			10人	7人
12月23日			9人	6人
1月27日			9人	3人

2．展示販売

期　日	内　容	場　所	利用者
6月14日	勝田子ども食堂	勝田保健センター	2人
10月27日	作東地域ふるさと祭り	作東総合グラウンド	4人
11月30日	元気になろうやフェスタ	作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ	11人
12月3日	福祉のまちづくりフォーラム	作東ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ	3人

障害者地域活動支援センターⅠ型「なごみ」③

運営協議会の開催状況

1．運営協議会委員名簿

役　職	氏　　名	選　　出　　区　　分
会　長	山 本 敏 子	知的障害者関係の代表者（美作市知的障害者相談員）
副会長	丸 尾 克 己	精神障害者関係の代表者（みまさかクローバーの会会長）
	安東眞理子	ボランティア関係の代表者（みまさかクローバーの会副会長）
委　員	和 田 允 夫	身体障害者関係の代表者（美作市身体障害者福祉協会副会長）
	太 田 吉 美	身体障害者関係の代表者（美作市身体障害者福祉協会会員）
	大橋美智子	障害をもつ児童関係の代表者（愛夢皆の会副会長）
	矢 代 順 子	ボランティア関係の代表者（ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｰ歩の会）
	柴山英津子	知的障害者関係の代表者（美作市知的障害者相談員）
	中 村 光 秋	ボランティア関係の代表者（作東地域社協副会長）
	八 幡 拓 真	その他の保健・医療関係者等（美作県民局健康福祉部）
	吉 元 映 子	その他の保健・医療関係者等（美作市発達支援センター）
	山 本 恭 子	その他の保健・医療関係者等（美作市保健福祉部社会福祉課）

運営協議会は、障害者団体等の代表者を中心に組織し、「なごみ」の事業検討及び事業実施上の諸問題について協議を行うための諮問機関として設置しています。

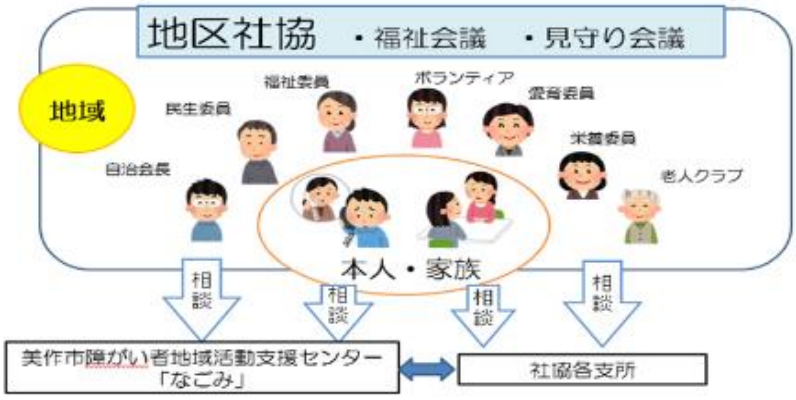
2．運営協議会の開催状況

第1回運営協議会
期　　日：令和元年5月14日（火）　　出席者数：10人
協議事項：副会長の選任、平成30年度事業報告、なごみの移転について

なごみ移転に関する美作市議会文教厚生委員会との意見交換会
期　　日：令和元年5月31日（金）
出席者数：委員7人、美作市議会文教厚生委員7人

第2回運営協議会
期　　日：令和2年1月17日（金）　　出席者数：11人
協議事項：障害理解を広めるボランティア養成講座について、活動状況

市民に向けた広報活動



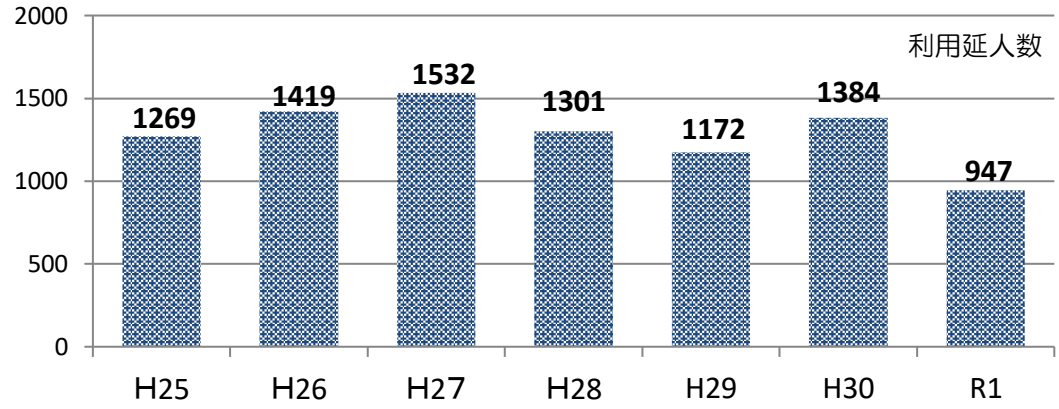
昨年に引き続き、美作市社協と「なごみ」が協働し、地域活動支援センターの役割や機能、地域との繋がりを活かした障害者支援について、地区社協の役員に向けた研修会を開催しました（2地区社協、延べ34名参加）。また、美作市社協の広報誌「はい！社協です」に、「なごみ通信」を掲載し、市民に向けた広報活動を行いました。

市民に向けた広報活動	「福祉のまちづくりフォーラムin美作」の開催 美作市社協と美作市地域社協連絡会が共催し、地域共生社会の実現に向け、障害のある人への市民の理解促進と勝英管内の障害者福祉サービスの広報を目的に、「福祉のまちづくりフォーラムin美作」を開催しました。 当日は、美作大学の堀川教授の基調講演と障害者福祉サービス7事業所の職員によるリレートークが行われ、市民に対して「なごみ」をはじめとする障害者福祉サービスの周知と障害理解を深める機会を提供することが出来ました。 日　時：令和元年12月3日（火）　13：30～16：10 会　場：作東バレンタインプラザ 内　容：1）基調講演「地域における障害者の生活と障害に対する理解について」 講師：美作大学生活科学部社会福祉学科　　教授　堀川涼子氏 2）リレートーク「地域の障害福祉サービス事業所の紹介」 参加：障害者地域活動支援センターなごみ他6事業所 参加者：地区社協関係者他120名  
当事者団体等への支援	美作市内や勝英管内には、障害者の当事者や親の会等の組織があり、仲間と悩みや心配ごと、人生の希望を分かち合い、支え合って社会の偏見や差別をなくすための様々な活動が行われています。障害者地域活動支援センター「なごみ」は、これらの当事者団体等の会議や研修会、交流会等に職員が参加し、活動をサポートしています。 当事者団体との会議や行事、定例会等の出席回数 ・美作市心身障害児・者親の会：8回 ・作東親の会：5回 ・元気になろうやフェスタ実行委員会：6回 ・みまさかクローバーの会：8回
農福連携による住民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ養成事業	「農福連携」による新たな住民ボランティアの養成 「農福連携」は、障害者等の農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組であり、本年度も市内の農家のご協力を頂き、「なごみ」の利用者6名が黒豆作業のボランティア活動を行いました。 この活動を通じて、障害のある人も地域で役割を持って生活することができるという事例となり、ボランティアに参加した障害者にとって、自己肯定感を高める体験を提供することが出来ました。 

地域活動支援センターⅢ型「むぎの会」

事業概要	美作市からの受託事業で、在宅で生活する障害等のある人が、軽作業を通じて生活のリズムを作り、対人関係の改善や社会に適応する力を養いながら社会復帰を目指すための障害者作業所の運営を行っています。 近年では利用者の高齢化が進み体調面での不安が増加していますが、平成30年度より障害者地域活動支援センター「なごみ」を受託したことにより情報の共有等、連携したサービス提供を行っています。	
事業内容	施設名称	美作市障害者共同作業所「むぎの会」
	事業所形態	地域活動支援センターⅢ型
	場所	世代交流多目的ホール（美作市社会福祉協議会美作支所）
	開所日	毎週火～金曜日：週4日開所（祝祭日・お盆、年末年始を除く）
	開所時間	13：00～16：00
	作業内容	フルーツキャップの梱包
		牛乳パックを使用したリサイクルはがき作り
		新聞紙を使った包装資材の加工（市内特産物販売業者へ納入）
	利用料	無料
	指導員の配置	2人／日

利用状況推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
登録人数※1	11人	10人	10人	7人	12人	12人	11人
利用延人数	1,269人	1,419人	1,532人	1,301人	1,172人	1,384人	947人
開所日数	190日	190日	190日	190日	190日	190日	190日

※1.登録人数は、当該年度3月の人数を記載

令和元年度月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
開所日数	16日	16日	16日	18日	14日	16日	
利用人数	111人	91人	75人	81人	55人	72人	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	947人
開所日数	18日	17日	15日	16日	15日	13日	
利用人数	105人	89人	64人	73人	64人	67人	

事業概要	要援護高齢者及び障がい者等、公共交通機関での移動が困難な方を対象に、リフト付自動車等の福祉車輌を使用して外出を支援し、社会参加を促進する有償運送事業を社協の自主財源を使った単独事業として行っています。	
事業内容	運送主体	美作市社会福祉協議会
	運送対象者	外出時に車椅子の使用が必要か歩行介助者が必要な方で、単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者として、あらかじめ登録した方及び介助者・付き添いをされる方
	運送区域	市内を発着点とし、社協営業時間内で往復可能な区域
	運行支所	大原支所・作東支所
	営業日	月曜日から金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日除く）
	営業時間	午前9時から午後5時まで
	使用車輌	美作市社会福祉協議会所有の福祉車輌
	運転者	普通第二種免許を有する者及び指定講習受講修了者
	利用料	基本料金：30分まで1,100円～以後30分毎に1,100円追加
		迎車料金：50円／㎞ ※初乗り場所に最も近い社協支所から初乗り場所まで

利用状況内訳

登録者数推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原支所	31人	22人	7人	7人	9人	12人
作東支所	8人	11人	11人	11人	13人	8人
合計	39人	33人	18人	18人	22人	20人

令和元年度登録者内訳

	要介護認定者	身障手帳所持者	その他			合計
大原支所	7人	2人	3人			12人
作東支所	1人	6人	1人			8人
合計	8人	8人	4人			20人

利用件数

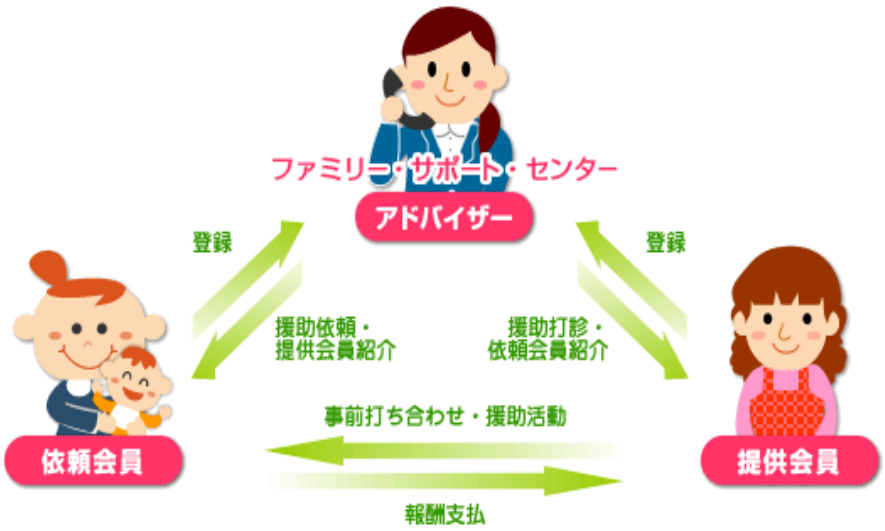
	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原支所	141件	110件	19件	6件	4件	15件
作東支所	13件	24件	166件	153件	21件	9件
合計	154件	134件	185件	159件	25件	24件

令和元年度利用内容内訳

	通院	社会参加	通所			合計
大原支所	13件		2件			15件
作東支所		9件				9件
合計	13件	9件	2件			24件

移送先	美作市内：22件、津山市：2件

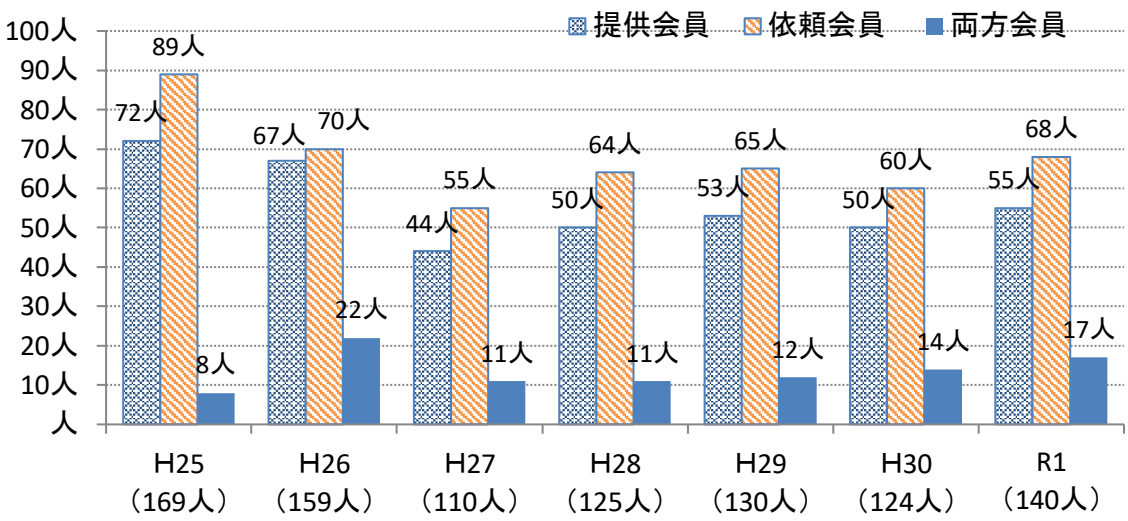
ファミリー・サポート・センター事業 ①

<table>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">

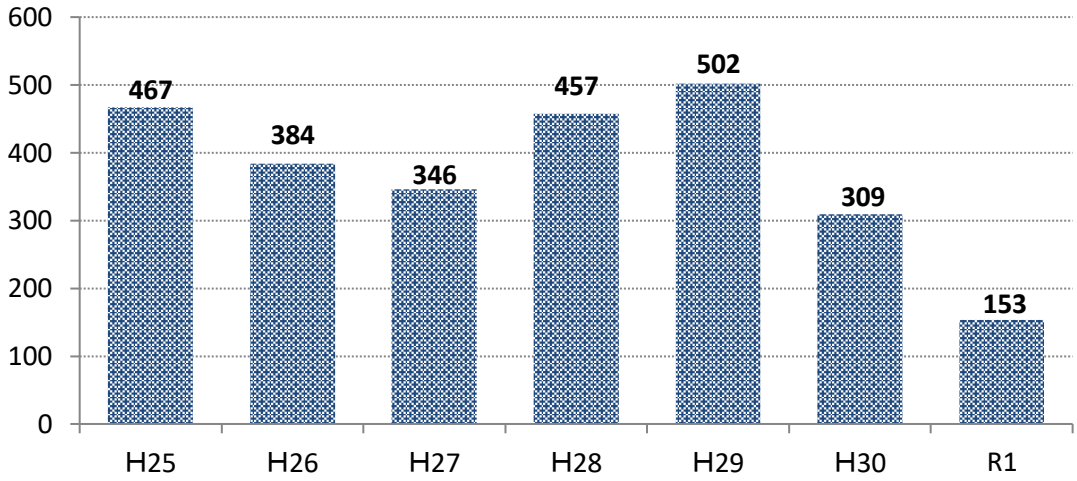
美作市の受託事業で、保護者の子育てと就労支援を目的に、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、子育てのお手伝いができる人（提供会員）が会員となり、相互の信頼と了解の上で一時的にお子さんを預る、子育ての相互援助事業の運営を行っています。美作支所に、「美作市ファミリーサポートセンター」を設置し、仲介斡旋業務を行うアドバイザーが、会員の紹介、援助活動の依頼など会員間の調整等を行っています。</td></tr>
<tr><td rowspan="15">事業内容</td><td>名称</td><td colspan="3">美作市ファミリー・サポート・センター</td></tr>
<tr><td>センター事務局</td><td colspan="3">美作支所内（世代交流多目的ホール）</td></tr>
<tr><td>センター受付日時</td><td colspan="3">月～金曜日（祝祭日・お盆、年末年始を除く）9：00～17：00</td></tr>
<tr><td rowspan="3">会員区分</td><td colspan="3">依頼会員：美作市在住で子育ての援助を受けたい保護者</td></tr>
<tr><td colspan="3">提供会員：美作市在住で子育ての援助活動ができる人：資格不問</td></tr>
<tr><td colspan="3">両方会員：美作市在住で依頼・提供会員の両方の活動が可能な人</td></tr>
<tr><td>援助の対象</td><td colspan="3">依頼会員の同居親族で、概ね生後3か月以上10歳未満の乳幼児及び児童</td></tr>
<tr><td rowspan="4">援助活動の内容</td><td colspan="3">保育施設の保育開始時まで、保育終了後の子どもの預かり</td></tr>
<tr><td colspan="3">保育施設までの子どもの送迎</td></tr>
<tr><td colspan="3">小学校の放課後、放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり</td></tr>
<tr><td colspan="3">仕事と育児の両立のために援助が必要な場合の子どもの預かり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">利用料</td><td colspan="2"></td><td>1時間まで</td><td>以降30分毎</td></tr>
<tr><td rowspan="2">平日</td><td>午前7時～午後7時まで</td><td>500円</td><td>250円</td></tr>
<tr><td>午後7時～午前7時まで</td><td>700円</td><td>350円</td></tr>
<tr><td colspan="2">土・日曜日、祝日及びｾﾝﾀｰが定める別の日</td><td>700円</td><td>350円</td></tr>
<tr><td>年会費</td><td>500円</td><td>会員登録料</td><td colspan="2">無料</td></tr>
<tr><td>補償保険</td><td colspan="4">サービス提供会員傷害保険・賠償責任保険・依頼子供傷害保険</td></tr>
</table>

会員登録数推移

※（ ）は延登録会員数



利用件数推移



令和元年度利用状況

利用内容内訳	・預かり			30件
	・保育園、幼稚園の迎え			5件
	・保育園、幼稚園の送り			5件
	・保育園、幼稚園の迎え及び預かり			113件
	合　　計			153件
利用時間内訳	0～1時間	126件	4～5時間	1件
	2～3時間	11件	5～6時間	2件
	3～4時間	9件	7時間以上	4件

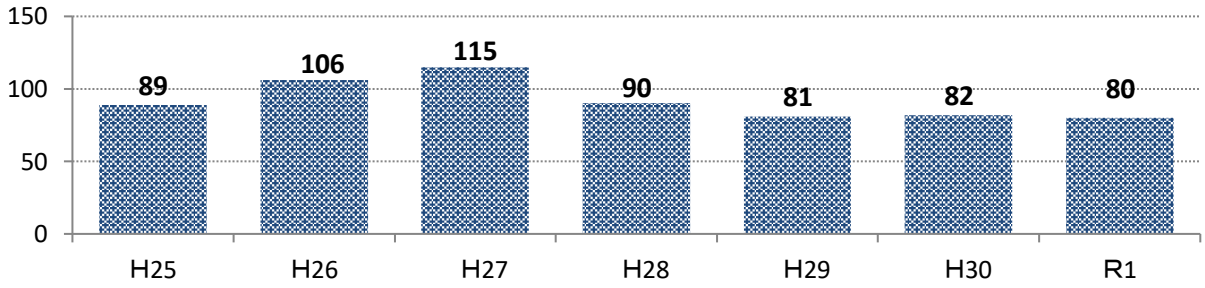
会員講習会の開催状況

開催日	講習会の内容	参加者数
令和元年9月24日	第1回講習会　救急法講習	10人
令和元年11月30日	第２回講習会　発達支援講習	4人
令和2年2月25日	第３回講習会　交通安全講習	3人

「食」の自立支援事業

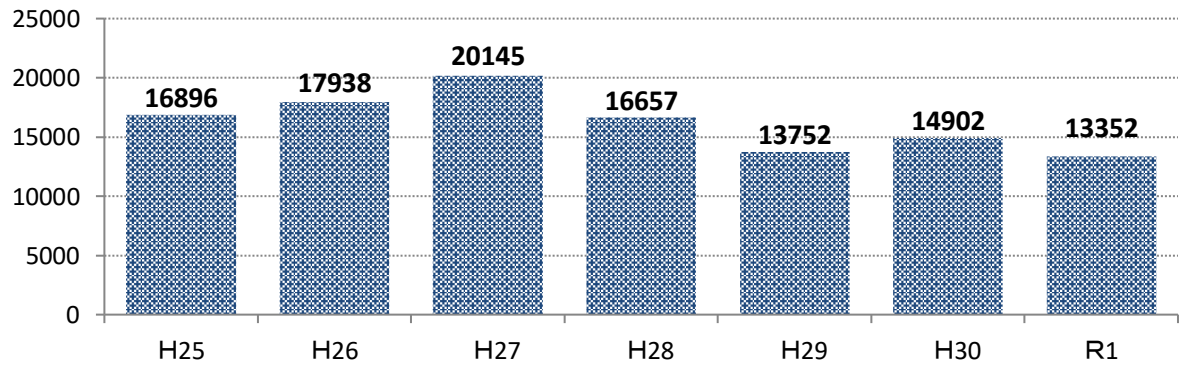
事業概要	美作市の受託事業で、在宅の高齢者等が安心して健康で自立した生活を送ることができるよう、食生活の自立、健康の増進等を図り、併せて安否確認を行うことにより、在宅生活での自立を支援しています。					
事業内容	対象者	1．概ね65歳以上の一人暮らしで、身体機能が低下している方				
		2．どちらか一方が虚弱な高齢者夫婦世帯				
		3．その他、市長が「食」の自立支援を必要と認める方				
	利用料	400円／1食				
	提供日	大原支所	月～日曜日（週7日）	配達方法	大原支所	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ
		作東支所	月～金曜日（週5回）		作東支所	臨時配達員
		英田支所	月～金曜日（週5回）		英田支所	弁当業者

利用実人数推移（令和2年3月末現在）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原支所	58人	59人	64人	43人	36人	41人	42人
作東支所	20人	33人	39人	30人	28人	27人	28人
英田支所	11人	14人	12人	17人	17人	14人	10人
合計	89人	106人	115人	90人	81人	82人	80人

配食利用数推移（単位／食）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原支所	11,857食	12,492食	12,770食	10,159食	7,351食	7,835食	7,544食
作東支所	3,295食	4,068食	5,775食	4,834食	3,884食	4,757食	3,943食
英田支所	1,744食	1,378食	1,600食	1,664食	2,517食	2,310食	1,865食
合計	16,896食	17,938食	20,145食	16,657食	13,752食	14,902食	13,352食

生活管理指導員派遣事業

事業概要		生活管理指導員派遣事業は美作市の受託事業で、概ね65歳以上の高齢者を対象に、基本的生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しにくいなどの社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ホームヘルパー等）を派遣し、日常生活に対する指導や支援を行い、要介護状態への進行を予防し、自立した生活の向上を図ります。
事業内容	対象者	基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しない等の社会適応が困難な高齢者。「要支援」及び「要介護」認定者は利用できない。
	サービス内容	1．日常生活に関する支援・指導（基本的生活習慣を習得の支援・指導）
		2．家事に対する支援と指導
		3．対人関係の構築のための支援と指導（近隣住民との関係修復等）
		4．関係機関との連絡調整
	利用者負担金	200円／1時間当たり　　※委託金額　1時間当たり2,780円

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
実人数推移	大原支所	―	―	―	―	―	―	―	1人
	作東支所	1人	―	1人	―	1人	1人	―	―
	合　計	1人	人	1人	―	1人	1人	―	1人

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
訪問回数推移	大原支所	―	―	―	―	―	―	―	5回
	作東支所	22回	―	8回	―	33回	19回	―	―
	合　計	22回	―	8回	―	33回	19回	―	5回

産後ヘルパー派遣事業

事業概要		今年度から新たに、産後ヘルパー派遣事業を美作市から受託しました。産後1年以内の産婦を対象に家事の支援や授乳、おむつ交換等の育児に関する支援を行います。
事業内容	対象者	美作市内に住所を有する産後1年以内の産婦
	サービス内容	1．家事に対する支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物、関係機関との連携
		2．育児に対する支援（授乳の手伝い、おむつ交換・着替え、沐浴、育児環境の整備）
	利用者負担金	500円／1回当たり　　※委託金額　1回当たり2,780円
	派遣回数等	1．1回の出産ごとの利用上限は15回（多胎児は30回）
		2．1回当たりの利用上限は2時間

		利用実人数	訪問回数
利用状況	大原支所	1人	11回
	作東支所	1人	14回
	合　計	2人	25回

共同募金配分金事業

事業概要

●募金期間：10月1日～12月31日　戸別・法人・街頭・学校・職域等で募金活動を展開

市民の募金への協力とそれぞれの支所で募金を適切に配分することで、民間財源を有効に活用するとともに、市民の福祉への参加と関心を高めています。
共同募金の配分金は、旧町村域の福祉活動の財源として、全て還元することを基本に事業を実施していましたが、障害者の当事者団体や家族会への支援の必要性、ボランティアグループの多様な活動や、新たな福祉ニーズに対応するために令和元年度は500,000円を市域枠として活用しました。

募金額推移（単位：円）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
目標額	5,200,000円	5,100,000円	5,100,000円	5,000,000円	5,000,000円	4,900,000円	4,800,000円
実績額	4,639,288円	4,559,592円	4,558,532円	4,345,067円	4,280,730円	4,459,708円	4,305,592円
達成率	89.2%	89.4%	89.4%	86.9%	85.6%	91.0%	89.7%

地域別実績額（単位：円）

	勝田地域	大原地域	東粟倉地域	美作地域	作東地域	英田地域	合　計
目標額	500,000円	630,000円	170,000円	2,020,000円	1,020,000円	460,000円	4,800,000円
実績額	605,466円	545,433円	190,109円	1,666,206円	928,312円	370,066円	4,305,592円
達成率	121.1%	86.6%	111.8%	82.5%	91.0%	80.4%	89.7%

募金ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

	勝田地域	大原地域	東粟倉地域	美作地域	作東地域	英田地域
募金ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体名	民生委員	日赤 協賛員会	民生委員	福祉委員	区　長	部落長

配分事業内訳

	決算額	主な実施事業
勝　田	316,860円	高齢者料理教室、地域社協助成（1人暮らしの会）、介護者家族の会助成 ボランティア・グループ助成金：勝田ｶﾛﾝの会、この指とまれ、勝田地域ボラ連、つくし会
大　原	212,000円	地域社協助成（一人暮らしの会）、愛夢皆の会 ボランティア・グループ助成金 ささゆり会、日赤協賛会、ぽけっと、あすなろ会、でこぽん、昔こっぷり
東粟倉	109,888円	東粟倉地域共同募金囲碁ﾎﾞｰﾙ大会開催、地区社協助成（一人暮らしの会）
美　作	500,000円	地域社協助成金、さくらの会、むぎの会共同作業所助成金、一人暮らしの会活動費助成 ボランティア・グループ助成金 美作ボランティア連協、たんぽぽの会、すみれ会、子育てサポートこっこ、一歩の会 みまさか朗読の会、みまさか優友の会
作　東	428,000円	一人暮らしの会、作東地域福祉活動助成金、にこにこ会、作東親の会 ボランティア・グループ助成金：作東福祉ボランティアの会、サポーター作東、虹の風
英　田	163,000円	英田地域福祉活動助成金 ボランティア・グループ助成金：なでしこ英田、お話きしゃポッポ
市　域	499,260円	障害児者福祉活動費 みまさかクローバーの会、がんばろう会、障害児者親の会、たんぽぽ会、やまなみ会 メンタルヘルスボランティア養成講座 ボランティア講演会、子供食堂助成金、サロンリーダー研修会 ボランティア・グループ助成金 手話サークルさくらんぼの会、みまさか点字サークル、要約筆記サークル、ほがらか会 手話サークルあおぞら、かぼちゃの馬車、手話サークルきらら、マジック同好会、 観光ボランティアガイド、民話の会ほっこり、日本語支援美作の会

赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業

岡山県共同募金会が公募する地域住民の地域福祉活動を支援する助成事業に、本会からも申請し60万円の助成金が交付された。助成金は、「福祉ネットワークづくり事業」の財源に充当。

事業概要	美作市の補助金を受け、ボランティアの育成・支援を行っています。市内には、様々な活動を展開しているボランティア団体が数多くあります。市内で活動するボランティアグループの実態把握及びボランティア同士の活動の輪（ネットワーク）を広げる交流の場を提供し、情報の共有や協働により活動が一層活性化するよう、美作市ボランティア連絡協議会（平成20年5月19日設立）の活動支援を行いました。 美作市ボランティア連絡協議会は、結成から12年が経過し、設立当初の目的も一定の成果が得られ、ボランティア活動の振興を図ることができたと判断し、令和2年3月31日をもって発展的解散をしました。 令和2年度からは美作市社会福祉協議会ボランティアセンターがボランティア活動の振興のためにその役割を担うことになります。 中高校生を対象にした「夏のボランティア体験事業」や市内小中学生を対象にした福祉体験教育の推進、ボランティアの人材育成を目的にした各種養成講座を開催し、ボランティア活動への関心を高め、積極的な活動が展開されるよう支援を行っています。

美作市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ連絡協議会の沿革					
	名称	美作市ボランティア連絡協議会			
	登録団体数	32団体	登録会員数	658人	
	設立年月日	平成20年5月19日	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動保険の登録斡旋	随時	

美作市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ連絡協議会の活動状況	
平成31年4月17日	第１回新旧運営委員会（世代交流多目的ホール）
平成31年4月25日	令和元年度総会及び第2回運営委員会（世代交流多目的ホール）
令和元年6月1日	ボランティア講演会（かつた市民センター）
令和元年6月1日	第3回運営委員会（世代交流多目的ホール）
令和元年8月29日	第4回運営委員会（世代交流多目的ホール）
令和元年11月25日	第5回運営委員会（世代交流多目的ホール）
令和2年2月20日	第6回運営委員会（世代交流多目的ホール）
令和2年3月17日	美作市ボランティア連絡協議会総会（書面決議により実施）

美作市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ連絡協議会登録グループ	地域名	グループ名	会員数	主な活動
	勝田（3）	勝田サロンの会	54名	勝田地区内の高齢者サロン活動
		お話の会　このゆびとまれ！	7名	絵本の読み聞かせ
		介護予防サポーターつくし会	23名	健康体操教室ボランティア
	大原（6）	ささゆり会	7名	高齢者ｻﾛﾝの食事作り、子育てｻﾛﾝ
		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｻｰｸﾙ「ぽけっと」	7名	地域おこし、施設訪問等の社会福祉活動
		日赤岡山県支部大原分区協賛員会	78名	救護ボランティア
		でこぽん	18名	介護予防体操教室のサポート
		あすなろ会	5名	男性料理教室の手伝い
		おおはら語りの会　昔こっぷり	10名	民話の語り部

ボランティア活動推進事業 ②

	地区名	グ　ル　ー　プ　名	会員数	主　な　活　動
美作市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ連絡協議会登録グループ	美作(14)	手話サークル　さくらんぼの会	8名	手話サークル（夜の部）
		美作手話サークル　あおぞら	11名	手話サークル（昼の部）
		みまさか子育てｻﾎﾟｰﾄ「こっこ」	23名	参加日の預かり保育・乳幼児サロン
		みまさか優友の会	29名	演芸活動・広報誌の朗読
		美作要約筆記サークル	9名	講演会等での要約筆記
		みまさか朗読の会	11名	朗読テープの提供・読み聞かせ
		たんぽぽの会	14名	高齢者サロンの協力・調理実習
		一歩の会	7名	精神障害者との交流会、作業所支援
		美作傾聴ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　ほがらか会	11名	高齢者宅等での話し相手
		すみれ会	48名	高齢者の介護予防体操
		美作マジック同好会	15名	手品の披露
		みまさか民謡の会　ほっこり	9名	民謡の語り部
		美作市観光ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｶﾞｲﾄﾞの会	18名	観光客、市民に歴史文化の案内・ｶﾞｲﾄﾞ
		日本語支援　みまさかの会	9名	外国出身者への日本語支援
	作東（7）	吉野福祉ボランティアの会	56名	一人暮らし高齢者の会支援
		江見福祉ボランティアの会	31名	一人暮らし高齢者の会・ﾐﾆﾃﾞｨ・外出支援
		粟井福祉ボランティアの会	20名	一人暮らし高齢者・友愛訪問・小幼交流
		サポーター作東	60名	介護予防体操の普及
		かぼちゃの馬車	11名	人形劇、ﾍﾟｰﾋﾟｻｰﾄ、読み聞かせ他
		手話サークル「きらら」	6名	手話学習・ろう者との交流・施設訪問
		粟井民話の会　虹の風	2名	民話の語り部
	英田（2）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ「なでしこ英田」	29名	介護予防体操の普及
		絵本の読み聞かせ会 お話きしゃポッポ	12名	読み聞かせ・子育てサロン

ボランティア育成活動

2019夏のボランティア体験事業の開催

期　間：令和元年7月21日～8月31日　　参加者：179人　　受入施設：30施設

事前研修会・活動調整会議：令和元年7月13日（土）作東バレンタインプラザ



事前研修会



日程調整

ボランティア養成講座の開催

1）令和元年度ボランティア講演会の開催

「楽しくなくっちゃボランティアじゃない」　講師：mottoひょうご事務局長　栗木剛氏

会場：美作市かつた市民センター　　参加者：171名

2）令和元年度　手話奉仕員養成講座　基礎課程　受講者：12名　　修了者：10名

5月15日～11月27日手話奉仕員の養成講座基礎課程を全28回開催

会場：美作市民センター

福祉教育支援事業

所轄支所	期　日	開催場所	対　象	人数	内　容
勝　田	令和元年11月21日	勝田中学校	中学1年生	13名	認知症サポーター養成講座
	令和2年2月6日	勝田東小学校	小学5・6年生	8名	認知症サポーター養成講座
大　原	令和元年10月1日	大原小学校	小学4年生	29名	障害理解アイマスク体験
	令和元年10月8日		小学4年生	29名	視覚障害者との交流
	令和元年11月26日		小学3年生	20名	「地域を知る」昔遊び 独居高齢者との交流
	令和元年12月2日		中学1年生	45名	アイマスク・車椅子体験
	令和2年1月28日		小学3年生	20名	昔の生活の道具について 高齢者との交流
東粟倉	令和元年10月30日	東粟倉小学校	小学5・6年生	18名	ふれんどの会による 認知症の講話・寸劇
作　東	令和元年11月29日	作東中学校	中学１年生	28名	ｱｲﾏｽｸ・車椅子体験・ 高齢者疑似体験
	令和2年1月30日	土居小学校	小学5年生	8名	アイマスク体験
英　田	令和元年10月21日	英田中学校	中学１年生	16名	高齢者疑似体験

日常生活自立支援事業 ①

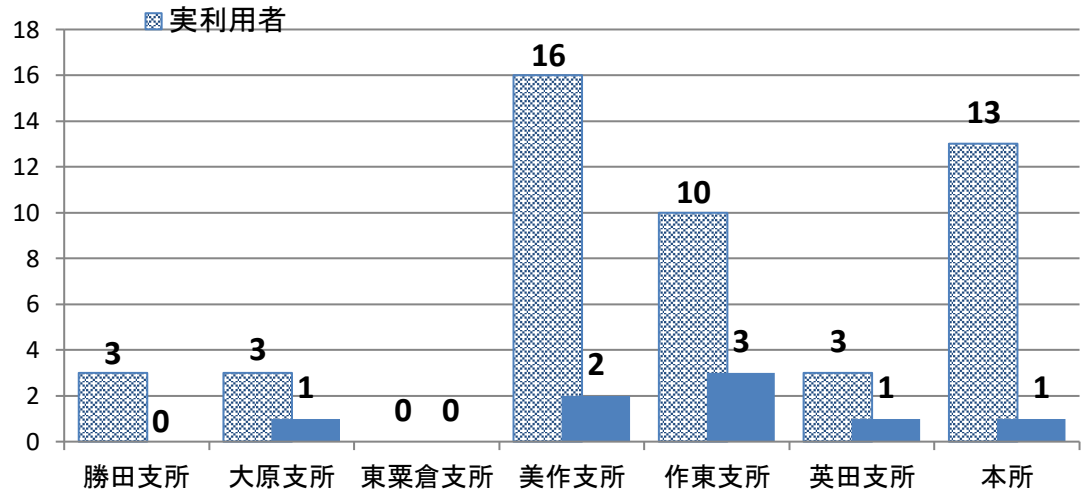
<table>
<tr><td>事　業　概　要</td><td colspan="2">判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるよう、美作市社協と利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理、書類預かり等のサービスを行っています。
平成２７年から各地で事業説明会や関係機関との連携強化を行った結果、人口当たりの事業利用者数が、岡山県内で最も多く県平均の2.92倍の利用者となっています。
【人口千人当たりの利用者数：1.84人（県内平均0.63人）令和2年3月末現在】</td></tr>
<tr><td rowspan="6">事　業　内　容</td><td>サービス内容</td><td>１．福祉サービスの利用援助
・福祉サービスの利用や利用を止める手続き
・福祉サービスの利用料を支払う手続き
・福祉サービスの苦情解決制度を利用する手続き
２．日常的金銭管理
・年金や福祉手当などの受領に必要な手続き
・税金、社会保険料、医療費、公共料金の支払手続き
・日常的な生活費の払戻し、預け入れなどの手続き
３．書類等の管理
・金融機関の貸金庫で、預貯金通帳、年金証書、
権利証、契約書類、保険証書、印鑑の大切な書類の預かり
</td></tr>
<tr><td>対　象　者</td><td>認知症高齢者、知的・精神障害者の方で、日常生活を営むのに必要な判断などが本人のみでは適切に行うのが困難な方。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">利　用　料</td><td>１．福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理サービス
1,100円/1時間＋交通費　※1時間を超える場合は30分毎に550円加算</td></tr>
<tr><td>２．書類等の預かりサービス：年間5,000円</td></tr>
<tr><td>サービス提供頻度</td><td>福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービスの定期的な支援頻度は、概ね月1～4回程度</td></tr>
<tr><td>日援事業専門員</td><td>相談の受付けや支援計画の作成、定期的な訪問、関係機関等との調整等のコーディネート業務をする専門職を１名配置</td></tr>
<tr><td>生活支援員</td><td>支援計画に基づき日援事業専門員の指示を受けて、支払い代行や生活費等のお届け等、具体的なｻｰﾋﾞｽを提供する生活支援員を14名配置</td></tr>
<tr><td rowspan="4">サービス開始までの流れ</td><td colspan="2">相談の受付 → 状況の把握 → 審査会※1 → 契約※2 → 支援計画の作成※3 → サービス開始</td></tr>
<tr><td>審　査　会</td><td>サービスの利用・契約に関して、学識経験者、医師、弁護士、福祉・行政の関係者による「契約締結審査会」を県社協で開催し審査（年６回開催）</td></tr>
<tr><td>契　　約</td><td>本人のサービス内容についての理解や利用の意思について確認等を行い、本人と美作市社協が契約を締結</td></tr>
<tr><td>支援計画の作成</td><td>支援計画を作成し、金銭の支払いや振込み、生活費のお届けなどのサービス内容や頻度を決定</td></tr>
</table>

令和元年度利用状況

	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合　計
令和元年度新規契約件数	3名	4名	1名	8名
令和元年度末実利用者数	8名	34名	6名	48名

※契約終了件数5件（死亡：0件、成年後見移行：2件、親族支援2件、市外引越し1件）

令和元年度支所別利用契約者内訳



利用契約者区分推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
認知症高齢者等	23名	17名	22名	9名	8名	7名	7名	8名
知的障害者等	9名	9名	8名	21名	27名	33名	31名	34名
精神障害者等	7名	6名	5名	4名	7名	7名	7名	6名
合　計	39名	32名	35名	34名	42名	47名	45名	48名

活動状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日援事業専門員	問合せ事業説明	13件	27件	12件	16件
	相談援助	259件	1,090件	1,312件	1,225件
	合　計	272件	1,117件	1,324件	1,241件
生活支援員	稼働状況	352回	570回	464回	603回

会議・相談会開催状況

	開催日	内容	参加者等
生活支援員連絡会議	偶数月の第4月曜日	生活支援員の業務内容の確認と情報交換	社協職員2名 生活支援員 15名

法人後見事業 ①

事業概要	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の低下した方が、地域で自立した生活が送れるよう、また、様々な権利が侵害されないよう、成年後見制度の利用を促進し、市社協が法人として成年後見人、保佐人もしくは補助人になることにより、本人の財産管理や身上監護を行い、適切かつ効果的に援助を行います。なお、適正運営を担保するために、弁護士・司法書士各1名と顧問契約を締結しています。
事業の開始	平成27年2月4日から本会独自事業として開始
職員体制	法人後見専門員（社会福祉士）：1名　　法人後見支援員：15名
後見業務の利用要件等	美作市内に在住する方で、他に適切な後見人等が得られない方で、紛争性が無く、身上監護と日常的な金銭管理が中心の方で、次のいずれかに該当する方 ①市長申立てをする方で、他に適切な後見人等が得られない方 ②原則として、高額な財産を所有せず、他に適切な後見人等が得られない方 ③日常生活自立支援事業利用者で、判断能力が低下した方のうち、①か②に該当する方 ④本会及び法人後見運営委員会が特に必要と認める場合
受任状況	受任中：19件　　受任待ち：1件　　終了：5件 （H28年度受任件数：5件、H29年度受任件数：13件、H３０年度受任件数：１７件）

法人後見受任状況

	性別	年齢	類型	申立人	区分	審判を受けた年月	居所	利用経緯
1	女性	80代	後見	市長	認知症	平成27年8月	介護医療施設	日援事業
2	男性	70代	保佐	本人	認知症	平成27年10月	ケアハウス	日援事業
3	女性	80代	補助	市長	認知症	平成28年12月	特養	市長申立
4	男性	70代	後見	市長	認知症	平成29年1月	病院	市長申立
5	男性	70代	後見	市長	精神	平成29年2月	病院	市長申立
6	女性	70代	保佐	市長	精神	平成29年4月	病院	市長申立
7	女性	70代	補助	市長	知的	平成29年6月	在宅	市長申立
8	女性	80代	後見	市長	認知症	平成29年6月	病院	市長申立
9	男性	80代	保佐	市長	精神	平成29年7月	養護	市長申立
10	女性	80代	後見	市長	精神	平成29年12月	特養	市長申立
11	男性	６０代	保佐	本人	知的	平成30年2月	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	日援事業
12	女性	60代	保佐	保佐人	知的	平成30年６月	自宅	日援事業
13	女性	30代	保佐	保佐人	知的	平成30年10月	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	日援事業
14	女性	80代	後見	市長	認知症	平成30年９月	病院	市長申立
15	男性	80代	保佐	本人	認知症	平成３１年３月	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	日援事業
16	女性	80代	保佐	町長	認知症	平成３１年４月	養護	町長申立
17	男性	５０代	後見	市長	知的	平成３１年５月	障害者施設	市長申立
18	男性	５０代	保佐	市長	知的	平成３１年６月	障害者施設	市長申立
19	女性	６０代	保佐	市長	精神	令和元年１１月	自宅	市長申立

受任類型内訳：後見７件・保佐１０件・補助２件

<table>
<tr><td>関係機関・団体等との連携</td><td>①岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会への参加
②みまさかネットワークへの参加
③勝英地域自立支援協議会への参加
④岡山県社会福祉協議会法人後見連絡会への参加</td></tr>
<tr><td>会議・研修会参加状況</td><td>①令和元年度岡山県市民後見人交流会参加（岡山県主催）
②みまさかネットワーク暮らしの困りごと相談会
（5月25日、12月14日、相談：21件、相談員26人）
③家事関係機関（後見制度関係機関）との連絡協議会（9月25日、岡山家庭裁判所主催）
④市民後見人フォローアップ研修（5/27、7/22、9/24、11/25、1/27美作市主催）</td></tr>
<tr><td>成年後見制度広報活動</td><td>地区社協関係者や市民、関係団体等を対象に、制度活用に関する広報・啓発活動を実施
（平成28年からの延べ実績：４８団体1,006人）
<table>
<tr><th colspan="2">開催日</th><th>対象団体等</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>1</td><td>令和元年9月11日</td><td>ケアマネ協会研修会</td><td>12人</td></tr>
<tr><td>2</td><td>令和元年12月19日</td><td>英田公民館事業研修会</td><td>21人</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>６団体</td><td>33人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>市民後見人等養成講座開催</td><td>美作市・勝央町・奈義町・西粟倉村の住民を対象に、判断能力が不十分な人の権利と財産を保護する成年後見制度の担い手として、地域住民の視点で支援を行う市民後見人等の養成を目的とする「市民後見人等養成講座」を開催しました。美作市5名、奈義町1名、西粟倉村3名が研修を修了し、美作市社協の法人後見支援員等として活躍していただきます。（過年度実績：平成28年14人、平成29年1人、平成30年2人）
<table>
<tr><td>①事業説明会</td><td>期　日：令和元年7月9日（火）
会　場：美作市社会福祉協議会　　参加者：10名</td></tr>
<tr><td>②講座内容</td><td>１．岡山県主催市民後見人養成研修
日　程：令和元年7月23日～9月6日（7日間）
会　場：津山総合福祉会館
２．美作市等が実施する研修
日　程：令和元年9月13日（金）～9月27日（金）中の2日
内　容：1）美作市の高齢者・障害者サービスに関する講座
2）特別養護老人ホーム作東寮
障害者福祉サービスきずな視察
3）日常生活自立支援事業生活支援員との同行訪問</td></tr>
<tr><td>③登録等</td><td>市民後見人バンク登録の意思確認面接（面接者：９名）
期　日：令和元年11月22日（金）
会　場：美作市社会福祉協議会 美作支所
面接官：大山弁護士、松本司法書士、行政職員4名、社協職員３名</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

生活福祉資金貸付事業

事業概要	生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、その世帯の自立更正等を図ることを目的としています。市町村社協は、貸付と償還の事務委託を受けて、窓口指導等を担っています。 令和2年3月25日から、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により、収入の減少があった世帯の資金需要に対応するため、生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付）の貸付手続きを行いました。 【資金種類】 総合支援資金・更正・福祉・住宅・教育支援・療養介護・災害援護・離職者支援・長期生活支援・緊急小口資金・緊急小口資金（特例貸付）
協働の対象	民生委員児童委員

貸付件数推移	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	54件	49件	39件	37件	46件	40件	35件	35件	39件

令和元年度末継続貸付件数		勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合　計
	総合支援資金	1件				1件		2件
	更生資金	1件	3件		1件	3件		8件
	生活資金							
	福祉資金				1件	2件	1件	4件
	住宅資金	2件	6件		1件	2件		11件
	教育支援資金					1件	2件	3件
	離職者支援資金				1件		1件	2件
	緊急小口資金		1件	1件	4件			6件
	緊急小口資金（特例貸付）				2件		1件	3件
	合　計	4件	10件	1件	10件	9件	5件	39件

令和元年度相談件数		勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合　計
	延べ相談件数	2件			13件	2件	3件	20件

令和元年度新規貸付状況内訳		勝田支所	大原支所	東粟倉支所	美作支所	作東支所	英田支所	合　計
緊急小口資金	貸付件数				1件			1件
	貸付額				100,000円			100,000円
緊急小口（特例貸付）	貸付件数				2件		1件	3件
	貸付額				400,000円		200,000円	600,000円
福祉資金	貸付件数							
	貸付額							
合　計	貸付件数				3件		1件	4件
	貸付額				500,000円		200,000円	700,000円

事業概要	美作市公の施設の指定管理者指定に伴い、市内４ヶ所の福祉施設の管理を行っています。 （指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日の5年間）

管理施設内訳	施設名	住所	所轄
	1．美作市大原居宅サービスセンター	美作市古町1850-1	大原支所
	2．美作市コスモス苑	美作市東青野844-1	東粟倉支所
	3．美作市東粟倉ふれあいセンター		
	4．美作市いきいきゆうゆうの里世代交流 多目的ﾎｰﾙ（多目的運動広場・遊歩自然公園）	美作市北山401	美作支所

施設利用状況

施設名	年度	開所日数	利用延人数	管理料
 美作市大原居宅サービスセンター	H27	258日	5,986人	—
	H28	255日	5,407人	—
	H29	256日	5,384人	—
	H30	258日	5,281人	—
	R1	257日	5,387人	—
 美作市コスモス苑	H27	258日	3,595人	—
	H28	254日	3,056人	—
	H29	256日	3,407人	—
	H30	256日	3,863人	—
	R1	257日	3,455人	—
 美作市東粟倉ふれあいセンター	H27	242日	1,077人	722,000円
	H28	242日	934人	741,000円
	H29	244日	955人	750,000円
	H30	245日	978人	750,000円
	R1	241日	819人	756,944円
 世代交流多目的ホール	H27	252日	11,304人	1,932,000円
	H28	261日	13,031人	1,932,000円
	H29	269日	12,371人	1,971,000円
	H30	264日	10,877人	2,000,000円
	R1	264日	9,279人	2,018,519円

障害者総合支援事業

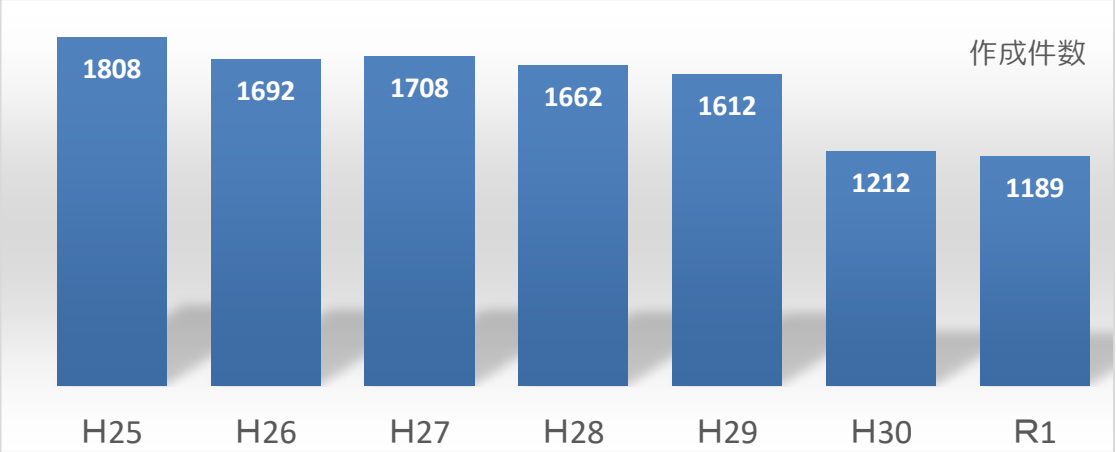
事業概要	障害者総合支援法により、大原、作東の2事業所で、障がい児・者が障害の種類に関係なく共通の福祉サービスを受けられるよう、居宅介護（訪問介護）事業と地域生活支援事業（市受託事業）に取り組んでいます。令和2年3月３１日をもって作東事業所を廃止し、令和２年度からは大原事業所よりサービスを提供します。							
実施事業	支所名	サービス区分						
	大原支所	居宅介護（訪問介護：生活援助・身体介護）、地域生活支援事業						
	作東支所							
サービス内容	サービス区分	サービス内容						
	居宅介護事業（訪問介護）	利用者の自宅にヘルパーが訪問し、入浴や排泄等の介護（身体介護）や食事などの介助（生活援助）を行います。						
	地域生活支援事業	美作市の受託事業である地域生活支援事業を行っています。 障がい児・者の自立した在宅生活を支援するための市町村独自事業で、移動支援・生活サポート・訪問入浴の3事業があり、主に屋外での移動が困難な方に対して外出のための援助をヘルパーが行う移動支援事業を行いました。						

利用状況内訳

		利用実人数	居宅介護（ホームヘルプ）			生活ｻﾎﾟｰﾄ・移動支援	合計
			生活援助	身体介護	小計		
大原支所	平成26年度	15人	394時間	379時間	773時間	182時間	955時間
	平成27年度	14人	412時間	723時間	1,135時間	225時間	1,360時間
	平成28年度	14人	410時間	897時間	1,307時間	265時間	1,572時間
	平成29年度	10人	419時間	903時間	1,322時間	274時間	1,596時間
	平成30年度	11人	473時間	779時間	1,252時間	160時間	1,412時間
	令和元年度	9人	514時間	854時間	1,368時間	63時間	1,431時間
作東支所	平成26年度	10人	347時間	97時間	444時間	8時間	452時間
	平成27年度	9人	451時間	87時間	538時間	19時間	557時間
	平成28年度	8人	596時間	93時間	689時間	20時間	709時間
	平成29年度	9人	543時間	128時間	671時間	—	671時間
	平成30年度	5人	400時間	94時間	494時間	—	494時間
	令和元年度	4人	367時間	—	367時間	11時間	378時間
合計	平成26年度	25人	741時間	476時間	1,217時間	190時間	1,407時間
	平成27年度	23人	863時間	810時間	1,673時間	244時間	1,917時間
	平成28年度	22人	1,006時間	990時間	1,996時間	285時間	2,281時間
	平成29年度	19人	962時間	1,031時間	1,993時間	274時間	2,267時間
	平成30年度	16人	873時間	873時間	1,746時間	160時間	1,906時間
	令和元年度	13人	881時間	854時間	1,735時間	74時間	1,809時間

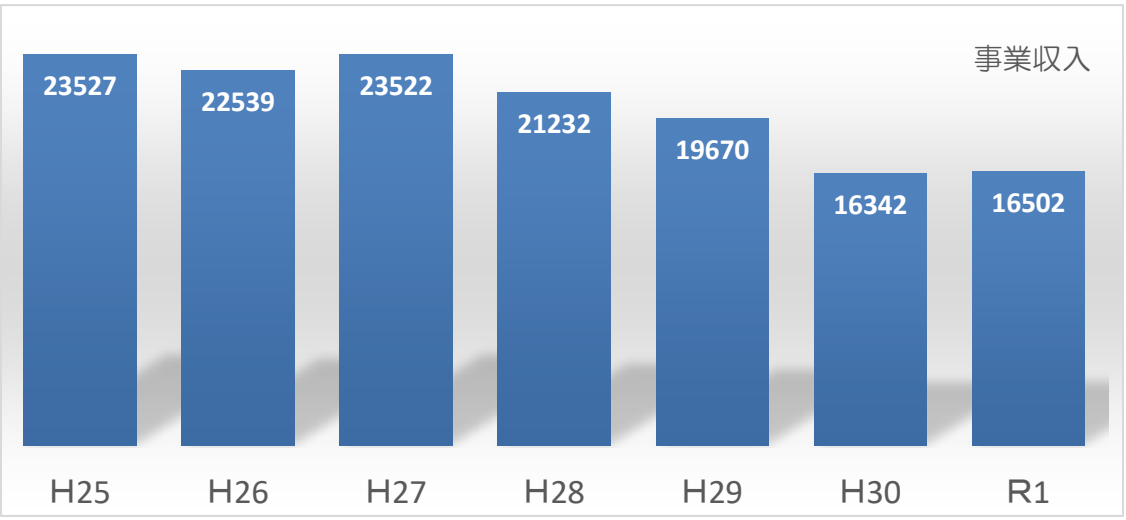
事業内容	介護認定された方の居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、必要に応じたサービスが利用できるよう連絡調整を行っています。平成24年度からは大原事業所に統合し、事業運営と経営の効率化を図っています。 また、平成29年11月から障害者総合支援法・児童福祉法により、障害福祉サービス・障害児通所支援を利用する方のサービス等利用計画を作成する指定特定相談支援事業所「みらい」を同一敷地内に併設し、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を行っています。
事業所概要	大原指定居宅介護支援事業所：介護支援専門員3名 （正職員2名、嘱託職員1名） 指定特定相談支援事業所「みらい」：相談支援専門員1名（介護支援専門員兼務）

ケアプラン作成件数（単位：件）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比
作成件数	1,808	1,692	1,708	1,662	1,612	1,212	1,189	98.1%

事業収入実績（単位：千円）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比
事業収入	23,527	22,539	23,522	21,232	19,670	16,342	16,502	101.0%

特定相談支援事業所実績	平成２９年度作成件数：延べ１件（利用実人数１人） 平成３０年度作成件数：延べ３件（利用実人数３人） 令和元年度作成件数：延べ９件（利用実人数９人）

通所介護事業 ①

事業内容	大原、東粟倉の2事業所で、介護予防通所介護事業も併せて実施しています。大原事業所は基準該当サービスとして障害のある方の受け入れも行いました。東粟倉事業所は、定員１８名以下の地域密着型通所介護事業所として事業を実施しました。 作東事業所は平成30年3月31日をもって事業所を廃止しました。

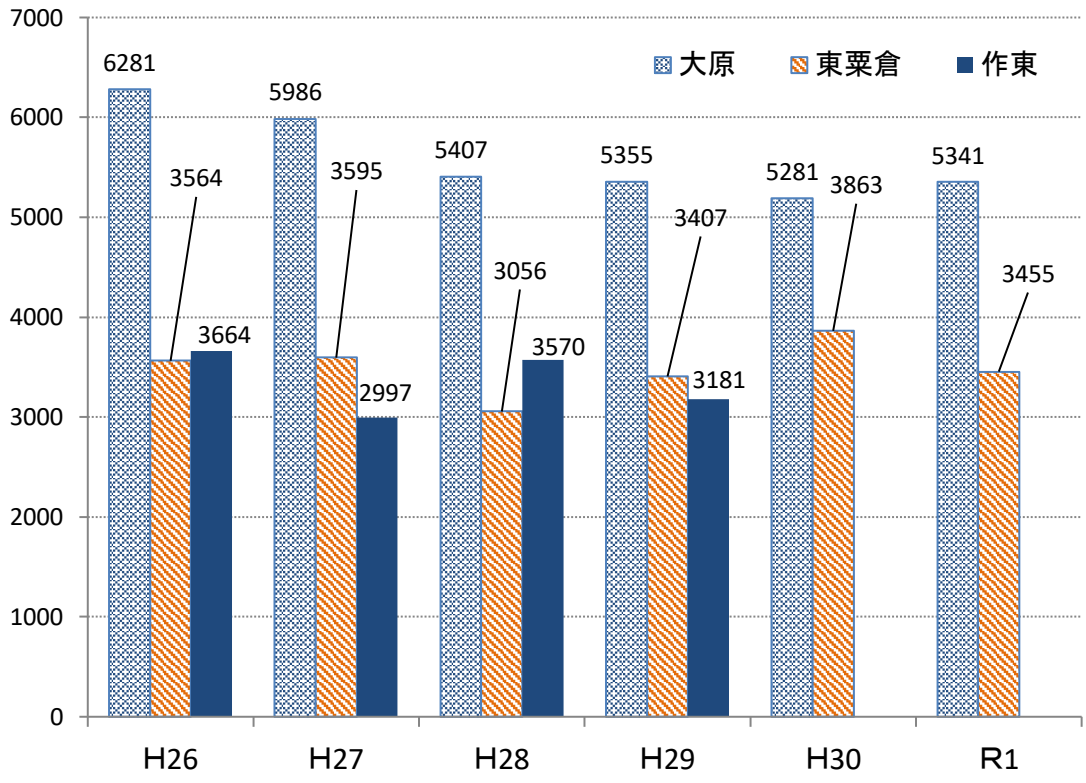
事業所概要

事業所名	定員	サービス提供時間	営業日
デイサービスセンター大原事業所	35名	5～7時間	月～金曜日及び祝日
東粟倉デイサービスセンター事業所	18名	7～9時間	

利用実人数推移（Ｒ１年度末）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原	64人	43人	50人	49人	57人	51人	49人
東粟倉	27人	26人	30人	24人	34人	39人	37人
作東	36人	30人	27人	28人	21人	—	—

利用延人数推移（単位：人）

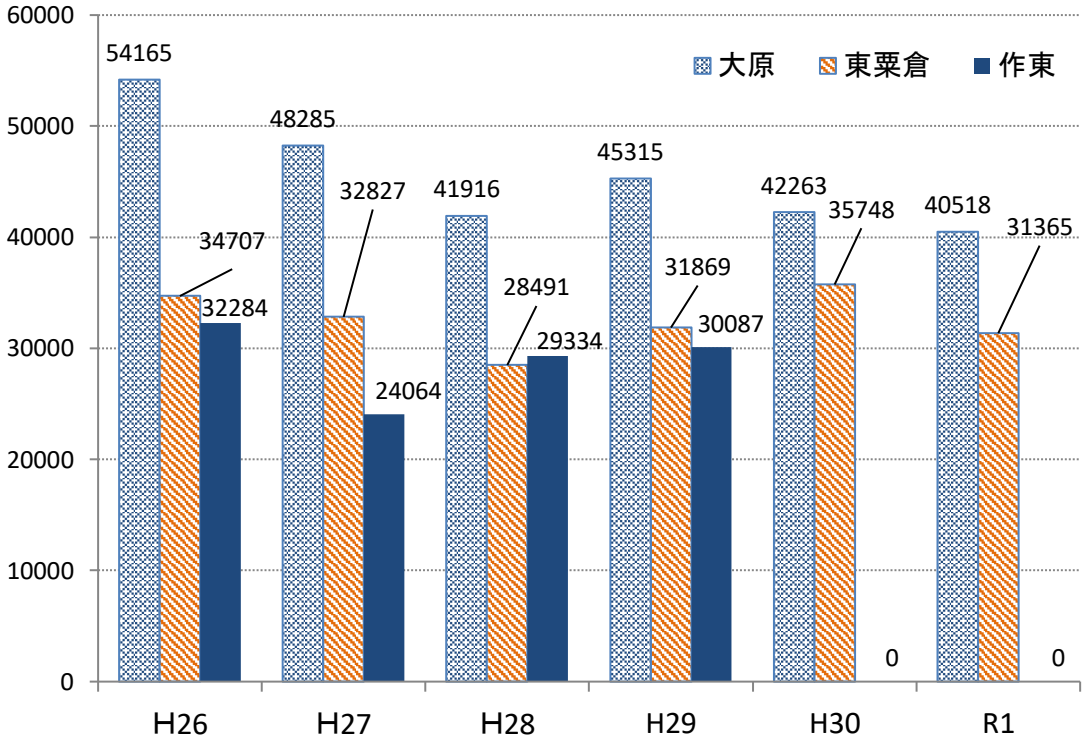


	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比
大原	6,281	5,986	5,407	5,355	5,281	5,341	101.1%
東粟倉	3,564	3,595	3,056	3,407	3,863	3,455	89.4%
作東	3,664	2,997	3,570	3,181	—	—	—
合計	13,509	12,578	12,033	11,943	9,144	8,796	96.2%

令和元年度利用状況内訳

	利用区分 要支援	利用区分 要介護1～2	利用区分 要介護3～5	合計	開所日数	平均利用者数
大原事業所	848人	3,441人	1,047人	5,336人	257日	20.8人
東粟倉事業所	628人	1,927人	900人	3,455人	257日	13.4人

事業収入実績（単位：千円）



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比
大原	54,165	48,285	41,916	45,315	42,263	40,518	95.9%
東粟倉	34,707	32,827	28,491	31,869	35,748	31,365	87.7%
作東	32,284	24,064	29,334	30,087	—	—	—
合計	121,156	105,176	99,741	107,271	78,011	71,883	92.1%

運営推進会議

運営推進会議は、利用者や利用者の家族、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的に、各事業所が設置するものです。令和元年度は、下記の通り運営推進会議を行い、活動状況の報告や意見交換を行いました。

東粟倉事業所	令和元年７月８日（月）・令和2年2月19日（水）

職員研修の実施状況

令和元年度 高齢者虐待研修	令和元年10月25日（大原訪問介護事業所）9名受講 令和元年11月26日（東粟倉デイサービスセンター）7名受講 令和元年12月18日（デイサービスセンター大原事業所）８名受講 令和２年　1月30日（きらめきプラザ）４名受講

訪問介護事業

事業内容	大原、作東の2事業所で、併せて介護予防訪問介護事業も実施しています。 なお、作東事業所は令和2年3月３１日をもって事業所を廃止し、令和２年度からは大原事業所より引き続きサービスを提供します。

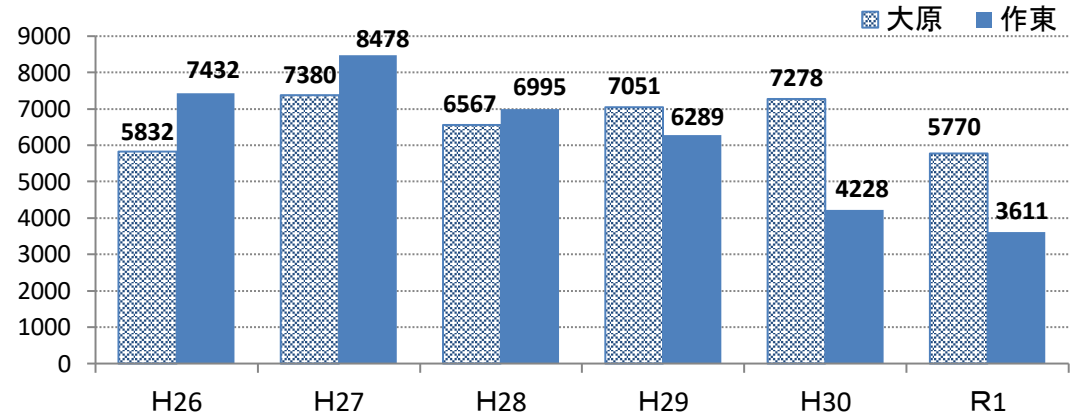
事業所概要

事業所名	営業日	サービス内容
大原指定訪問介護事業所	月～日曜日	身体介護、生活援助
美作市社会福祉協議会（作東事業所）	月～日曜日	身体介護、生活援助

利用実人数推移

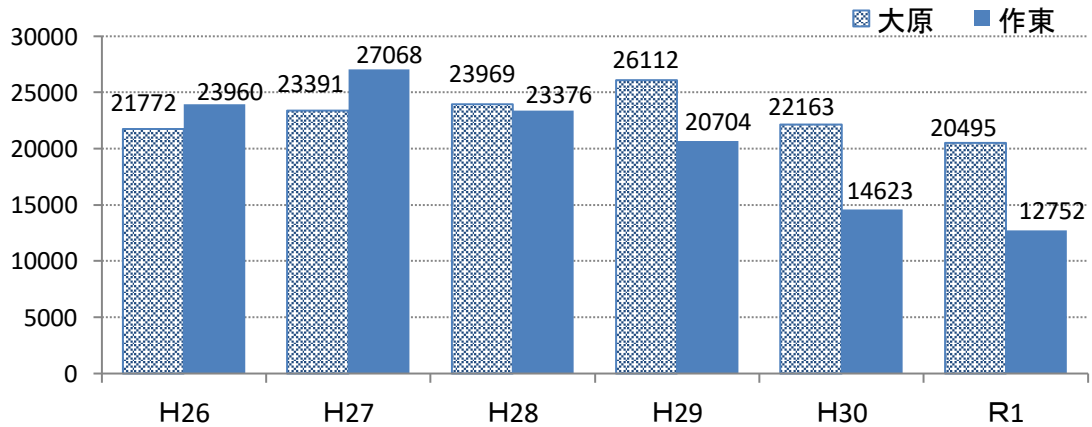
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大原	56人	58人	54人	46人	47人	45人	45人
作東	59人	69人	63人	55人	46人	39人	32人

訪問時間実績（単位：時間）



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年対比
大原	5,832	7,380	6,567	7,051	7,278	5,770	79.3%
作東	7,432	8,478	6,995	6,289	4,228	3,611	85.4%
合計	13,264	15,858	13,562	13,340	11,506	9,381	81.5%

事業収入実績（単位：千円）



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年対比
大原	21,772	23,391	23,969	26,112	22,163	20,495	92.5%
作東	23,960	27,068	23,376	20,704	14,623	12,752	87.2%
合計	45,732	50,459	47,345	46,816	36,786	33,247	90.4%